

データで見る 松江市総合計画

～総合計画前期5年間の基本的データの変遷と特徴～

平成23年8月

目 次

第1部 松江市の現状と推移

1 人口と世帯数	①人口	P 1
	②世帯数	
2 経済状況		P 3
3 財政状況		P 5

第2部 データで見る前期基本計画

はじめに	P 9
------	-----

第1章 豊かな自然をまもり、美しい都市空間をつくる

1 ベンチマーク	①廃棄物処理状況	
	②公園緑地	
2 総合計画の目標指標		
第1節 自然をまもり共生する		P 1 4
1. 自然環境の保全・活用	①宍道湖の水質	
	②中海の水質	
	③堀川の水質	
2. 循環型社会の構築	①清掃活動への参加者数	P 1 5
	②不法投棄の回収量	
	③ごみの排出量	
	④資源ごみの回収量	
3. 地球環境の保全	①二酸化炭素排出量	P 1 8
	②電灯・電力の需要状況	
4. 市民参加	①「まつえ環境市民会議」の会員数	P 2 0
第2節 風格があり、美しい都市をつくる		P 2 1
1. 景観形成	①景観計画重点区域指定数	
2. 公園緑地の整備	①一人当たりの都市公園面積	P 2 2
	②街路樹植栽延長	

第2章 歴史と文化を大切にし、豊かな心を育むまちをつくる

1 ベンチマーク	①教育用コンピューター設置台数	
	②市立小中学校の耐震化率	
	③教員一人当たりの児童・生徒数	
	④幼稚園・保育所数	
2 総合計画の目標指標		
第1節 教育環境が整う		P 2 6

1. 教育内容の充実	①市立小中学校（小4から中3）の不登校児童生徒数	
2. 教育環境の整備・充実	①学校施設の耐震化率	P 2 7
	②島大の就職率	
	③島大生の島根県内就職率	
第2節 豊かな心を育む		P 3 0
1. 生涯学習の推進と青少年の育成	①市立図書館蔵書冊数	
	②松江市立図書館の年間利用者数、年間貸出冊数	
	③非行少年補導人員数	
	④不良行為少年補導人員数	
2. 人権施策の推進	①松江市が主催する研修会等への参加者数	P 3 3
3. 国際交流の推進	①在住外国人数と外国人観光客数	P 3 3
4. 文化の振興	①文化協会加盟団体の会員数	P 3 4
5. スポーツの振興	①施設利用者数	P 3 4
	②スポーツ・体力テストの推移	
第3章 安心して安全に生活できるまちをつくる		P 3 6
1. ベンチマーク	①建物火災出火件数	
	②交通事故発生件数	
	③刑法犯認知件数 ①～③の年別推移	
2. 総合計画の目標指標		
第1節 災害につよく安心できる		P 3 8
1. 河川・水辺の整備・保全	①河川愛護団数	
2. 危機管理体制の充実	①自主防災組織結成率	P 3 9
3. 消防・救急体制の充実	①火災・その他の災害出動件数	P 3 9
	②住宅用火災警報器の設置進捗率	
	③市街地及び準市街地における消防水利の充足率	
	④普通救命講習、応急手当講習等の実施回数・参加者数	
	⑤AEDの設置箇所数	
	⑥救急救命士数（累計）	
第2節 安心して安全に生活できる		P 4 3
1. 防犯対策の充実	①犯罪の発生と検挙数の推移	
2. 交通安全対策の充実	①交通事故発生件数と死亡者数	P 4 3
	②幼児・児童・生徒と高齢者の交通事故発生件数	
	③交通指導員街頭指導回数と交通安全教室開催回数	
3. 消費生活の向上	①消費・生活相談室の認知度と相談件数	P 4 5
4. 市民相談体制の充実	①くらしの相談及び専門相談の件数	P 4 6

第4章 癒しと温もりに満ち、いきいき暮らせるまちをつくる P 4 7

- 1 ベンチマーク
 - ①保育所の状況
 - ②基本健康診査受診率
 - ③医師数
 - ④病院・病床数

2 総合計画の目標指標

第1節 安心して子育てできる P 5 0

- 1. 子育て支援・児童福祉
 - ①子育て支援センター及び各サテライトの利用状況
 - ②保育所待機児童数
 - ③特別保育事業（一時保育）実施保育所数

第2節 温もりある福祉でいきいき暮らせる P 5 3

- 1. 地域福祉の推進
 - ①福祉推進員数
- 2. 高齢者福祉の充実
 - ①老人クラブ加入者数 P 5 4
 - ②なごやか寄り合い事業の参加者数
- 3. 障害者（児）福祉の充実
 - ①障がい者手帳・手当での概況 P 5 6
- 4. 社会保障の充実
 - ①一人当たりの医療費 P 5 6
 - ②一人当たりの保険料調定額
 - ③国民健康保険加入状況
 - ④国民年金加入者状況
 - ⑤生活保護率

第3節 健康に生活できる P 5 9

- 1. 健康づくり
 - ①1歳6ヶ月児検診受診率
 - ②高齢者インフルエンザ接種率
- 2. 医療体制の充実
 - ①市立病院入院・外来患者数 P 6 0
 - ②赤十字病院入院・外来患者数
 - ③福祉医療受給者数
 - ④乳幼児等医療受給者数

第5章 活力ある産業と魅力ある観光で豊かな都市をつくる P 6 2

- 1 ベンチマーク
 - ①農業の状況
 - ②林業の状況
 - ③水産業の状況
 - ④工業の状況
 - ⑤商業の状況
 - ⑥観光（宿泊統計）の状況

2 総合計画の目標指標

第1節 活力ある産業で躍動する P 6 8

- 1. 農業の振興
 - ①水稲収穫量の推移
 - ②耕地面積の推移

2. 林業の振興	①林業総生産、市の歳出（林業費）の推移・・・・・・・・	P 7 0
	②林野面積と林業経営体数の推移	
3. 水産業の振興	①海面漁獲量、海面漁獲販売額・・・・・・・・	P 7 2
	②内水面漁業漁獲量、内水面漁獲販売額	
	③漁業就業者数	
4. 工業の振興	①製造品出荷額・・・・・・・・	P 7 5
5. 商業の振興	①中心商店街（8ヶ所）における空き店舗数・・・・	P 7 6
6. 雇用環境の整備	①松江市における移動理由別移動者数・・・・・・・・	P 7 7
	②企業の立地件数	
	③高卒県内就職決定者数	
第2節 観光都市の魅力を高める	・・・・・・・・	P 7 9
1. 観光の振興	①観光入り込み客数	
	②宿泊施設・観光施設による外国人観光客数	
	③松江市内宿泊客数	

第6章 快適で交流が盛んな都市をつくる・・・・・・・・ P 8 2

1. ベンチマーク	①道路実延長の状況	
	②持ち家率の状況	
	③空き家率の状況	
	④住宅地平均価格	
	⑤公共下水道の普及率	
2. 総合計画の目標指標		
第1節 人・物・情報が交流する	・・・・・・・・	P 8 5
1. 道路網の整備	①市道延長	
	②歩道設置道路延長	
2. 交通体系の整備	①路線バス・コミュニティバスの利用者数・・・・	P 8 6
	②出雲空港利用者数	
	③米子空港利用者数	
	④JR乗車人数	
	⑤一畑電車利用者数の推移	
3. 市街地の整備	①中心市街地の人口・・・・・・・・	P 9 0
	②中心市街地内の観光入り込み客数	
4. 港湾の整備	①入港船舶及び船舶乗込み人員数（市内港湾の合計）	P 9 1
	②港湾移出入貨物取扱状況（市内港湾合計）	
	③港湾の整備箇所数	
5. 情報環境の整備	①ケーブルテレビ加入者数、世帯カバー率・・・・	P 9 3
	②ブロードバンド世帯カバー率	
	③携帯電話不感地区世帯数率	

第2節 快適な生活空間をつくる	・・・・・・・・・・・・・・・・	P 9 5
1. 住宅等の整備	①持ち家数と持ち家率（総世帯ベース）	
2. 上水道の整備	①水道整備率	P 9 6
3. 下水道の整備	①普及率	P 9 6
4. 墓地・斎場の整備	①松江市公園墓地の築造墓数	P 9 7

第7章 ともに手をたずさえてすすめるまちづくり ・・・・・・・・・・・・・・・・ P 9 8

1 ベンチマーク	①NPO法人数の比較	
	②一般職員一人当たり人口の比較	
	③ラスパイレス指数の比較	
	④歳入決算総額の比較	
	⑤実質公債比率の比較	
	⑥地方債残高の比較	
	⑦自主財源比率の比較（※序章を参照）	
	⑧一般会計歳出（※序章を参照）	

2 総合計画の目標指標

第1節 協働ですすめるまちづくり ・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1 0 1

1. 市民と行政の協働	①自治会加入率	
	②自治会加入世帯数	
	③市民活動センター登録団体数	
	④市民活動センター施設利用者数	
2. 男女共同参画社会の実現	①市の附属機関の女性委員の割合	P 1 0 3
3. 開かれた市政の取り組み	①「市民の声」「市長への手紙（メール）」受付件数	P 1 0 4
	②「伺います係」の出動件数	

第2節 健全で効率的・効果的な行財政運営 ・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1 0 5

1. 効率的な行政運営	①職員数	
	②職員の平均給料月額と平均年齢（※参考数値）	
	③ラスパイレス指数（※参考数値）	
2. 財政運営	①歳入歳出の決算規模	P 1 0 8
	②自主財源比率	
	③実質公債費比率	
	④市債残高	
	⑤各種基金残高	
3. 広域連携・他圏域との交流	①宍道湖・中海沿岸自治体で構成する協議会で行う事業数	P 1 1 0

第1部 松江市の現状と推移

総合計画前半期は、2007年のサブプライム問題に発した2008年のリーマンショックにより世界同時不況に陥りました。その後アメリカでは2009年1月にオバマ政権の発足。日本では8月に民主党による政権交代がありました。一時はOECD閣僚会議で危機の最悪期を脱出で意見が一致しましたが、アイルランド・ギリシャを発端とする欧州危機の発覚、国内では2011年3月の東日本大震災と福島原発事故、更に最近ではアメリカの債務不履行問題による超円高と続き、国内外・政治経済共に激動の時期と重なりました。

一方、この期間、松江市では「松江開府400年祭」が展開されました。それに呼応するように、NHKの朝の連続ドラマ「だんだん」や「ゲゲゲの女房」、映画「レイルウェイズ」が放映され、機運を盛り上げました。反面、世界的な景気低迷、円高進行、新型インフルエンザの流行、震災後の自粛ムードなど、観光客(特に外国人)の増加にマイナスの出来事も多くありました。

こうした中、総合計画前半の5年間を出来るだけ統計データによる数値資料を用いて、中間評価を試みたいと思います。

第一部では、中間評価の前に「人口と世帯数」、「経済状況」、「財政状況」の3本柱から、松江市の現状と推移を考察し、その後、各章の具体的な目標数値の達成状況を検証します。

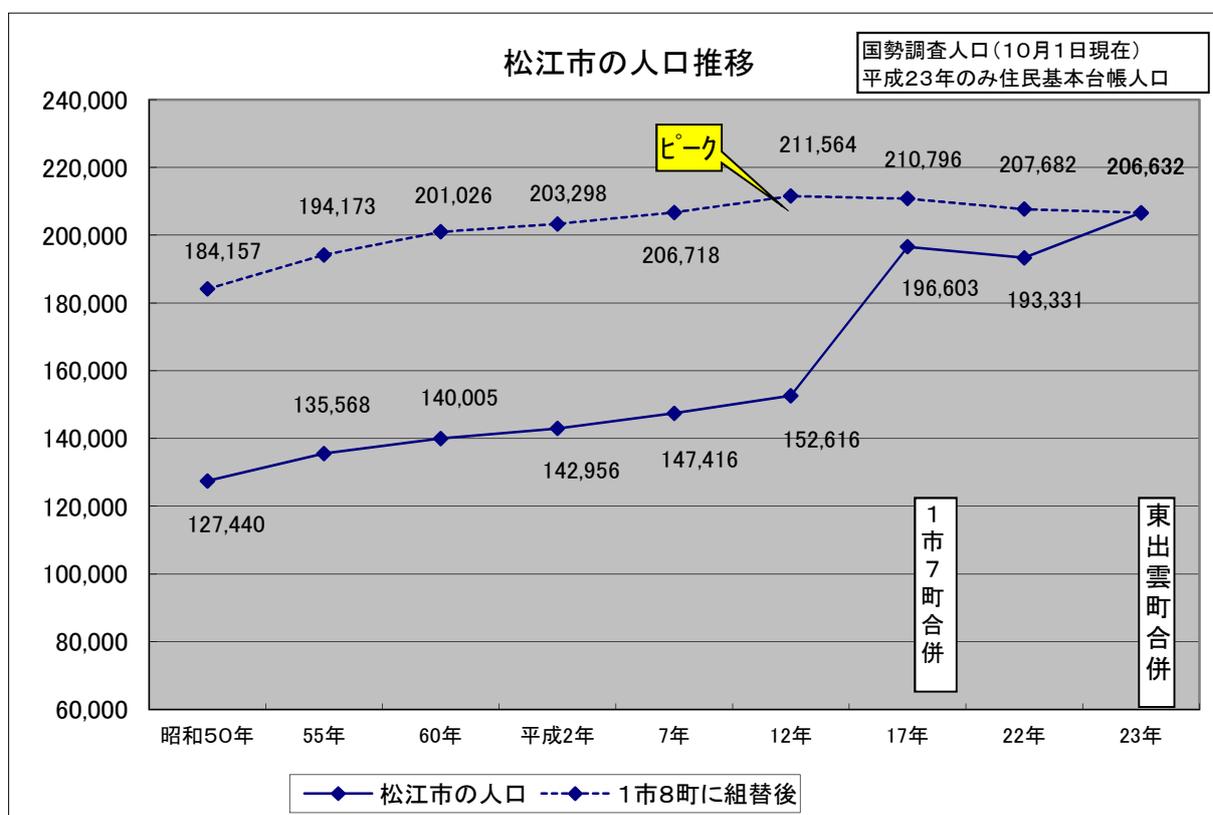
なお、各章の中間総括に当たり、章毎にベンチマークとして、松江市の類似都市における地位を把握します。類似都市は、松江市が所属するIV-1グループと、特例市のうちの地方都市、III-1グループから、地元など関連の深い都市を、合計35都市(人口14万人～30万人程度)を抜粋しております。

1. 人口と世帯数

①人口

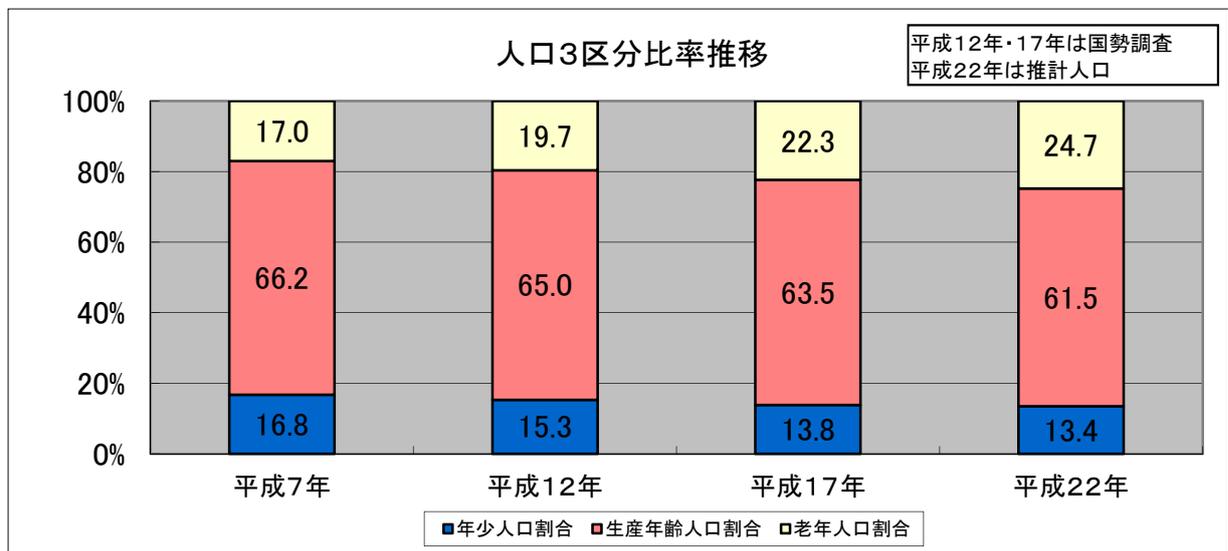
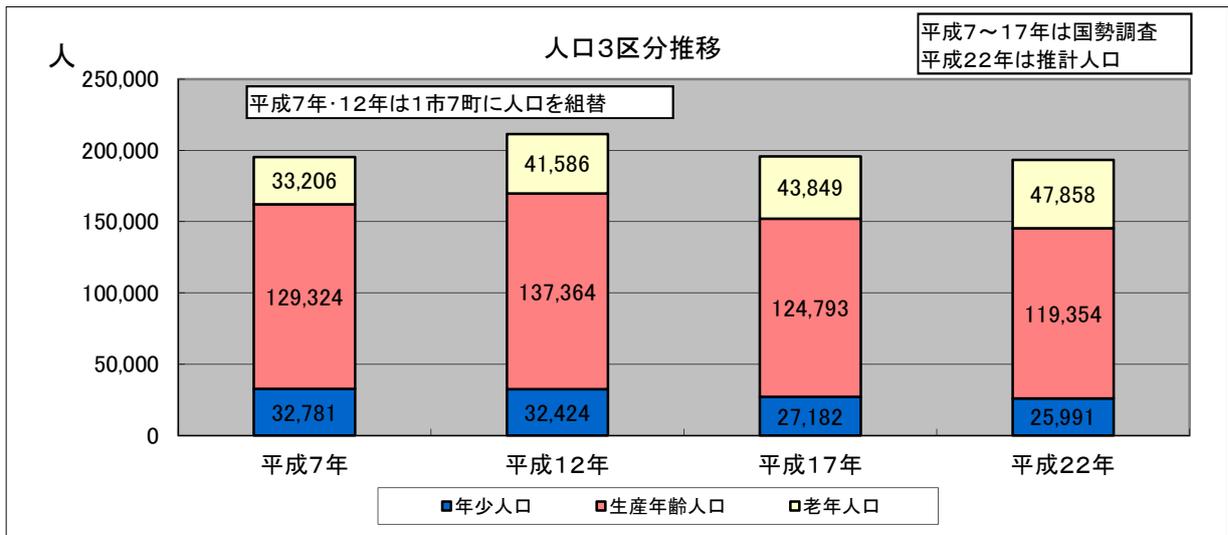
本市は平成17年3月に1市7町村が合併し、さらに平成23年8月に東出雲町を合併し、20万都市となりました。

しかし、合併による表面的な人口増加の反面、新市域内では平成12年の国勢調査以降減少に転じています。



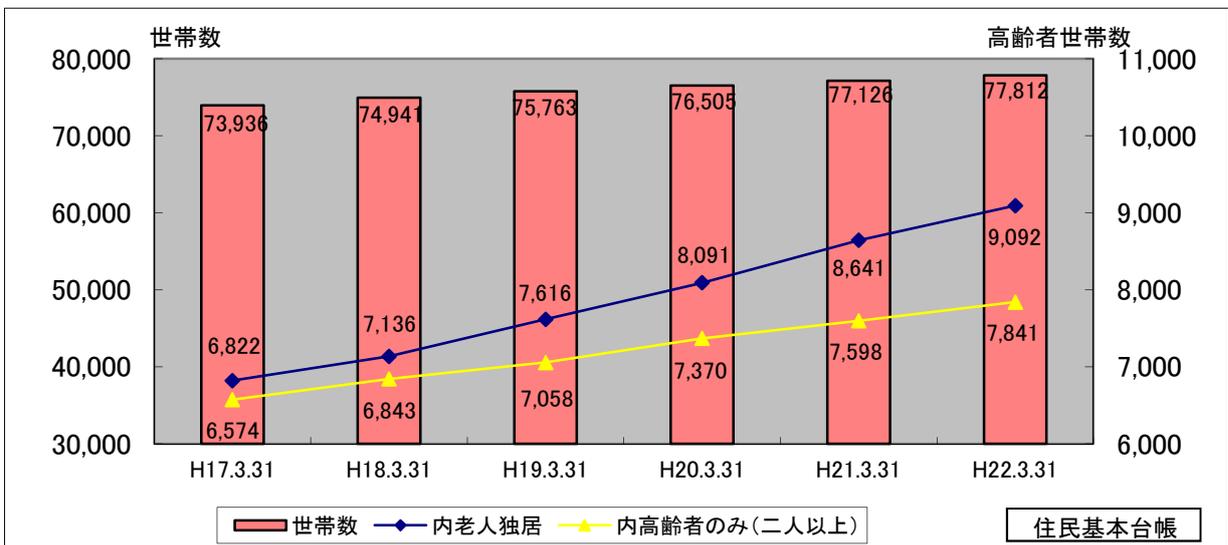
一方で、平成12年以降15歳未満の年少人口と生産年齢人口は減少し、65歳以上の老年人口が平均寿命の延びとともに増加し、少子高齢化が顕著になっています。

この傾向はしばらく続き、5年後の平成27年の高齢化率は28%になると推計されます。



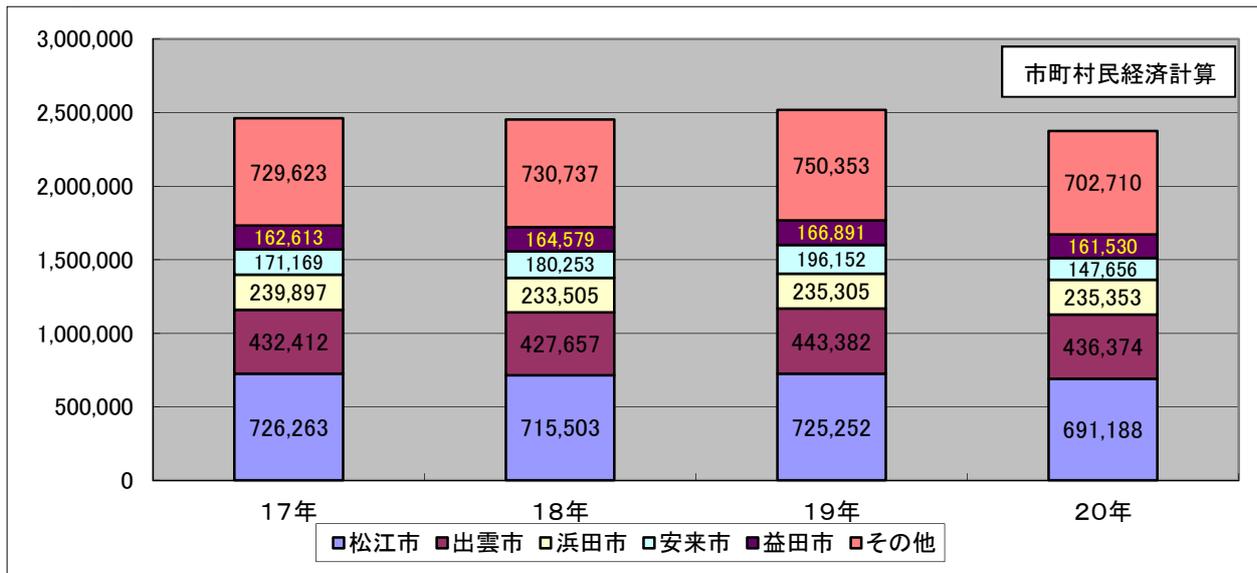
②世帯数

人口の減少、高齢化が進む反面、世帯数は増加しており、特に老人独居世帯・高齢者のみの世帯が、大幅に増加しています。平成21～22年にかけては世帯数686増加に対し老人世帯数はそれを上回る、694世帯が増加しました。

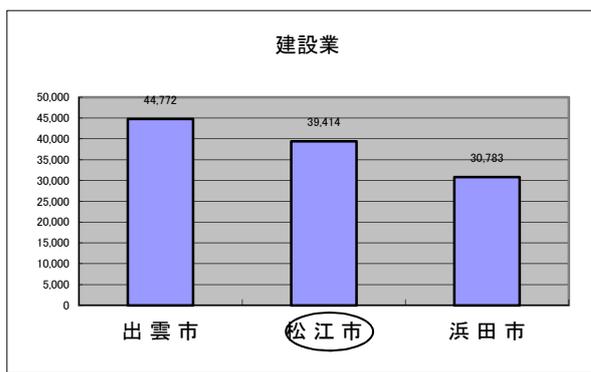
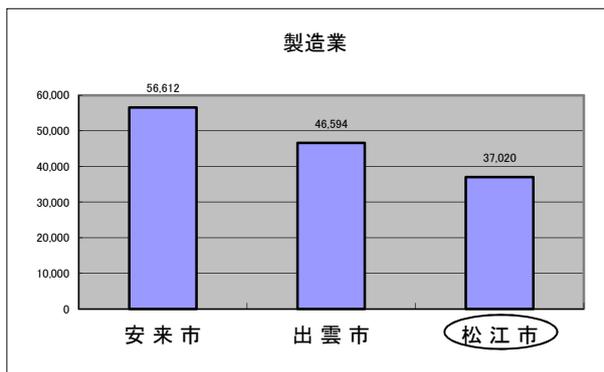
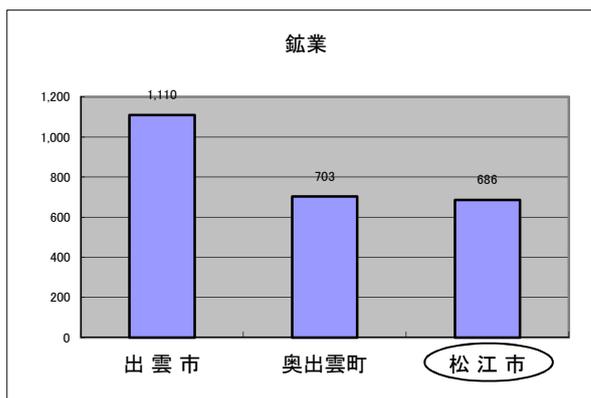
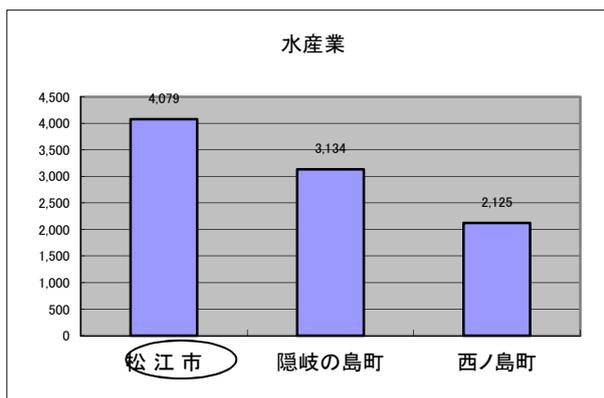
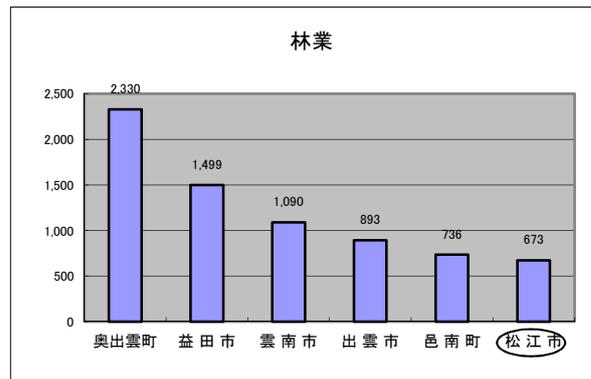
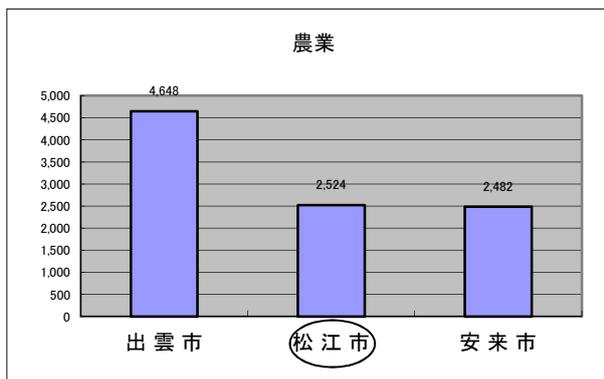


2. 経済状況(市町村民経済計算より)

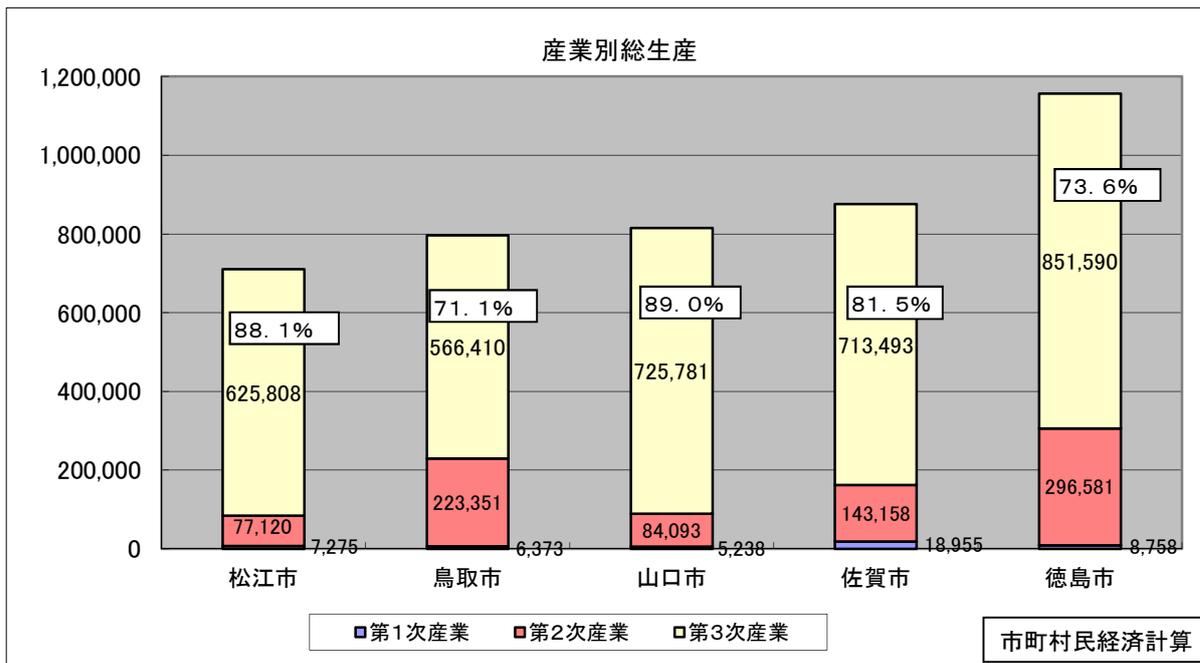
松江市は県内総生産の約30%を占める中心都市であるが、その金額は年々減少傾向にあります。



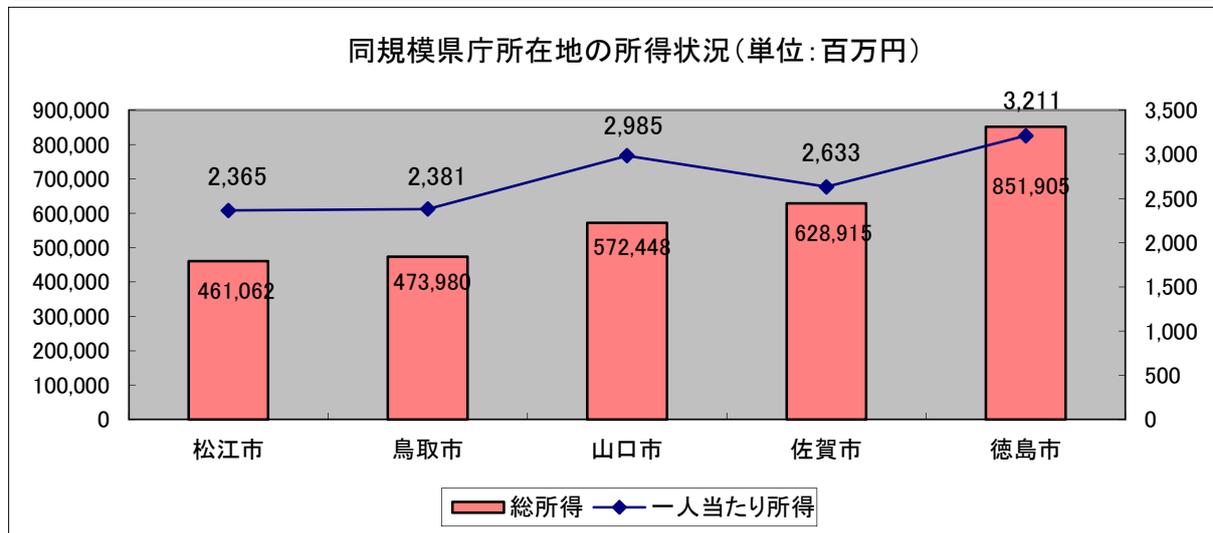
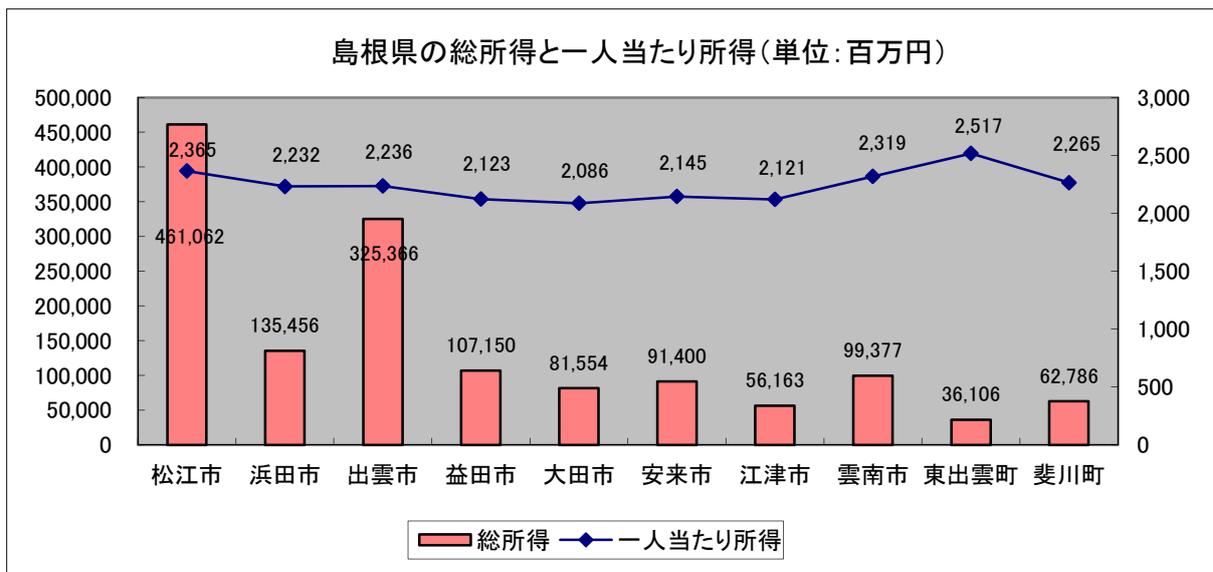
また、経済産業別には、第三次産業への依存度が高く、全ての業種で一位となっていますが、第一次産業・第二次産業では、ほとんどの分野で、県内他市に首位を譲っています。



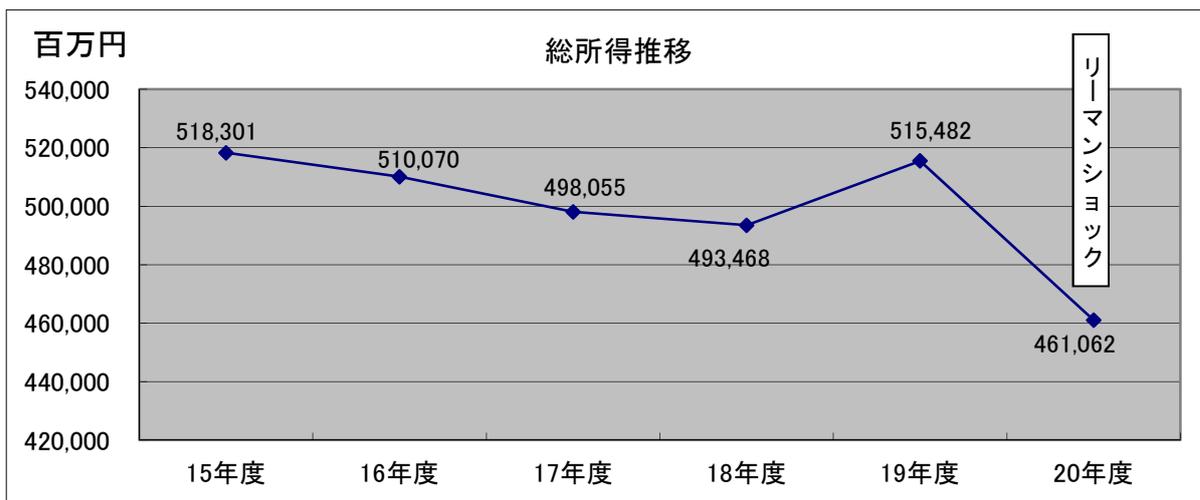
人口が類似した県庁所在地で比較しても、山口市に次いで、松江市の第3次産業の比率の高さは明らかです。裏返せば、第2次産業の弱さが総生産の低さにつながっています。



市民所得においては、鳥根県内ではその中心都市としての面目は保っていますが、同規模県庁所在地と比べると、山陰地方の経済基盤の弱さが目立っています。



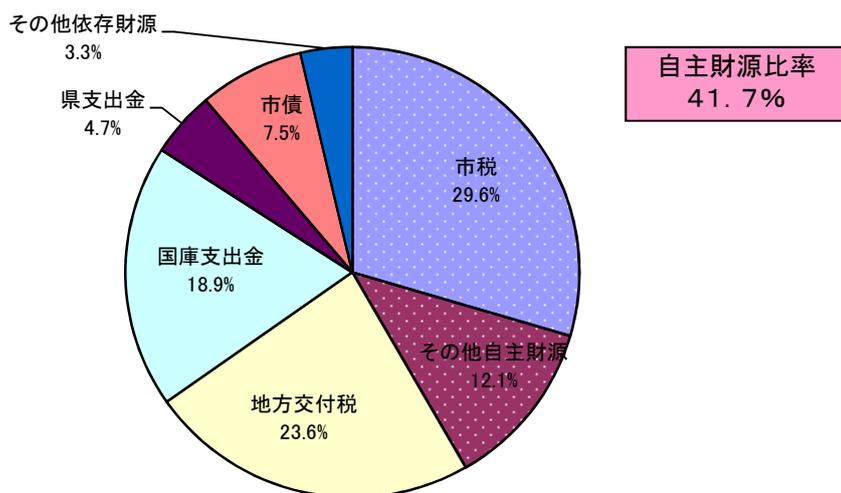
また、近年の松江市の市民総所得額の推移を見ても、平成19年度に一時的に増加したものの流れとしては、減少傾向にあります。



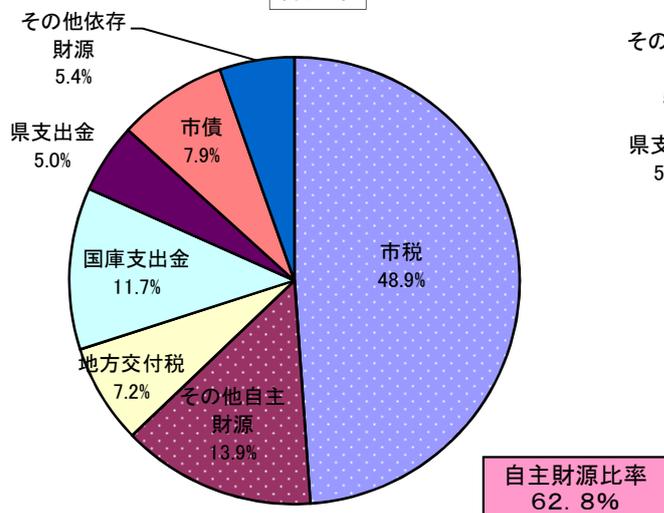
3. 財政状況

松江市の収入に占める市税の割合は低く、地方交付税・国庫支出金など依存財源によるところが大きく、特例市あるいはそれ以下の人口の都市と比べても自主財源比率は低い状況です。この傾向は平成21年度決算でも更に進行し自主財源比率は39.8%となっています。

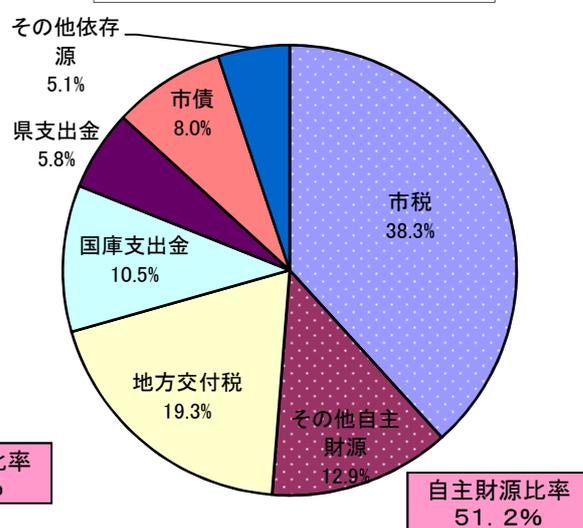
松江市の普通会計歳入決算額



特例市

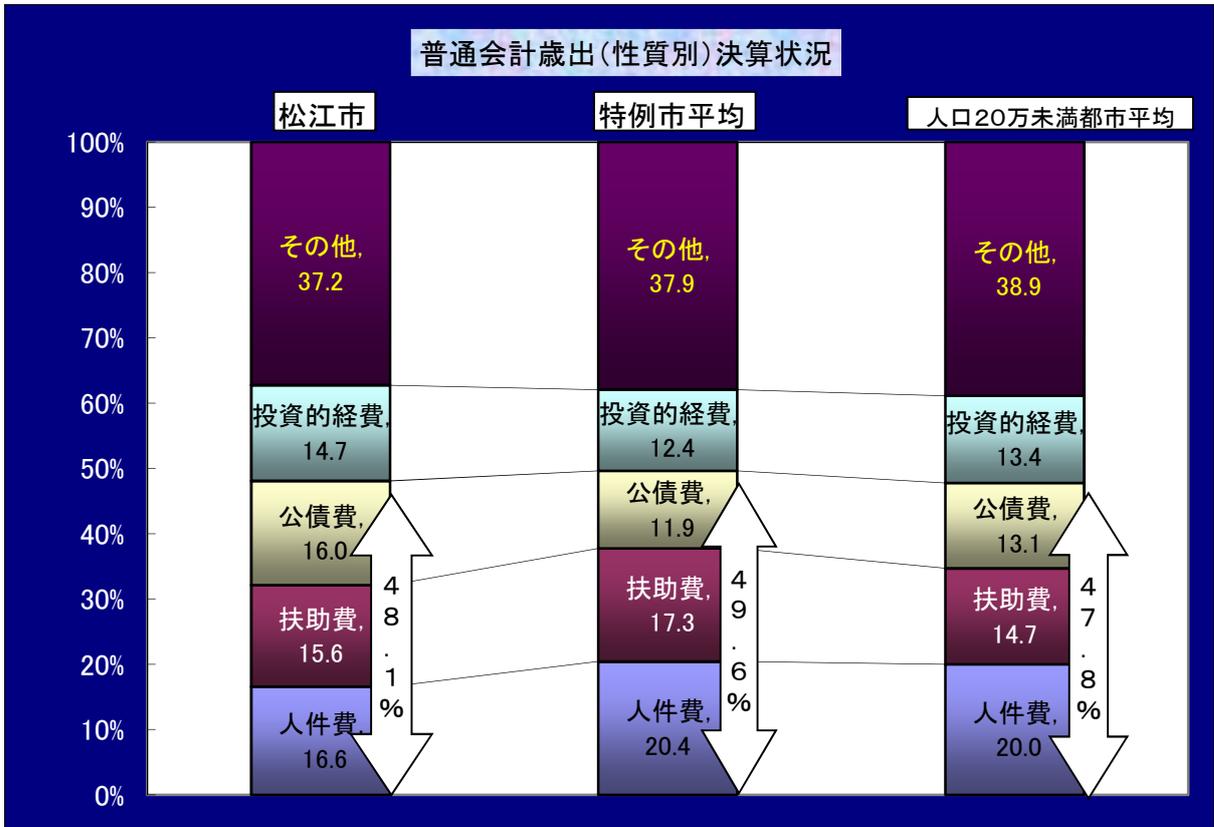


人口20万人(特例市)以下の都市



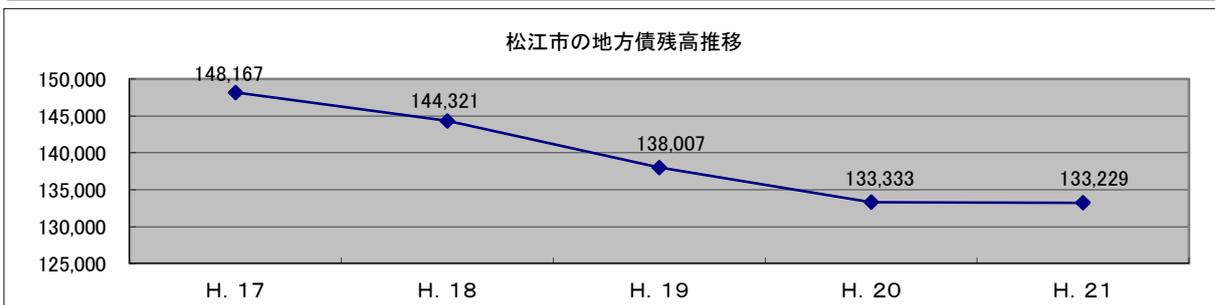
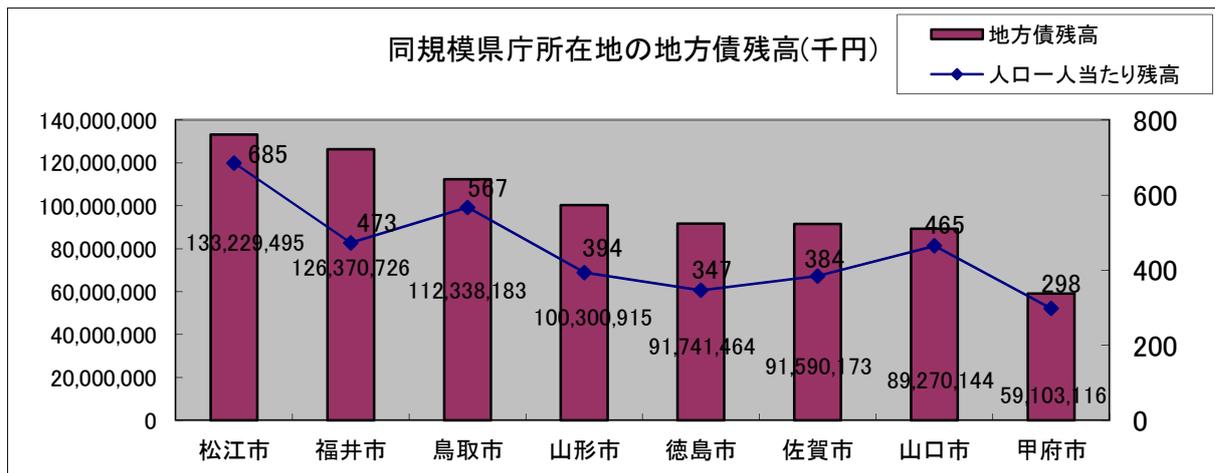
資料：地方財政状況調査関係資料(平成20年度決算)

歳出に占める義務的経費(人件費+扶助費+公債費)はいわゆる固定費的な性格で、ほぼ同規模他市と同程度の比率ですが、特徴的なのは、人件費比率が低く、公債費比率が高いことです。また投資的経費比率も他市平均をかなり上回っています。平成21年度決算では、義務的経費比率は42.8%に低下し投資的経費が20.3%に上がりました。



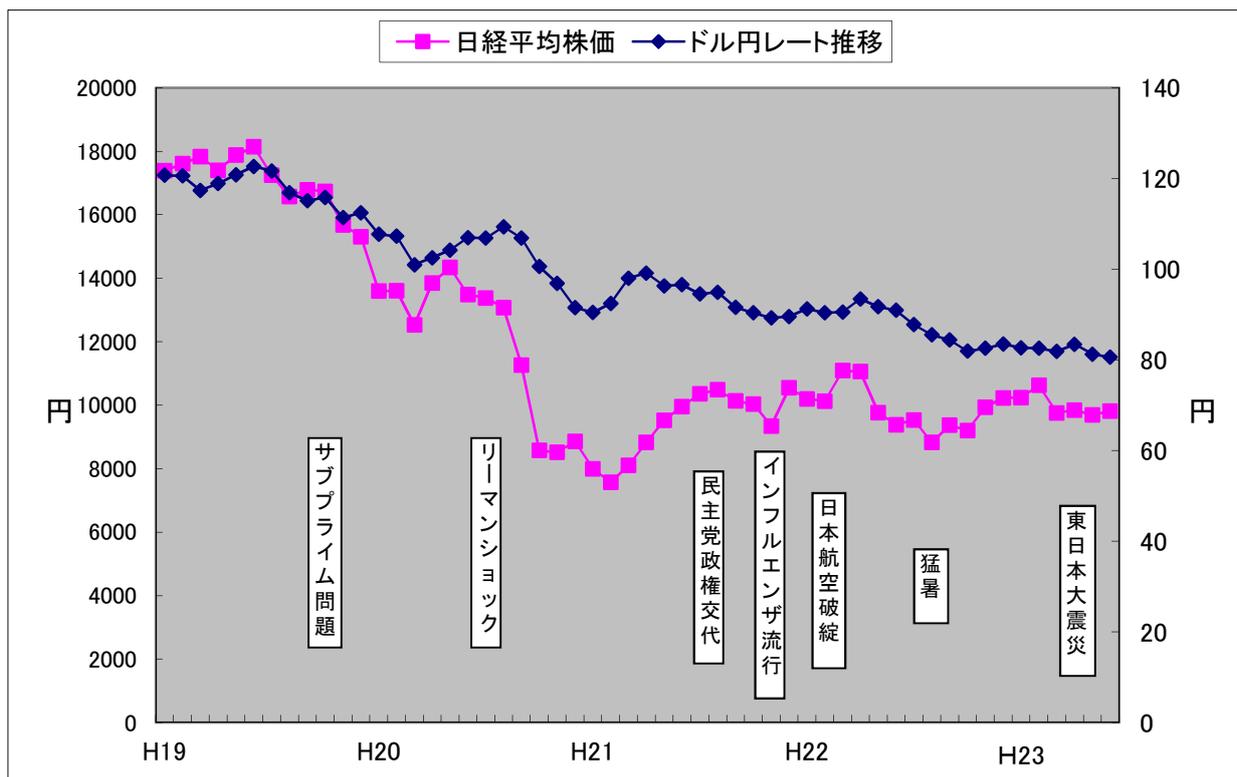
資料：地方財政状況調査関係資料(平成20年度決算)

松江市の地方債残高は非常に多く、これが、実質公債費比率、将来負担比率にも大きな影響を与えていますが、年々改善されてきています。

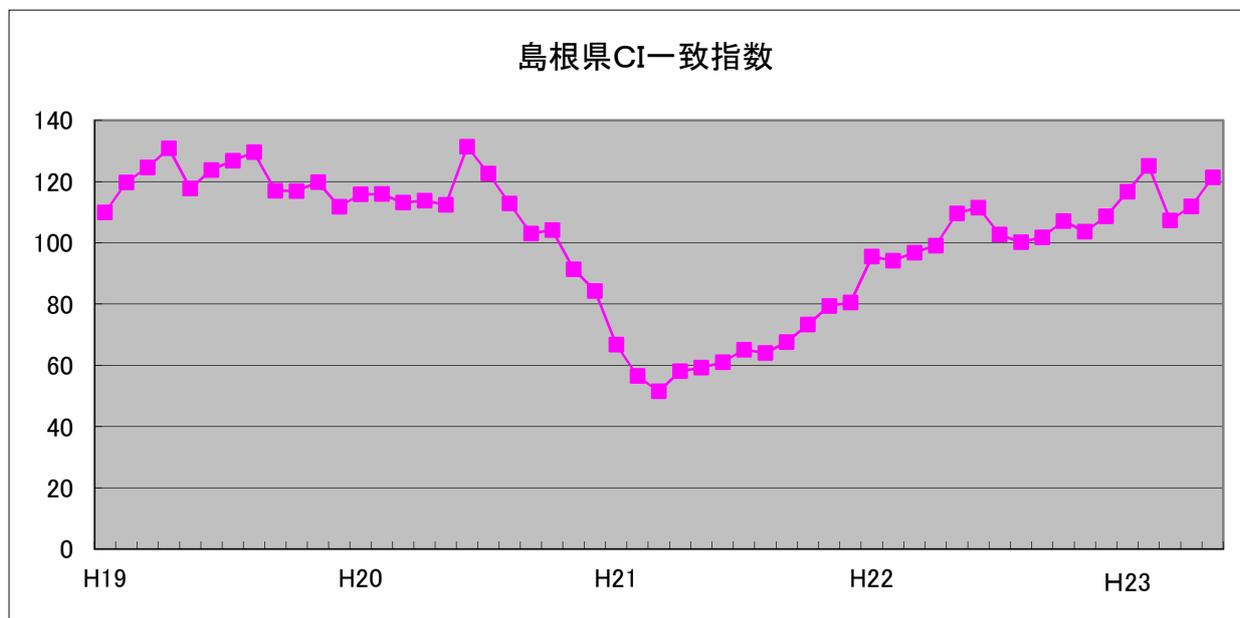


資料：地方財政状況調査関係資料(平成21年度決算)

(参考)ドル円相場、日経平均株価、島根の景気動向推移



ドル円相場は、120円台前半から、70円台後半(23年8月)まで円高となり、日経平均株価は、いざなぎ景気が終了し、サブプライム問題発生後急落しました。一時は持ち直し傾向にありましたが米国の債務不履行問題により、更なる低下が懸念されます。



一方、島根県の景気動向を示すCI一致指数は、H21年3月をボトムに回復傾向にあります。

CI一致指数とは

景気動向指数は、生産、雇用など様々な経済活動での重要かつ景気に敏感な指標の動きを統合することによって、景気の現状把握及び将来予測に資するために作成された統合的な景気指標をいう。

CI一致指数は景気の動きに対し一致して動く指標で、次のような指標を用いる。

有効求人倍率	有効求人数／有効求職者数(学卒を除き、パートを含む)	厚生労働省職業安定局
鉱工業生産指数		島根県統計調査課
電力使用量	大口電力(500KW以上)	中国電力(株)島根支社
実質大型小売店販売額	名目大型小売店販売額／消費者物価指数	経済産業省中国経済産業局
建築着工床面積	鉱業、建設業、製造業及び情報通信用建築物の床面積	国土交通省総合政策局
輸入通関実績	浜田・境支署管内輸入許可額	神戸税関
松江城入場者数	有料入場者数	松江市観光文化ブランド推進課
手形交換高	手形交換高のうち松江分	(社)島根県銀行協会
鉄鋼業生産指数		島根県統計調査課

島根県統計情報データベース

第2部 データで見る前期基本計画

はじめに

第2部「データで見る前期基本計画」では、総合計画の第1章～第7章の構成にあわせて、データを掲載しています。

各章の最初に、代表的な指標を用いて類似都市との比較（ベンチマーク）を掲載し、続いて、総合計画の基本施策項目ごとにデータを掲載しています。

基本施策項目のデータについては、総合計画前期基本計画の進捗管理に活用している全306指標のうち、重要度やグラフ化による評価・分析を必要とする96指標と新規に追加した24指標の合計120指標を用いています。

なお、類似都市との比較（ベンチマーク）にあたり、比較対象とした類似都市は、下記の35都市です。

- ① 類似団体都市Ⅳ－1（平成22年度時点で松江市はこの団体に分類されている。）
20都市
- ② 特例市の中から比較的松江市に環境の近い地方都市を抜粋
12都市
- ③ 類似団体都市Ⅲ－1から松江市に関連が深い都市を抜粋
3都市（出雲市、米子市、尾道市）

※市町村の類似団体は、人口と産業構造（産業別就業人口の構成比）により、一般市については、16類型に分類したものです。

Ⅳグループ（松江市など）は人口15万人以上の都市

Ⅲグループ（出雲市など）は人口10万人以上の都市

※特例市は、基本的に人口20万人以上の都市ですが、Ⅳグループの中でも特例市に移行していない都市もあります。

対象35都市を人口順に並べたのが次ページの表です。

類似都市との比較(ベンチマーク)対象都市

	都 市 名	県 名	団 体	人 口
1	福 島 市	福 島 県	IV ー I	292,280
2	津 市	三 重 県	IV ー I	285,728
3	長 岡 市	新 潟 県	特 例 市	282,719
4	市 原 市	千 葉 県	IV ー I	279,601
5	水 戸 市	茨 城 県	特 例 市	268,818
6	福 井 市	福 井 県	特 例 市	266,831
7	徳 島 市	徳 島 県	IV ー I	264,764
8	佐 世 保 市	長 崎 県	特 例 市	261,146
9	山 形 市	山 形 県	特 例 市	254,084
10	松 本 市	長 野 県	特 例 市	243,070
11	呉 市	広 島 県	特 例 市	239,553
12	佐 賀 市	佐 賀 県	IV ー I	237,501
13	八 戸 市	青 森 県	特 例 市	237,473
	松江+東出雲	島 根 県		207,682
14	上 越 市	新 潟 県	特 例 市	203,869
15	熊 谷 市	埼 玉 県	特 例 市	203,192
16	鈴 鹿 市	三 重 県	IV ー I	199,184
17	甲 府 市	山 梨 県	特 例 市	198,838
18	鳥 取 市	鳥 取 県	特 例 市	197,391
19	山 口 市	山 口 県	IV ー I	196,643
20	松 江 市	島 根 県	IV ー I	193,331
21	東 広 島 市	広 島 県	IV ー I	190,043
22	弘 前 市	青 森 県	IV ー I	183,534
23	釧 路 市	北 海 道	IV ー I	181,206
24	都 城 市	宮 崎 県	IV ー I	169,633
25	松 阪 市	三 重 県	IV ー I	168,146
26	帯 広 市	北 海 道	IV ー I	167,860
27	今 治 市	愛 媛 県	IV ー I	166,532
28	小 山 市	栃 木 県	IV ー I	164,437
29	石 巻 市	宮 城 県	IV ー I	160,704
30	上 田 市	長 野 県	IV ー I	159,604
31	野 田 市	千 葉 県	IV ー I	155,446
32	周 南 市	山 口 県	IV ー I	149,508
33	米 子 市	鳥 取 県	Ⅲ ー I	148,090
34	尾 道 市	広 島 県	Ⅲ ー I	145,217
35	出 雲 市	島 根 県	Ⅲ ー I	143,828
国勢調査2010速報値				

第1章 豊かな自然をまもり、美しい都市空間をつくる

1. ベンチマーク(代表的な指標による類似団体比較)

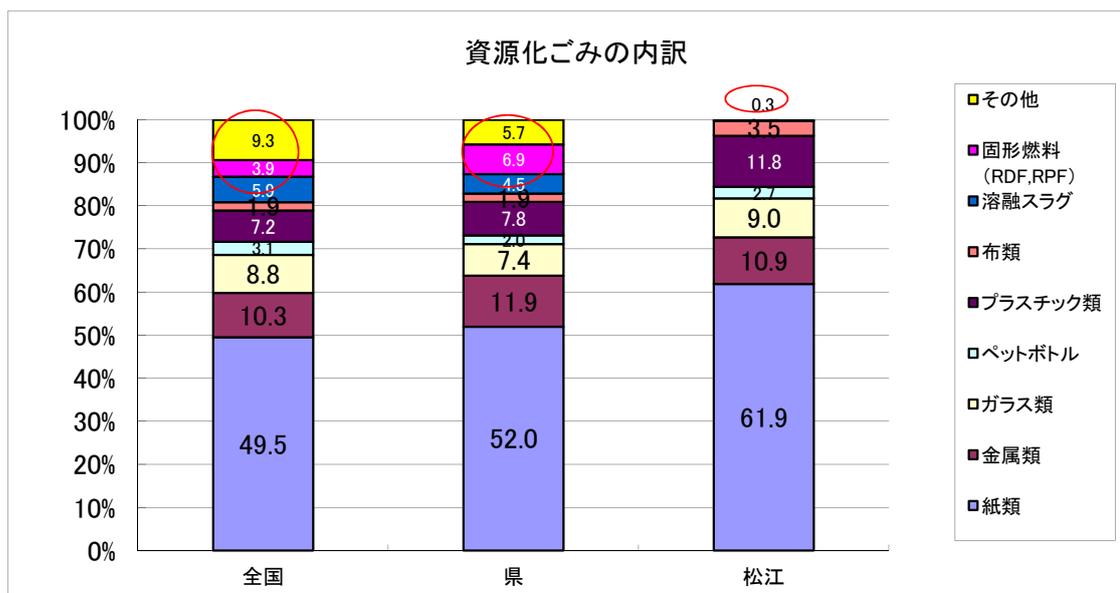
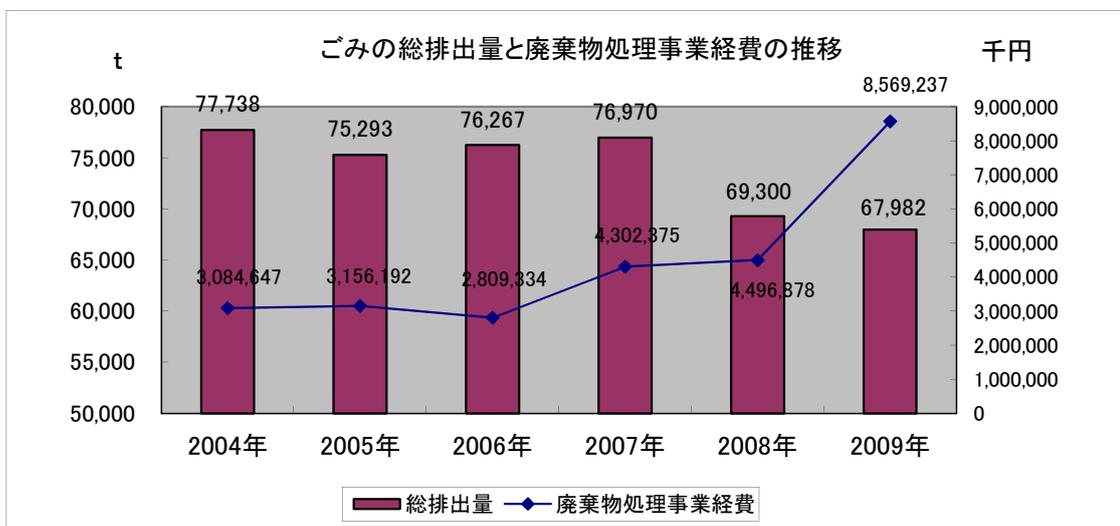
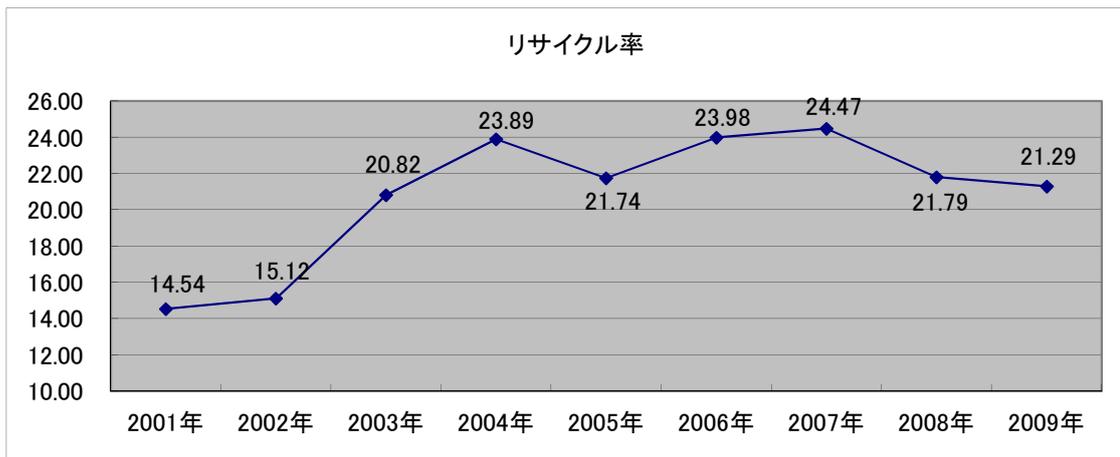
① 廃棄物処理状況

松江市は、総じてごみの減量化には取り組み状況がよく、一人当たりの排出量など6位に入っています。ごみのリサイクル率(資源化量÷総排出量)も比較的上位に位置しています。

一般廃棄物総排出量 2009年 (単位:t)			一日一人当たりの排出量 2009年 (単位:g)			ごみのリサイクル率 2009年 (単位:%)		
	都市名	総排出量		都市名	一日一人当たり 排出量		都市名	リサイクル率
1	上田市	47,938	1	上田市	821.5	1	山口市	37.22
2	野田市	49,890	2	野田市	880.3	2	周南市	33.86
3	出雲市	55,854	3	帯広市	931.5	3	上越市	32.51
4	尾道市	56,672	4	長岡市	940.4	4	都城市	31.58
5	帯広市	57,337	5	鳥取市	947.8	5	野田市	31.04
6	小山市	58,030	6	松江市	960.7	6	上田市	27.65
7	周南市	59,154	7	上越市	960.9	7	帯広市	27.33
8	米子市	59,231	8	八戸市	988.7	8	津市	26.92
9	石巻市	60,135	9	鈴鹿市	992.7	9	長岡市	24.71
10	今治市	64,395	10	小山市	999.6	10	鈴鹿市	24.56
11	東広島市	65,373	11	石巻市	1,001.9	11	熊谷市	23.45
12	松阪市	66,042	12	東広島市	1,005.5	12	呉市	22.35
13	松江市	67,982	13	山形市	1,011.5	13	米子市	21.37
14	鳥取市	68,499	14	今治市	1,022.0	14	松江市	21.29
15	鈴鹿市	71,760	15	福井市	1,029.1	15	小山市	20.46
16	上越市	72,450	16	津市	1,033.5	16	釧路市	20.42
17	釧路市	73,131	17	市原市	1,039.9	17	鳥取市	20.28
18	都城市	83,300	18	呉市	1,040.9	18	出雲市	19.54
19	熊谷市	85,174	19	尾道市	1,042.0	19	甲府市	18.49
20	甲府市	86,579	20	佐世保市	1,044.6	20	尾道市	18.46
21	山口市	86,645	21	出雲市	1,048.7	21	佐世保市	18.19
22	弘前市	86,665	22	佐賀市	1,052.9	22	松阪市	17.92
23	八戸市	87,793	23	周南市	1,062.9	23	松本市	17.63
24	佐賀市	90,967	24	松阪市	1,068.7	24	山形市	17.47
25	山形市	92,311	25	釧路市	1,080.2	25	市原市	17.41
26	呉市	93,310	26	米子市	1,088.4	26	今治市	17.14
27	長岡市	97,717	27	福島市	1,116.6	27	八戸市	16.95
28	松本市	99,792	28	徳島市	1,134.2	28	徳島市	15.46
29	福井市	99,823	29	松本市	1,144.8	29	佐賀市	14.67
30	佐世保市	101,669	30	水戸市	1,147.8	30	東広島市	14.52
31	市原市	106,236	31	熊谷市	1,148.9	31	石巻市	14.45
32	徳島市	107,173	32	甲府市	1,228.6	32	福井市	14.40
33	津市	108,400	33	山口市	1,258.9	33	福島市	13.66
34	水戸市	111,675	34	弘前市	1,286.0	34	水戸市	10.88
35	福島市	119,925	35	都城市	1,324.6	35	弘前市	8.91

環境省；一般廃棄物処理実態調査結果(21年度)

第1章 豊かな自然をまもり、美しい都市空間をつくる



また、近年の推移を見ると、リサイクル率は急上昇した後、停滞状況にあります。ごみの排出量に関しては、急速に改善されてきています。これは、松江市が施策として重点的に行った成果でもあります。(※ごみの総排出量と廃棄物処理事業経費(ごみ+し尿)の推移をご参照ください。)

一方、資源化ごみの内訳を見ると、全国・島根県では溶融スラグ・固形燃料・その他が各々19.1%、17.1%を占めていますが、松江市では0.3%です。

第1章 豊かな自然をまもり、美しい都市空間をつくる

②公園緑地

松江市は、中央に宍道湖・中海がありその間を大橋川が流れ、また、北には島根半島の北山、南には中国山地があり、体感上も非常に緑豊かな環境です。

人為的な都市公園をさほど必要とする状況とは思われませんが、他都市と比べることが出来る指標があったので「都市公園数」の類似都市比較表を載せてみます。

また、一部ではありますが、調べられる範囲で、一人当たり都市公園面積のランキングも掲載しました。

都市公園数	
2008年	
(箇所)	
都市名	都市公園
1 津市	427
2 市原市	330
3 松阪市	325
4 福井市	324
5 呉市	323
6 弘前市	306
7 鈴鹿市	296
8 長岡市	275
9 佐世保市	273
10 東広島市	246
11 釧路市	243
12 山形市	219
13 帯広市	183
14 福島市	183
15 野田市	173
16 八戸市	162
17 周南市	159
18 小山市	153
19 松本市	143
20 鳥取市	139
21 水戸市	133
22 徳島市	124
23 熊谷市	119
24 松江市	118
25 都城市	114
26 上越市	109
27 出雲市	90
28 今治市	90
29 米子市	89
30 石巻市	81
31 尾道市	77
32 山口市	59
33 佐賀市	56
34 甲府市	55
35 上田市	53

統計でみる市町村のすがた2011

元々、類似都市に都会地の都市をいれていませんが、傾向は三重、千葉など大都会の周辺都市に都市公園が多く、広島を除く、中四国・九州・中部が下位となっています。

一人当たり都市公園面積は、サンプル都市が少ないものの、上位に入っています。

一人当たり都市公園面積	
H20.3.31	
(㎡)	
都市名	面積
1 熊谷市	27.30
2 山形市	13.70
3 福井市	12.85
4 甲府市	12.65
5 松江市	12.14
6 野田市	12.09
7 鳥取市	11.91
8 徳島市	11.73
9 出雲市	11.51
10 水戸市	11.01
11 米子市	10.81
12 呉市	10.70
13 弘前市	10.30
14 福島市	9.98
15 八戸市	9.65
16 尾道市	8.80
17 佐賀市	8.37
18 市原市	8.08
19 山口市	7.79
20 鈴鹿市	7.78
21 津市	7.40
22 東広島市	6.80

国土交通省

第1章 豊かな自然をまもり、美しい都市空間をつくる

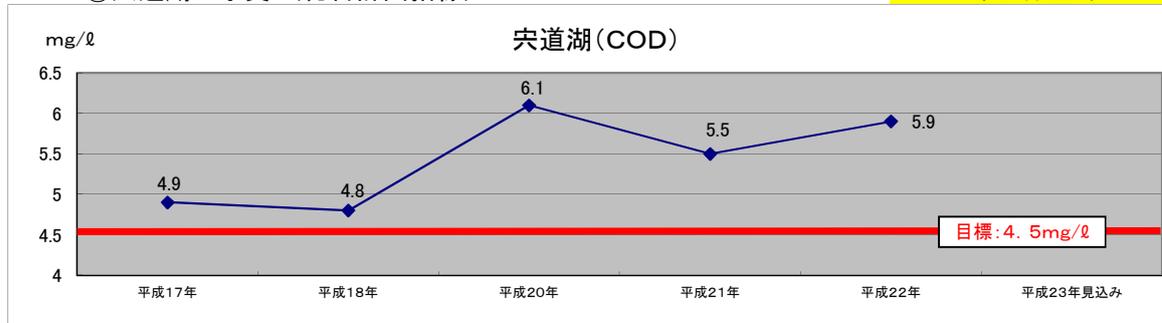
2. 総合計画の目標指標

(1節 自然をまもり共生する)

(1) 自然環境の保全・活用

① 宍道湖の水質（総合計画指標）

環境保全部



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

宍道湖の環境基準はCOD3.0mg/lです(めやすとして、COD3.0mg/lは、サケ・アユが住める程度といわれています)。本市では、当面の目標値を4.5mg/lとして取り組んできました。特に平成20年度は天候の影響を大きく受けたため数値は上がりましたが、21年度以降の数値は目標値に向って改善傾向にあります。今後とも住民に対する啓発及び島根県や沿岸自治体との連携・協働、により対策を講じていきます。

(2) 用語の説明

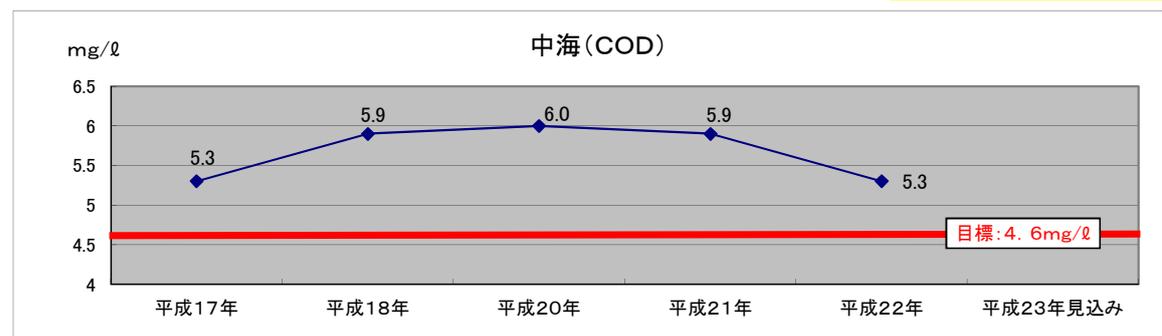
- * 環境基準: 生活環境項目について、BOD、COD、DOなどの環境基準が定められており、基準値は最も汚濁が少ないことが望まれる場所からそれほど望まれない場所まで、場所によって基準値は異なります。
- * COD: 水中の有機物による汚染の程度を示すもので、水中の有機物が酸化剤で酸化するときに必要な酸素量。この数値が大きいほど汚濁が進んでいるといえます。

(3) データの出典

- * 島根県環境政策課(宍道湖・中海対策推進室資料データ)

② 中海の水質（総合計画指標）

環境保全部



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

中海の環境基準は宍道湖と同じくCOD3.0mg/lですが、当面の目標値を4.6mg/lとして取り組んできました。ここ近年数値が6.0mg/l前後で推移していることから、今後の住民に対する啓発及び島根県や沿岸自治体との連携・協働、により対策を講じていきます。

(2) 用語の説明

- * 環境基準: 生活環境項目について、BOD、COD、DOなどの環境基準が定められており、基準値は最も汚濁が少ないことが望まれる場所からそれほど望まれない場所まで、場所によって基準値は異なります。
- * COD: 水中の有機物による汚染の程度を示すもので、水中の有機物が酸化剤で酸化するときに必要な酸素量。この数値が大きいほど汚濁が進んでいるといえます。

(3) データの出典

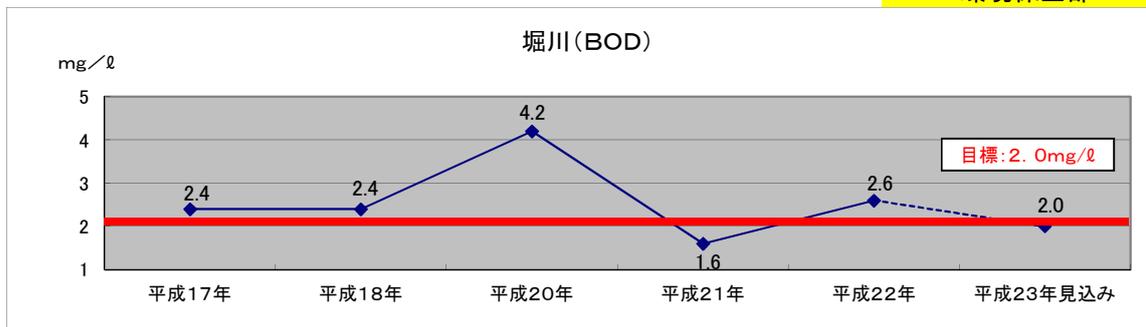
- 島根県環境政策課(宍道湖・中海対策推進室資料データ)

第1章 豊かな自然をまもり、美しい都市空間をつくる

(1) 自然環境の保全・活用 つづき

③ 堀川の水質（総合計画指標）

環境保全部



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

堀川のBODの目標値は2.0mg/lです(めやすとして、BOD2.0mg/lは、ヤマメ・イワナが住める程度といわれています)。天候などの影響により平成20年度に高い数値となったものの、ここ近年は概ね目標値を達成しています。今後とも目標値以下の数値が安定的に推移するよう、住民啓発及び関係各所との連携を図ります。

(2) 用語の説明

- * 環境基準: 生活環境項目について、BOD、COD、DOなどの環境基準が定められており、基準値は最も汚濁が少ないことが望まれる場所からそれほど望まれない場所まで、場所によって基準値は異なります。
- * BOD: 水中の有機物等の汚染源となる物質が、微生物により分解されるときに必要な酸素の量。この数値が大きいほど汚濁が進んでいるといえます。

(3) データの出典

松江市環境保全部(河川水質分析データ)

(2) 循環型社会の構築

① 清掃活動への参加者数（総合計画指標）

環境保全部



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

指標についてはおおむね目標を達成しています。自分たちのまちは自分たちできれいにするという意識啓発を進めながら、環境美化活動に対する協力支援を実施することにより、清掃活動参加者数のさらなる増加を図っていきます。

(2) 用語の説明

- * 清掃活動とは、自治会・各種団体・事業所等が実施する公共の場所でのボランティア清掃を指します。

(3) データの出典

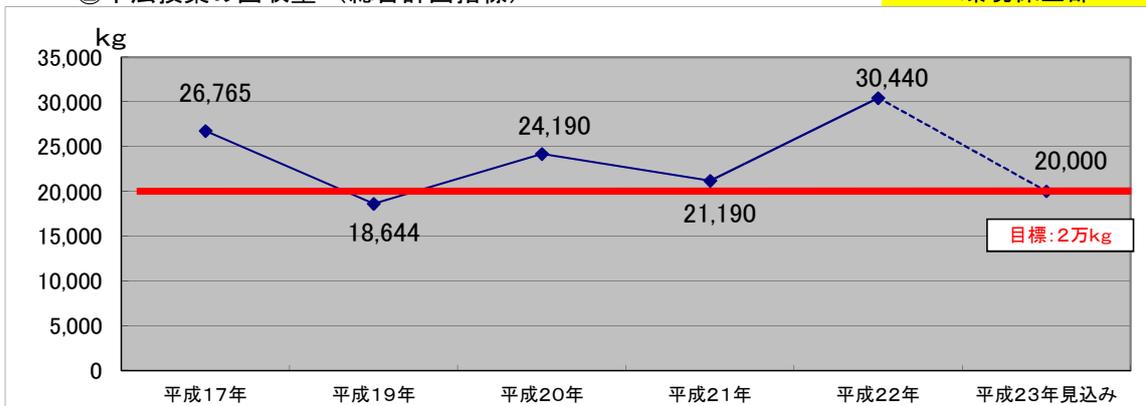
活動実績報告による。

第1章 豊かな自然をまもり、美しい都市空間をつくる

(2) 循環型社会の構築 つづき

② 不法投棄の回収量（総合計画指標）

環境保全部



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

不法投棄については、通報や地区パトロールなどにより回収を行っています。平成22年度は、特にテレビの地デジ化への移行による不法投棄が見込まれたため、パトロールを強化した結果、回収量が増加しました。

目標値は、不法投棄がなくなることを目指して回収量の減少を設定していますが、不法投棄の積極的な回収は、環境汚染の状態を解消し、新たな不法投棄をしにくくする環境づくりに繋がります。

したがって、平成22年度のように単に回収量が増加した年度だけを捉えるのではなく、今後も引き続き不法投棄を回収した場所の経過観察などにより分析していくことが重要になります。

(2) 用語の説明

※不法投棄とは、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に違反し、同法に定めた処分場以外に廃棄物を投棄することです。

(3) データの出典

活動実績報告による。

③ ごみの排出量（総合計画指標）

環境保全部



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

社会情勢の要因もあると思うが、分別等の説明会や啓発活動を積極的に実施したことにより、目標をクリアすることができています。

今年度は、新ごみ処理施設の稼働に伴う分別変更を行ったため、「一般廃棄物処理基本計画」を改定し、既存の計画に示す4Rの基本方針を継承しつつ、さらなる施策の充実を図り「リサイクル都市日本一」を目指します。

(2) 用語の説明

※4Rとは、「Refuse(リフューズ):ごみを出さない。」「Reduce(リデュース):ごみの量を減らす。」「Reuse(リユース):繰り返し利用する。」「Recycle(リサイクル):再資源化する。」の4つの取り組みの頭文字をとって4Rといいます。

(3) データの出典

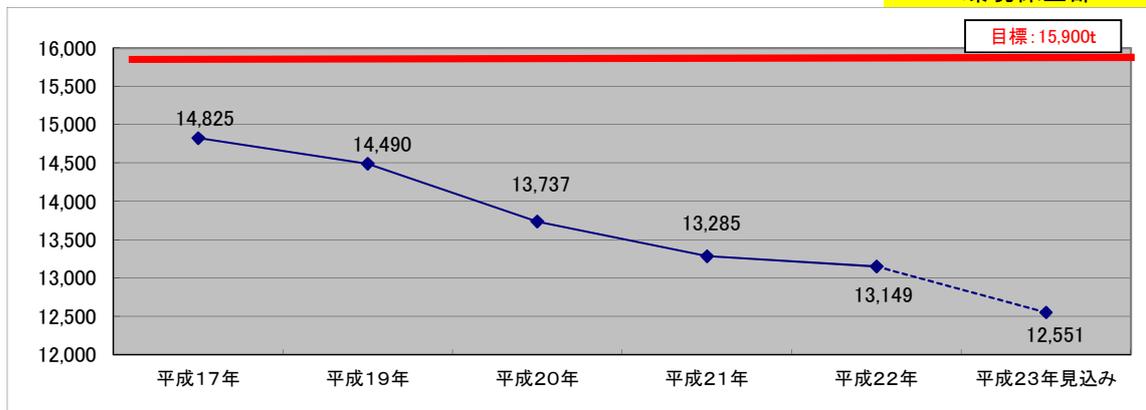
松江市一般廃棄物処理計画

第1章 豊かな自然をまもり、美しい都市空間をつくる

(2) 循環型社会の構築 つづき

④ 資源ごみの回収量（総合計画指標）

環境保全部



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

資源ごみ量の約60%を古紙が占めていますが、その古紙が、IT化により、本や雑誌類を中心に、消費が年々減少していることから、資源ごみの回収量が減少しています。

リフューズが一番の施策であり、資源ごみが減少することは良いことですが、紙製容器包装、缶・びん・ペットボトルなどの資源ごみが、もやせるごみとならないように、今後も広報や啓発活動に努めます。

(2) 用語の説明

※資源ごみとは、缶、びん、ペットボトル、古紙、古着、プラスチック製容器包装、紙製容器包装など再利用が可能なごみの総称です。

※リフューズ(Refuse)とは、“ごみを出さない”という4Rの取り組みのひとつ。

(3) データの出典

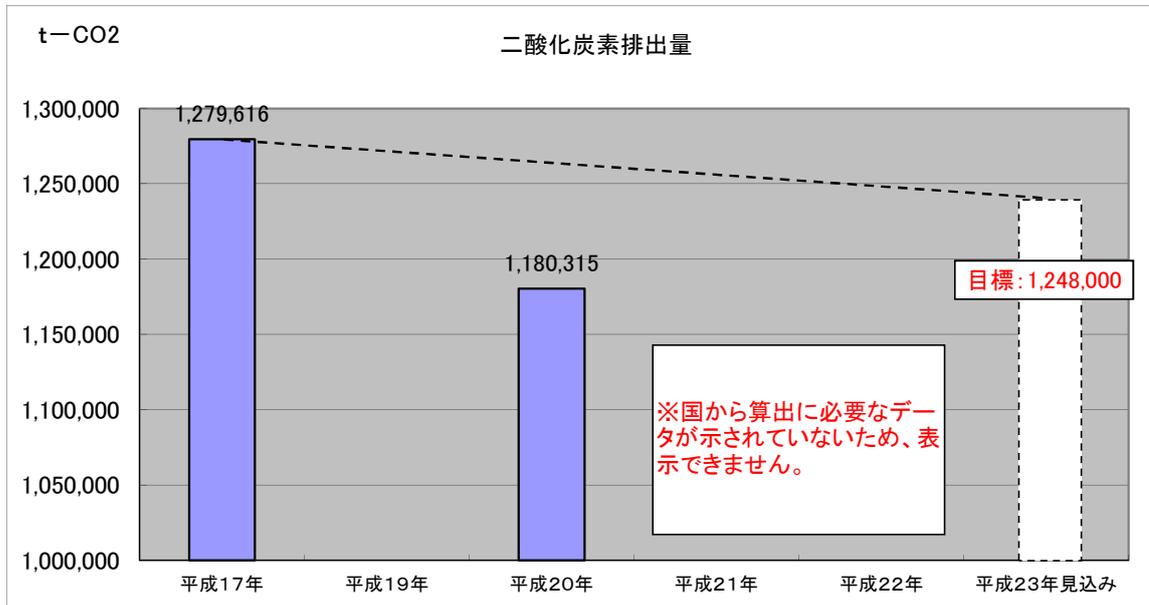
松江市一般廃棄物処理計画

第1章 豊かな自然をまもり、美しい都市空間をつくる

(3) 地球環境の保全

① 二酸化炭素排出量（総合計画指標）

環境保全部



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

平成20年度の二酸化炭素排出量は、平成17年度と比較し7.8%減の1,180,315t-CO2でした。地球温暖化防止を推進するため、新エネルギー設備などの導入に対する補助制度を充実し、「住宅用太陽光発電導入促進事業費補助金」の他に新たに市内の建築物の屋上又は壁面を緑化する方に対し補助金「松江市屋上緑化等補助金」を設置しました。今後は、家庭からの二酸化炭素の割合が多い松江市では、家庭での節電などにより、CO2排出削減に手軽に取り組んでいただきたいと考えており、島根県地球温暖化防止活動推進員やまつえ環境市民会議と連携して、ライトダウンキャンペーンなど推進して行きます。

(補足)

※21年度以降の二酸化炭素排出量については、国が新たな算出方法（策定マニュアル）を策定したため、策定マニュアルに沿って排出量を算出していきます。（21年度以降の排出量は、国から算出に必要なデータが示されていないため表示できません。）

(2) データの出典

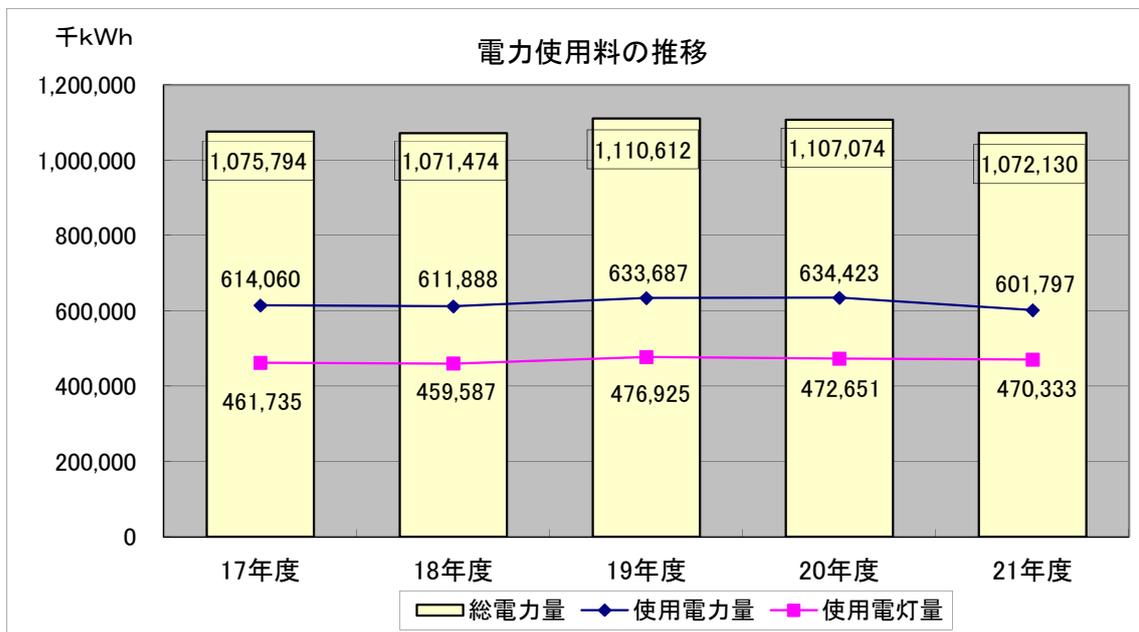
環境保全部データ、環境省の地球温暖化対策地方公共団体実行計画（区域施策編）策定マニュアルなど

第1章 豊かな自然をまもり、美しい都市空間をつくる

(3) 地球環境の保全 つづき

② 電灯・電力の需要状況 (※参考数値)

資料：中国電力株式会社松江営業所



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

二酸化炭素総排出量の数値が公表待ちのため、電力使用料を代替数値として分析しました。
 平成19年から21年にかけては、使用電力量が減少しており、特に家庭内で使用する電灯量は、3年連続して減少しています。
 ただし、猛暑などの影響もあり、22年度以降の推移には注意して見ていく必要があります。

(2) 用語の説明

※電力とは主に工場やオフィスビル等で、電灯とは主に一般家庭や小規模店舗等で使用されるものです。

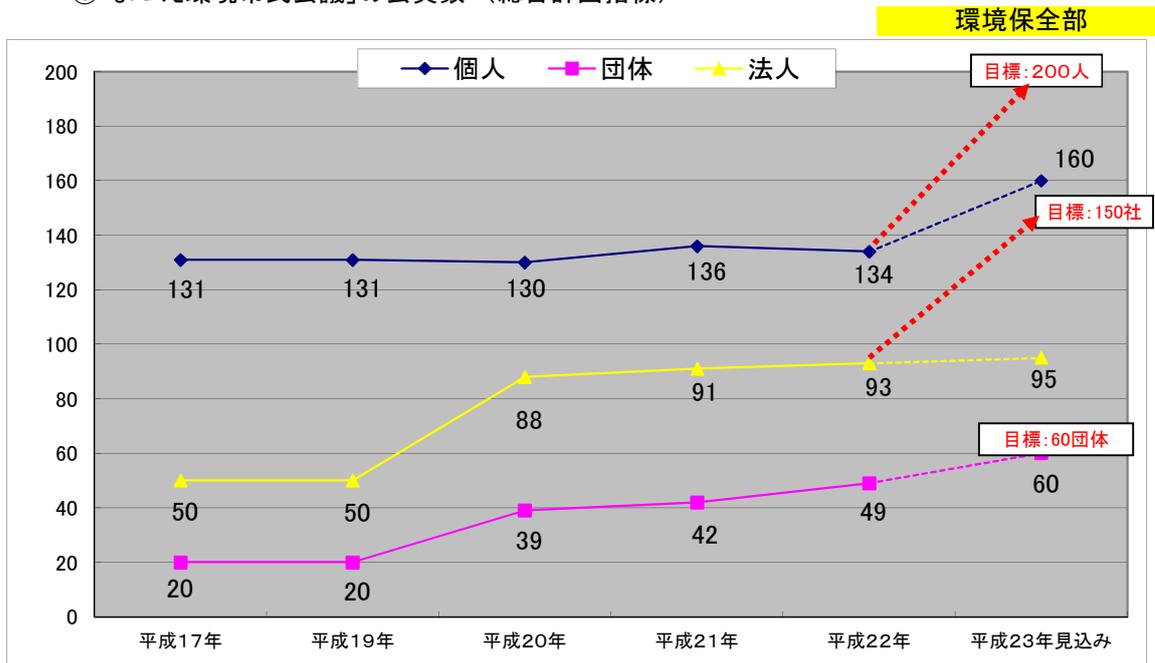
(3) データの出典

資料：中国電力株式会社松江営業所

第1章 豊かな自然をまもり、美しい都市空間をつくる

(4) 市民参加

①「まつえ環境市民会議」の会員数（総合計画指標）



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

松江市の環境活動を牽引するための組織として、平成19年に「まつえ環境市民会議」が設立されましたが、設立当時から会員数が横ばいで推移しています。

これは、会員へ事業内容の情報提供ができず、一部の固定した会員の参加となり、拡がりがなかったことが原因と考えられます。

今後は、会員への情報提供、事業内容の充実や参加しやすい事業の検討を行い、加入促進を図り、さらなる発展を目指します。

(2) 用語の説明

※まつえ環境市民会議は、「世界に誇る環境首都まつえ～リサイクル都市日本一～」の実現を目指し、平成19年2月17日に設立されました。

「自然環境の保全」、「ごみ減量の推進」、「地球温暖化防止」、「環境教育の推進」の4つのテーマを柱に、市民・事業者・行政が協力して活動しています。

(3) データの出典

松江市環境保全部(環境企画係)

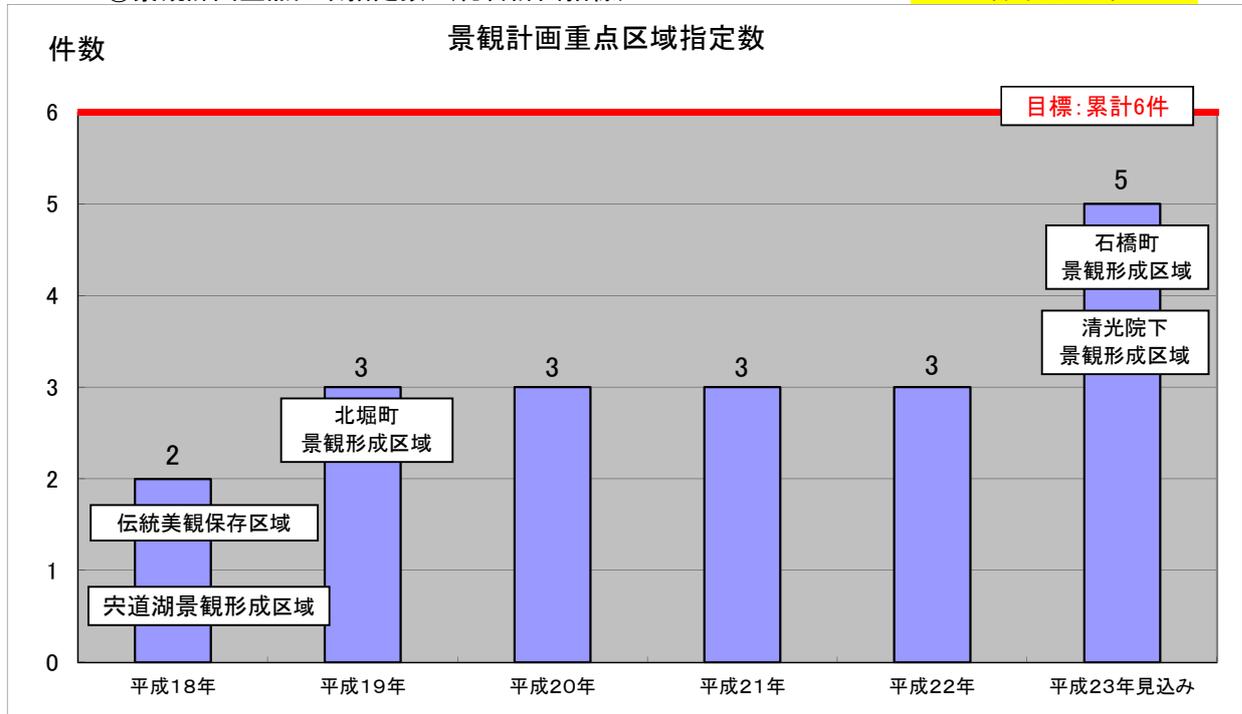
第1章 豊かな自然をまもり、美しい都市空間をつくる

(2節 風格があり、美しい都市をつくる)

(1) 景観形成

① 景観計画重点区域指定数 (総合計画指標)

都市計画部



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

松江市景観計画(以下「景観計画」という。)は常に成長する計画としています。成長する計画とは、具体的には、松江市の良好な景観を保全・創造・継承していくため、景観に対する住民、事業者の意識の醸成を図りながら、随時、新たな景観計画重点区域(以下「重点区域」という。)を指定していくことなどを意味します。

景観計画策定時(平成19年3月)に、松江市都市景観条例に基づく伝統美観保存地区を拡大し、伝統美観保存区域として、また、ふるさと島根の景観づくり条例に基づく宍道湖景観形成地域を引き継ぎ、宍道湖景観形成区域として、2つの重点区域を指定しました。平成19年12月には、新たに北堀町景観形成区域を重点区域に指定しました。

今後も、景観に対する住民、事業者の意識の醸成を図りながら、新たな重点区域の指定に向けた取り組みを推進し、地域住民との合意形成が得られた地域を重点区域に随時指定していく予定です。

(2) 用語の説明

※景観計画は、景観法第8条の規定に基づき景観行政団体(松江市は平成17年5月に景観行政団体となる。)が良好な景観の形成に関する事項を定めた計画のことをいいます。

※景観計画重点区域とは、松江市景観条例第7条に規定する、景観計画区域内で良好な景観の形成に関する施策が特に必要と認められる区域のことをいいます。

(3) データの出典

松江市景観政策室作成

第1章 豊かな自然をまもり、美しい都市空間をつくる

(2) 公園緑地の整備

①一人当たりの都市公園面積（総合計画指標）

都市計画部



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

「松江市緑の基本計画」に基づき目標値を設定して取り組んでおり、合併により一時的に数値が落ちたものの、新しい公園の整備や合併後に都市公園として位置づけた公園により、現在は17年度の数値を追い抜く状況となりました。

今後は、新規に開設される公園や8月の東出雲町の合併により都市公園として位置づけられる公園が増えるため、面積は更にアップします。

政令による1人当たり10m²以上の都市公園面積の基準は、既に満たしていることもあり、今後は「松江市緑の基本計画」に基づき、既存公園をより市民が望む形にすることで、現在計画中の公園は除き、新設公園は必要最小限にとどめます。

(2) 用語の説明

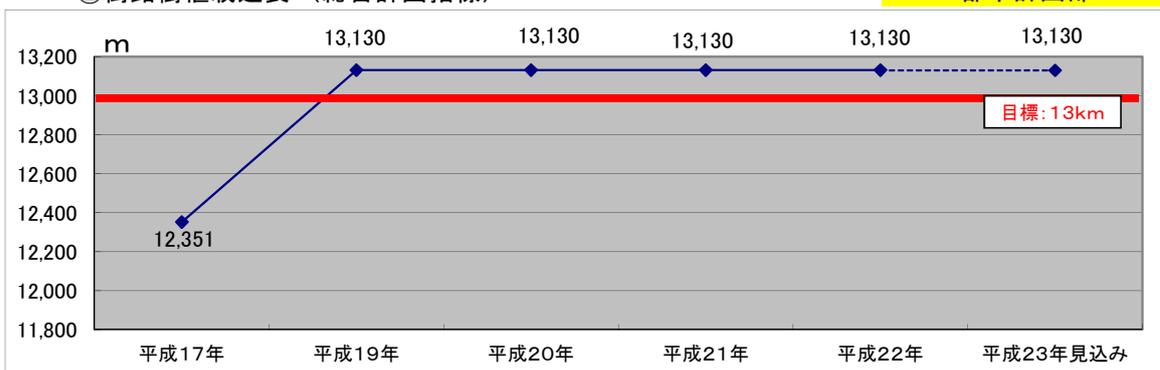
※1人当たりの都市公園敷地面積は、都市公園法施行令第1条の規定により、10m²以上と規定されています。

(3) データの出典

公園緑地課調査資料

②街路樹植栽延長（総合計画指標）

都市計画部



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

街路樹植栽は、市道の改修等に合わせて整備してきましたが、植栽に適する歩道整備工事がなく、19年以降実施していません。

目標数値は達成していますが、今後も安全な歩道整備と街路樹植栽による緑化の推進について、関係課と協議しながら進めていく必要があります。

(2) 用語の説明

(3) データの出典

公園緑地課調査資料

第2章 歴史と文化を大切に、豊かな心を育むまちをつくる

1. ベンチマーク(代表的な指標による類似団体比較)

①教育用コンピュータ設置台数(1台当たり生徒数)

教育用コンピュータの1台当たり生徒数は、類似都市の中では下位ですが、一方で、普通教室のLAN整備率は88.9%で16位、教員の校務用コンピュータ整備率は100%を超えており、整備状況は良好です。

②市立小中学校の耐震化率

各市のホームページから耐震化率を拾って、ランキング化したものです。基準年度がまちまちで統一した資料にはなりませんでしたが、概ね松江市は耐震化対策が進んでいると思われます。

教育用コンピュータ設置台数 2010年3月1日	
人/台	
都市名	1台当たり生徒数
1 甲府市	3.6
2 尾道市	4.9
3 佐世保市	5.3
4 松阪市	5.3
5 今治市	5.5
6 呉市	5.6
7 上越市	6.1
8 鳥取市	6.4
9 都城市	6.5
10 釧路市	6.8
11 長岡市	7.0
12 弘前市	7.3
13 石巻市	7.5
14 野田市	7.6
15 東広島市	7.6
16 福井市	7.6
17 帯広市	7.8
18 徳島市	8.0
19 周南市	8.2
20 小山市	8.3
21 米子市	8.4
22 山形市	8.5
23 山口市	8.6
24 松本市	8.6
25 熊谷市	8.7
26 上田市	9.1
27 佐賀市	9.1
28 松江市	9.2
29 津市	9.4
30 水戸市	9.9
31 出雲市	10.3
32 福島市	10.6
33 市原市	11.1
34 八戸市	12.6
35 鈴鹿市	13.9

学校における教育の情報化等の実態に関する調査:(市立小中高校)

小中学校の耐震化率 2010年4月		
(単位:%)		
都市名	耐震化率	備考
1 松阪市	98.9	H21年
2 松本市	97.8	H21年
3 鈴鹿市	96.3	
4 徳島市	90.0	
5 津市	86.3	
6 熊谷市	83.6	H21年
7 甲府市	81.6	H21年
8 都城市	81.4	
9 長岡市	77.0	
10 山口市	75.5	
11 佐賀市	72.2	
12 上越市	71.3	
13 山形市	71.0	
14 出雲市	70.0	
15 松江市	69.4	
16 市原市	67.1	H21年
17 東広島市	66.9	
18 石巻市	65.7	
19 水戸市	64.5	
20 鳥取市	63.9	
21 佐世保市	63.8	
22 帯広市	63.5	H21年
23 小山市	62.8	
24 野田市	61.1	H21年
25 福井市	60.2	
26 今治市	56.7	H21年
27 上田市	54.7	H21年
28 米子市	54.6	
29 八戸市	54.4	
30 福島市	53.7	
31 呉市	50.3	
32 釧路市	49.6	H21年
33 弘前市	49.5	H21年
34 周南市	49.4	
35 尾道市	41.3	

資料:各都市ホームページ
(本表の中には実数を率に直すため、当方で計算した数字もあるので参考程度の資料として下さい)

第2章 歴史と文化を大切に、豊かな心を育むまちをつくる

③教員一人当たりの児童・生徒数

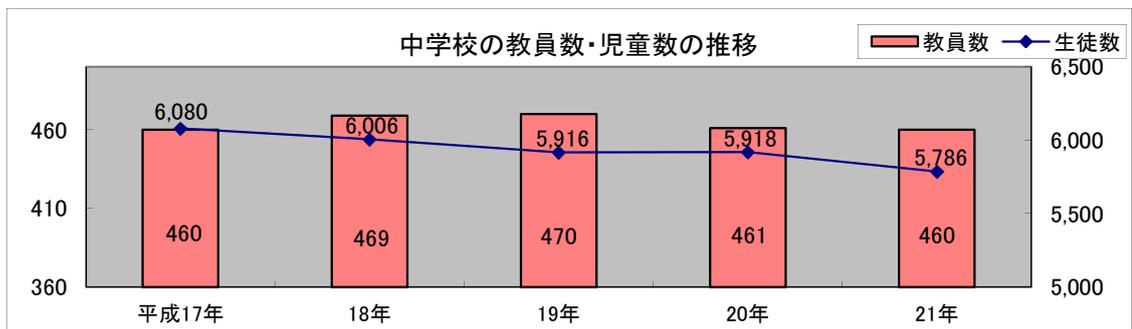
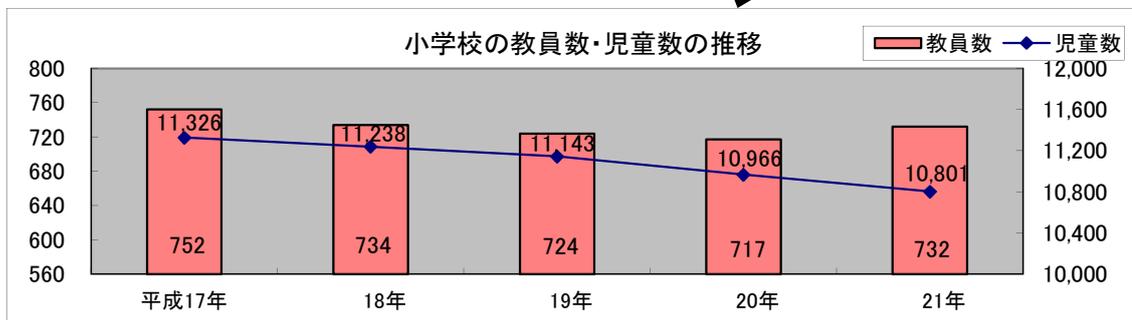
小学校教員一人当たり児童数	
2009年5月1日現在	
(単位:人)	
都市名	児童数
1 上越市	12.8
2 出雲市	13.1
3 鳥取市	13.7
4 石巻市	13.7
5 松阪市	14.3
6 松江市	14.8
7 津市	14.8
8 弘前市	14.9
9 尾道市	15.1
10 都城市	15.4
11 周南市	15.4
12 長岡市	15.4
13 釧路市	15.5
14 呉市	15.6
15 東広島市	15.9
16 今治市	16.0
17 帯広市	16.2
18 八戸市	16.3
19 徳島市	16.5
20 米子市	16.7
21 福井市	16.7
22 山口市	16.9
23 佐世保市	17.0
24 福島市	17.2
25 佐賀市	17.3
26 市原市	17.3
27 小山市	17.4
28 甲府市	17.4
29 上田市	17.5
30 熊谷市	17.6
31 鈴鹿市	17.6
32 山形市	17.9
33 松本市	18.0
34 野田市	18.8
35 水戸市	19.1

中学校教員一人当たり生徒数	
2009年5月1日現在	
(単位:人)	
都市名	生徒数
1 尾道市	11.2
2 石巻市	11.6
3 上越市	11.7
4 周南市	12.1
5 鳥取市	12.3
6 今治市	12.4
7 松江市	12.6
8 出雲市	12.6
9 山口市	12.8
10 長岡市	13.0
11 呉市	13.1
12 都城市	13.2
13 釧路市	13.3
14 福井市	13.4
15 松阪市	13.5
16 津市	13.5
17 佐賀市	13.6
18 松本市	13.7
19 佐世保市	13.7
20 八戸市	14.0
21 米子市	14.0
22 弘前市	14.1
23 熊谷市	14.1
24 徳島市	14.2
25 帯広市	14.2
26 福島市	14.5
27 小山市	14.6
28 上田市	14.8
29 市原市	15.0
30 山形市	15.0
31 水戸市	15.0
32 甲府市	15.4
33 野田市	15.5
34 東広島市	15.7
35 鈴鹿市	16.1

教員一人当たりの児童・生徒数は、小学校が6位・中学校が7位で、鳥取市・出雲市とともに教育環境としては恵まれているといえます。視点を変えれば効率的な学校の配備(裏を返せば過疎化)という点で課題も残ります。

また、松江市の教員数と、児童・生徒数を時系列にみると、小中学校ともに児童・生徒数が減少している一方で、教員数は横這いであることが分かります。

資料：統計でみる市町村のすがた2011



第2章 歴史と文化を大切に、豊かな心を育むまちをつくる

④幼稚園・保育所数

小学校入学前の施設については、幼稚園と保育所を合計してランキング化しました。

人口規模が、類似都市の中で、ほぼ中位の松江市としては、乳幼児施設は充実しているといえます。

幼稚園・保育所数				
		2008/10/1	2009/5/1	
(単位:施設)				
	都 市 名	保育所数	幼稚園数	幼児教育計
1	福 井 市	78	46	124
2	津 市	56	55	111
3	徳 島 市	66	35	101
4	佐 世 保 市	59	38	97
5	八 戸 市	69	25	94
6	長 岡 市	72	20	92
7	呉 市	58	33	91
8	松 江 市	54	34	88
9	都 城 市	68	18	86
10	福 島 市	41	43	84
11	佐 賀 市	38	45	83
12	弘 前 市	65	12	77
13	上 越 市	62	12	74
14	水 戸 市	36	36	72
15	鈴 鹿 市	40	31	71
16	出 雲 市	43	27	70
17	松 本 市	50	17	67
18	甲 府 市	37	29	66
19	鳥 取 市	45	16	61
20	今 治 市	41	18	59
21	松 阪 市	33	25	58
22	尾 道 市	29	29	58
23	東 広 島 市	44	14	58
24	山 形 市	30	26	56
25	釧 路 市	26	29	55
26	上 田 市	42	13	55
27	周 南 市	27	28	55
28	山 口 市	29	25	54
29	小 山 市	32	21	53
30	熊 谷 市	35	17	52
31	米 子 市	40	10	50
32	市 原 市	20	29	49
33	石 巻 市	32	15	47
34	帯 広 市	26	14	40
35	野 田 市	14	12	26
幼稚園…統計でみる市町村のすがた2011				
保育所…厚生労働省;平成20年社会福祉施設等調査				

第2章 歴史と文化を大切に、豊かな心を育むまちをつくる

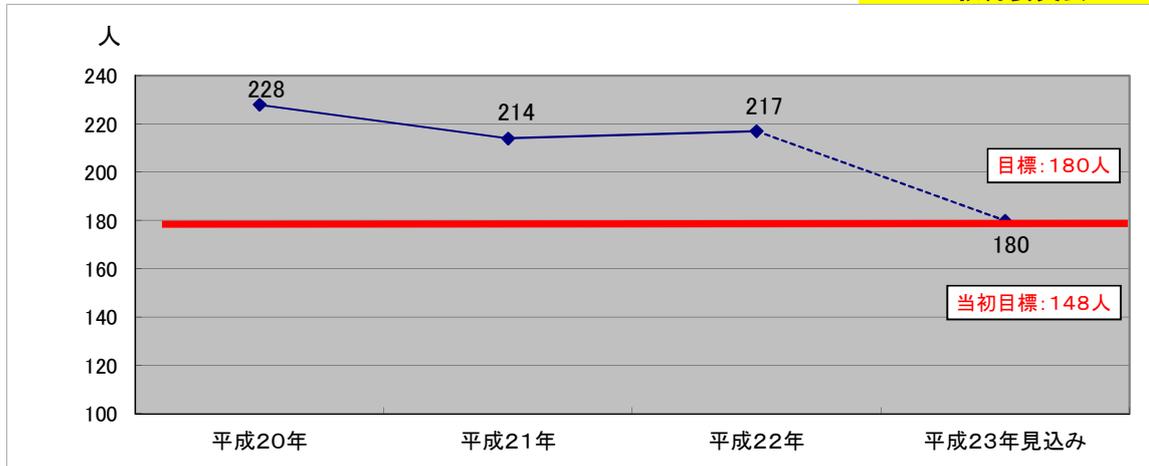
2. 総合計画の目標指標

(1節 教育環境が整う)

(1) 教育内容の充実

① 市立小中学校(小4から中3)の不登校児童生徒数 (総合計画指標)

教育委員会



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

各学校の積極的な取組みにより不登校児童生徒数は減少傾向にあります。また、平成21年度からの不登校支援アクションプランによる小中一貫教育全15中学校区での不登校支援の取組みにより、不登校傾向児童数や家に閉じこもりがちな児童生徒が大幅に減少しました。
今後は、不登校児童生徒への関係機関と連携した支援やQ-Uを活用した不登校の未然防止的な取組みを推進していきます。

(2) 用語の説明

※不登校児童生徒とは、不登校を理由とした年間の欠席日数が30日以上の子供生徒をいいます。
※不登校傾向児童生徒とは、年間欠席日数が30日以内で、不登校が心配される児童生徒をいいます。
※家に閉じこもりがちな児童生徒とは、不登校児童生徒のうち、家にいることが多く相談機関にかかわることもない児童生徒をいいます。
※Q-Uとは、学校生活での子ども達一人ひとりの意欲や満足感、および学級集団の状態を質問紙(アンケート)によって測定するものです。

(3) データの出典

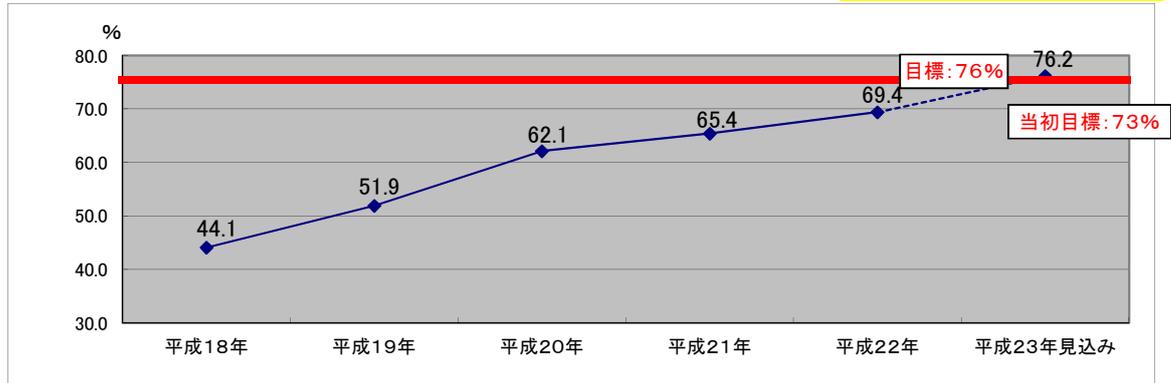
「不登校及び不登校傾向の児童生徒に関する調査」(県調査)

第2章 歴史と文化を大切にし、豊かな心を育むまちをつくる

(2) 教育環境の整備・充実

① 学校施設の耐震化率（総合計画指標）

教育委員会



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

小中学校の耐震化率は、平成18年度に半分にも満たなかったことから、平成25年度末に耐震化率100%となるよう、耐震化の取り組みに特化して小中学校施設の整備を計画的に進めてきており、平成23年の見込みも目標どおりの成果をあげています。

学校施設の耐震化は着実に進んできていることから、今後も引き続き計画的に取り組んでいきます。

(2) 用語の説明

※耐震化とは、住宅やビルなどの建物が震度6強～7程度の揺れでも倒壊しないような構造にすることをいいます。昭和56年に建築基準法が改正されたことにより、以後の建物はその基準によって建築されています。同法改正までの建物については、耐震補強工事を行って耐震性能を確保します。

(3) データの出典

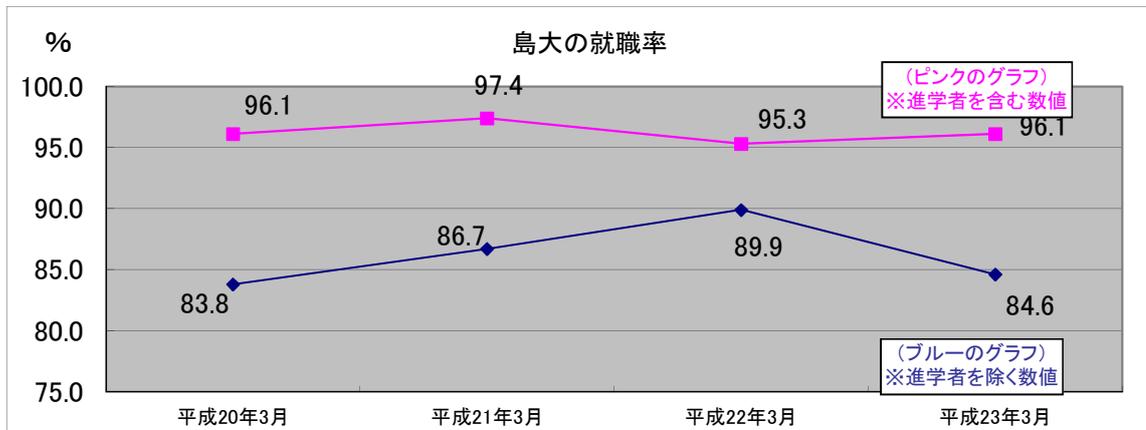
毎年度実施される文部科学省の「耐震改修状況調査」への回答による。

第2章 歴史と文化を大切に、豊かな心を育むまちをつくる

(2) 教育環境の整備・充実 つづき

② 島大の就職率（総合計画指標：H22設定）

政策部



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

【島根大学キャリアセンターの考察】

平成21年3月卒業者以降3年にわたり全国平均を上回り、本年3月卒業者の96.1%については全国を5.1ポイント上回る状況でした。厳しい雇用情勢の中で昨年と今年で0.8ポイントも上昇していることは、以下の取り組みによるものと考えています。

- ① 外部就職相談員を含めた相談体制の充実による相談件数の増加。
→ 学生の就職意識の向上やスキル獲得。
- ② 正課外のキャリア・就職ガイダンスを実践的な形態として、充実させた
→ ガイダンスのWEB配信の視聴件数が飛躍的に増加。
- ③ 「就活バス」の多数回の運行により就職活動の機会を多く確保。
- ④ 面接特訓などの3年生対象事業を4年生も参加可能にし、卒業直前で未内定の学生に就職活動の再構築をさせ、卒業までの内定に結びつくよう支援を実施。

以上のようにH21と比較して就職活動の支援を充実させたことが、全国平均を上回る就職率の維持につながったと考えています。

(2) 用語の説明

※就職率(上段:ピンク)は、進学者数を含んだ数値(厚労省・文科省調査)です。
また、就職率(下段:ブルー)は進学者数を除いた数値を示しています。

(3) データの出典

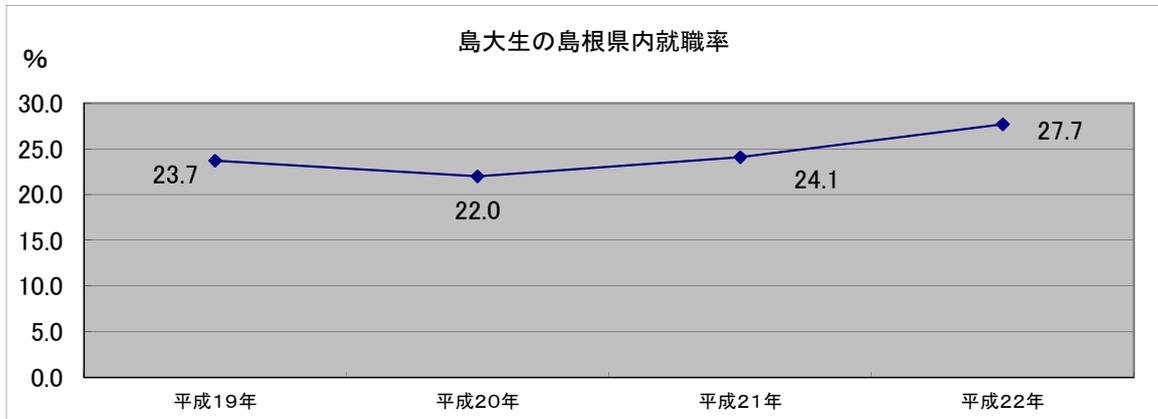
島根大学キャリアセンターより

第2章 歴史と文化を大切に、豊かな心を育むまちをつくる

(2)教育環境の整備・充実 つづき

③島大生の島根県内就職率（総合計画指標:H22設定）

政策部



(1)平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

【島根大学キャリアセンターの考察】

県内就職者の実数の増加をみると、H20～22まで毎年10名以上の増加がありました。H23以降も以下の取り組み等により県内就職者数の増加・維持が期待できるものと考えています。

- ①H22に県内における企業の開拓を、松江市と連携して実施した。
その中で企業が求める人材像の把握や、島大生のPRを行うことができた。
結果的にH22年度後半に求人票が増加し、例年より30社以上増加し120社から求人票を得た。
- ②年度後半に多くの求人があったことは、地域の高等教育機関として本学に対する企業の期待が大きいと考える。
- ③インターンシップの協力や、合同会社説明会参加、特別(学校指定)の求人の要望など、企業の多大な貢献によって、学生の「地域を一層理解する」「地域で職を求める」意識が醸成される状況であった。

近年のキャリア教育の質的充実によって、地域から学生が地域課題等を主体的に学び取る場面も増える中、公務員・教員も含めて県内での就職につながる可能性も高くなるものと考えています。

(2)用語の説明

- (3)データの出典
島根大学キャリアセンター

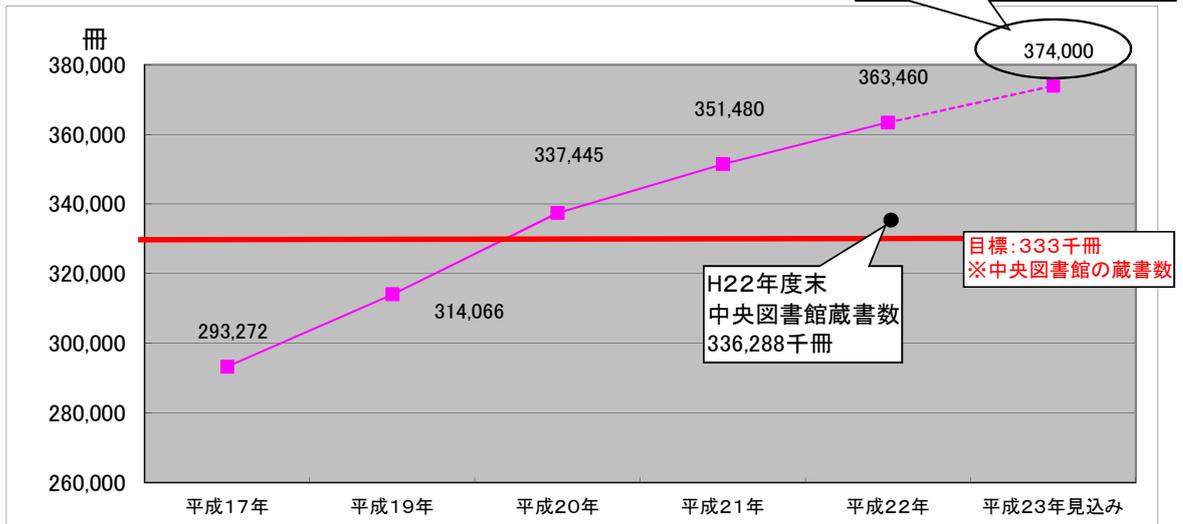
第2章 歴史と文化を大切に、豊かな心を育むまちをつくる

(2節 豊かな心を育む)

(1)生涯学習の推進と青少年の育成

教育委員会

①市立図書館蔵書冊数（総合計画指標）



(1)平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

目標値は、「新・松江市図書館ネットワーク整備プラン」に基づき、現松江市立中央図書館の蔵書数の増加率を目安に設定しており、島根図書館、移動図書館の開館及び東出雲図書館の追加による増加が含まれていません。

【参考】平成22年度末蔵書数: 中央図書館336,288冊、島根図書館14,217冊、移動図書館12,955冊
今後は、「新・松江市図書館ネットワーク整備プラン」を改訂し、島根図書館、移動図書館、東出雲図書館を含む市全域での蔵書管理及び資料提供等、図書館サービスの充実を検討していきます。

(2)用語の説明

(3)データの出典

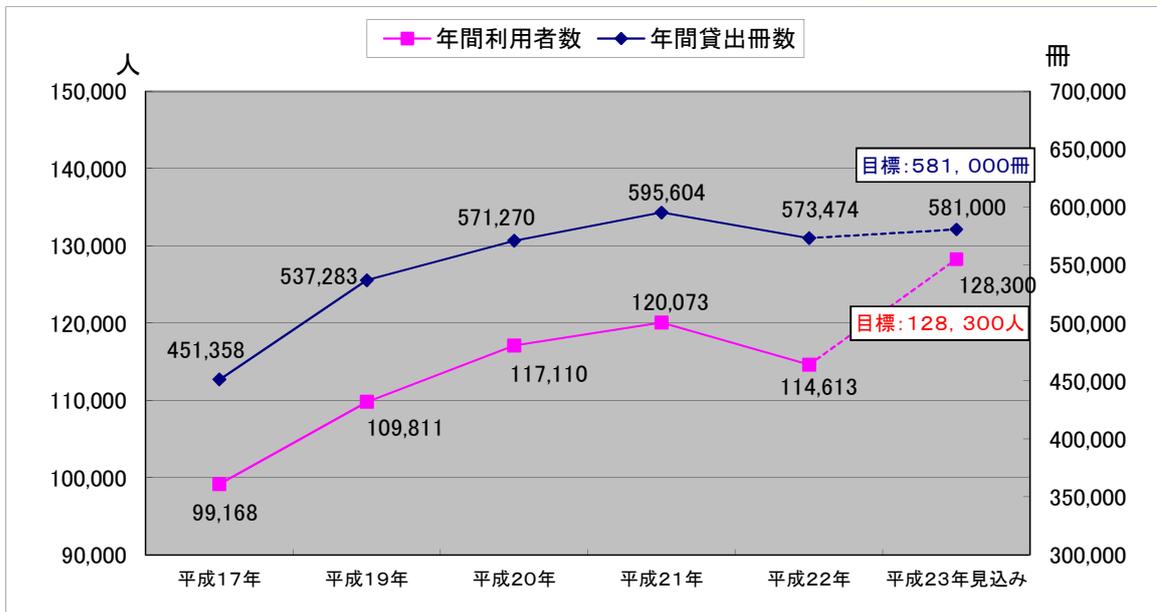
松江市図書館情報システム

第2章 歴史と文化を大切にし、豊かな心を育むまちをつくる

(1)生涯学習の推進と青少年の育成 つづき

②松江市立図書館の年間利用者数、年間貸出冊数（総合計画指標）

教育委員会



(1)平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

平成20年度に島根図書館、移動図書館が開館し、貸出冊数、利用者数ともに増加しました。しかし、昨年度は夏の猛暑、冬の豪雪の影響等により、利用が減少しました。今後は、貸出内容などの統計を活用し、ニーズを踏まえた細やかなサービスを行う等、より利用しやすい図書館サービスに努めます。

(2)用語の説明

(3)データの出典

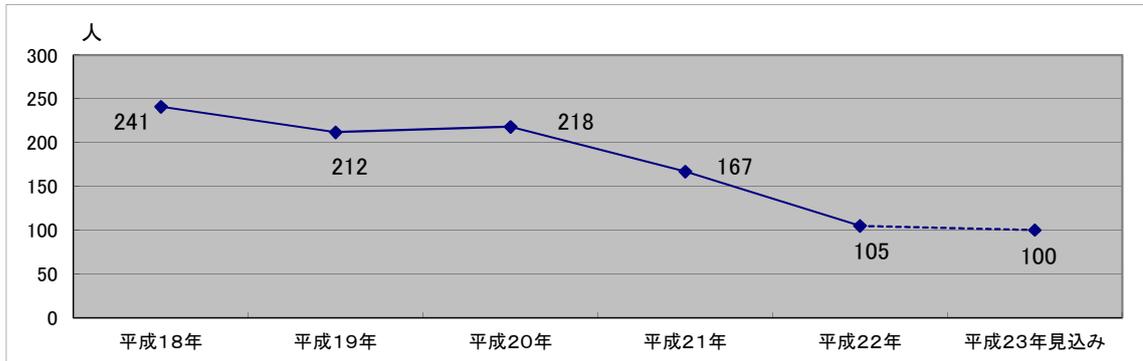
松江市立図書館

第2章 歴史と文化を大切に、豊かな心を育むまちをつくる

(1)生涯学習の推進と青少年の育成 つづき

③非行少年補導人員数（総合計画指標：H22設定）

教育委員会(青少年支援センター)



(1)平成18年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

地域の青少年健全育成活動や支援ボランティアも含めた研修の実施、関係機関の連携による支援体制が充実し、非行少年補導人員が減少傾向にあります。

今後は更に困難を抱える青少年が自立できるよう、就労支援や学習支援など困難な状況に応じたきめ細やかな支援を行う必要があります。

(2)用語の説明

※非行少年とは、犯罪少年・触法少年・ぐ犯少年のことを表します。

- ・犯罪少年 窃盗・傷害等の罪を犯した14歳以上20歳未満の者
- ・触法少年 刑罰法令に触れる行為をした14歳未満の者
- ・ぐ犯少年 性格・行状から判断して、将来罪を犯し、又は刑罰法令に触れる恐れがある20歳未満の者

(3)データの出典

松江警察署資料

④不良行為少年補導人員数（総合計画指標：H22設定）

教育委員会(青少年支援センター)



(1)平成18年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

地域の青少年健全育成活動や支援ボランティアも含めた研修の実施、関係機関の連携による支援体制が充実し、不良行為少年補導人員が減少傾向にあります。

今後は更に困難を抱える青少年が自立できるよう、就労支援や学習支援など困難な状況に応じたきめ細やかな支援を行う必要があります。

(2)用語の説明

※不良行為少年とは、非行少年ではないが飲酒、喫煙等を行って警察に補導された20歳未満の者を表します。

(3)データの出典

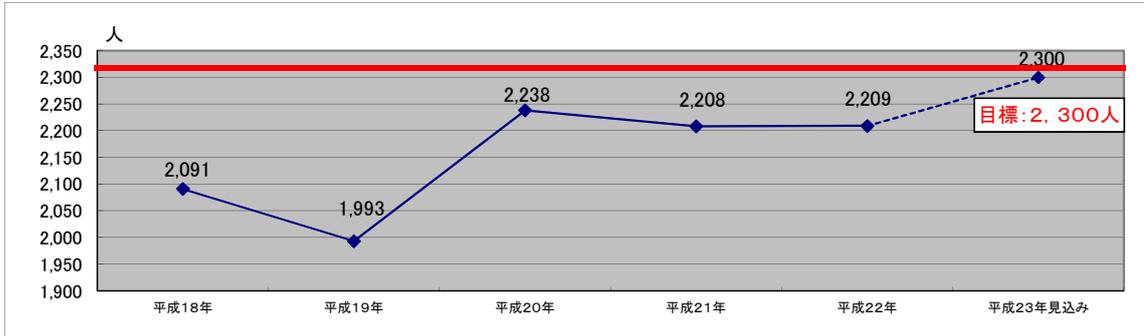
松江警察署資料

第2章 歴史と文化を大切に、豊かな心を育むまちをつくる

(2) 人権施策の推進

① 松江市が主催する研修会等への参加者数（総合計画指標）

総務部



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

市内各地域の人権・同和教育を推進するに当たり、その成果指標として研修会や講演会への「参加者数」を用いています。

年度により多少の増減はあるものの、地域人権・同和教育推進協議会、同和問題をはじめあらゆる差別をなくすために活動する市民グループ協議会、松江市企業等同和問題研修推進連絡協議会等から一定の参加を得ています。

今後も目標値に向け、研修内容や周知方法を熟慮しながら取り組みを進めます。

(2) 用語の説明

※松江市が主催する研修会等への参加者数とは… 地域人権・同和教育推進協議会委員、同和問題をはじめあらゆる差別をなくすために活動する市民グループ協議会会員、松江市企業等同和問題研修推進連絡協議会に加入する事業所従業員等を対象に行う研修会や講演会への参加者数のことです。

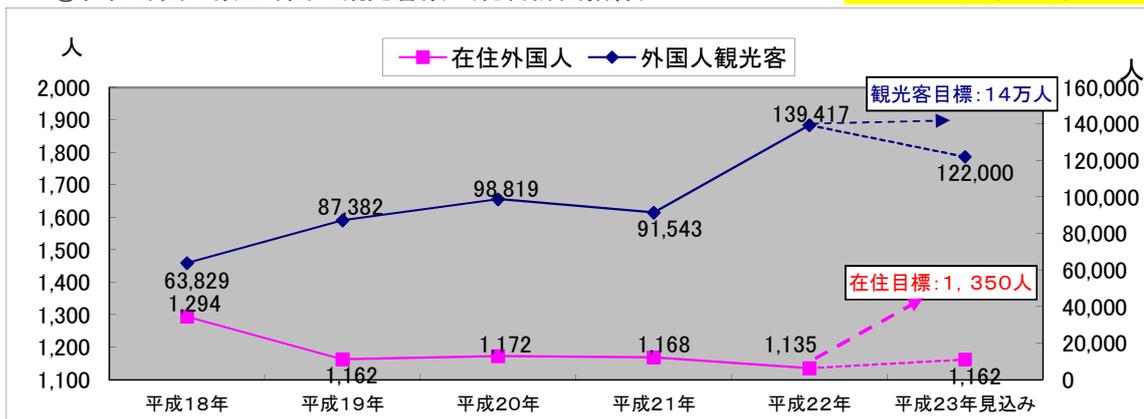
(3) データの出典

各研修会、講演会への参加者数の集計結果

(3) 国際交流の推進

① 在住外国人数と外国人観光客数（総合計画指標）

観光振興部



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

平成18年から平成19年の顕著な在住外国人数の減少は、就労の場の減少が主な要因となっており、それ以降は、ほぼ横ばいで国籍別の変化もありません。

外国人観光客数については、第5章2節に掲載しています。

(2) 用語の説明

※「在住外国人数」とは、松江市で外国人登録をしている外国人の人数

(3) データの出典

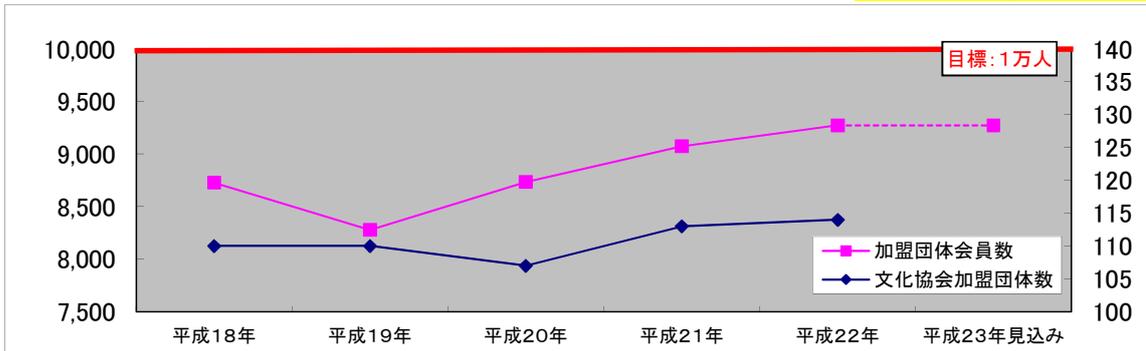
松江市国籍別人口集計表

第2章 歴史と文化を大切にし、豊かな心を育むまちをつくる

(4)文化の振興

①文化協会加盟団体の会員数（総合計画指標）

観光振興部



(1)平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

各加盟団体の会員数は減少しつつありますが、加盟団体の増減により、全体の会員数は横ばい傾向にあります。

引き続き、松江市文化協会の活動を支援していくことで、本市の文化の向上や市民の活動の広がりによる豊かな地域づくりをめざします。

(2)用語の説明

※文化協会加盟団体の会員数とは、松江市文化協会に加盟している各団体の会員数の合計（申請数）

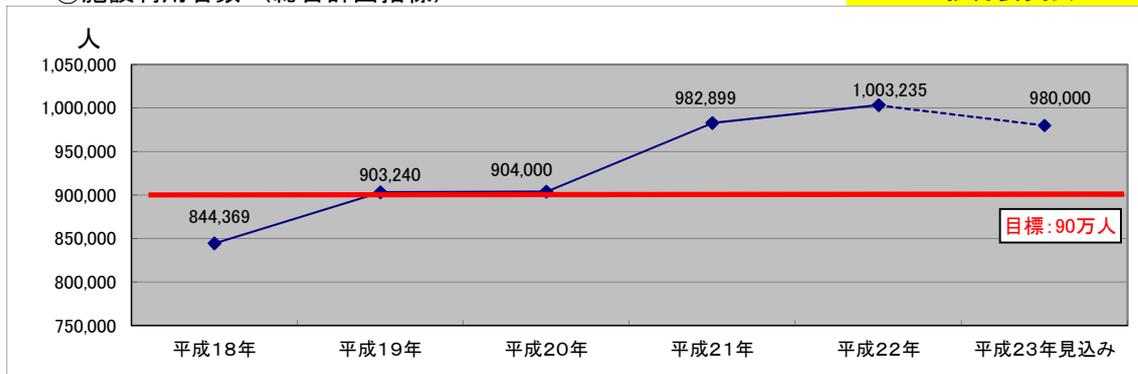
(3)データの出典

松江市文化協会資料

(5)スポーツの振興

①施設利用者数（総合計画指標）

教育委員会



(1)平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

指定管理制度導入施設については、利用率向上を目的とした指定管理者による自主事業の開催に伴う利用者の増加が見られます。

また旧町村施設については、その認知度の向上により旧市内在住者の利用が増えていることから、期待通り順調に利用者数を増やしているものと思われます。

今後も利用者のさまざまな要求に応えるため、計画的な改修・修繕を実施することで施設の安定稼働を目指します。

(2)用語の説明

※施設利用者数については、松江市内の全社会体育施設の利用者数の合計数です。

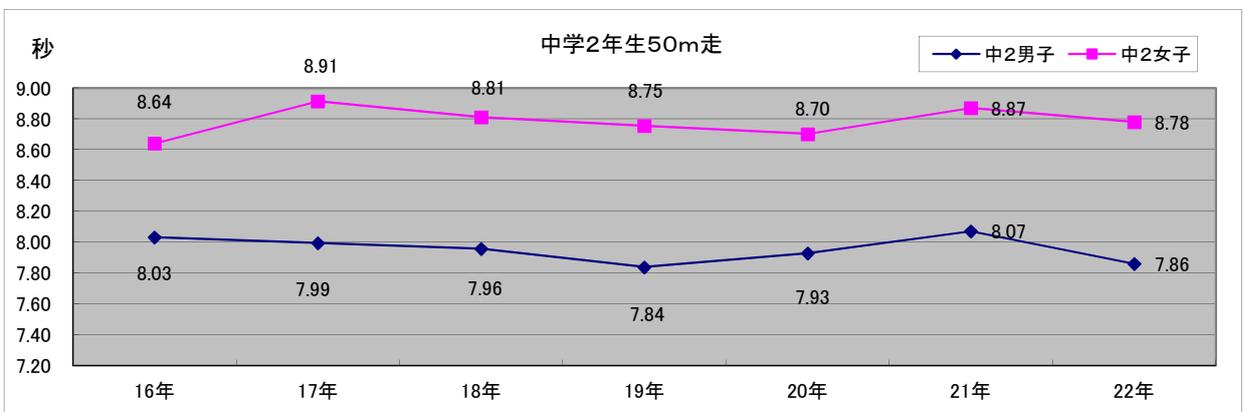
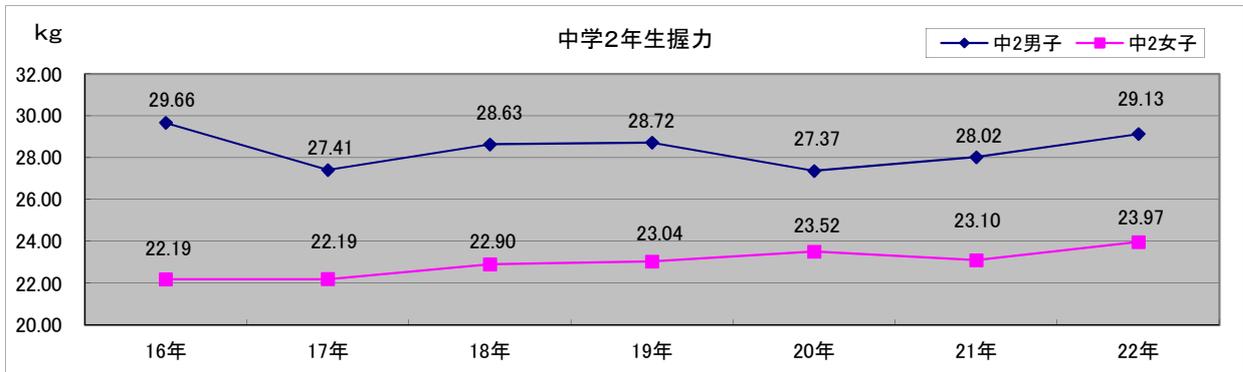
(3)データの出典

スポーツ課資料

第2章 歴史と文化を大切に、豊かな心を育むまちをつくる

(5) スポーツの振興 つづき

② スポーツ・体カテストの推移 (※参考数値)



平成22年の全国・島根県平均					
中学校 2年男子	握力(kg) 平均値	50m走(秒) 平均値	中学校 2年女子	握力(kg) 平均値	50m走(秒) 平均値
全国	29.70	8.04	全国	23.88	8.90
島根県	29.72	7.94	島根県	23.95	8.78

(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

【握力】

中学2年生の男子の握力は、近年持ち直しているものの、平成16年度と比べるとやや低下傾向にあり、平成22年の全国平均・島根県平均に比しても劣っています。

一方女子の握力は年々上昇しており、平均値を超えました。

【走力】

中学2年生の50メートル走は男女ともに、ほぼ横這いで推移しています。

また、男女とも、全国・島根県平均より足が速いことが分かります。

この結果、松江市の中学2年生は、男子の握力は平均値に劣るが、女子は年々向上し、平均値を超えました。一方、走力は男女とも平均値を上回っています。

(2) 用語の説明

(3) データの出典

松江市運動能力テスト報告書より

第3章 安心して安全に生活できるまちをつくる

1. ベンチマーク(代表的な指標による類似団体比較)

①建物火災出火件数

松江市は、建物火災の比較的少ない安全な町に分類されます。

②交通事故発生件数

交通事故発生は類似都市の中でも3位に入るほど少なくなっています。

③刑法犯認知件数

意外ですが、刑法犯認知件数は多く、類似都市でも中位です。

…3項目を通じて、類似都市の中では出雲市・周南市の安全性が高くなっています。

建物火災出火件数 2008年	
(単位:件)	
都 市 名	人口10万人 あたり
1	周南市 13.3
2	小山市 16.1
3	山口市 16.7
4	甲府市 17.6
5	山形市 18.4
6	出雲市 18.5
7	東広島市 18.7
8	鈴鹿市 19.3
9	呉市 19.5
10	帯広市 19.5
11	松本市 19.8
12	米子市 20.1
13	松江市 20.4
14	佐世保市 21.2
15	徳島市 21.4
16	福島市 21.4
17	八戸市 21.5
18	尾道市 22.3
19	津市 22.5
20	石巻市 23.8
21	長岡市 23.8
22	福井市 23.8
23	熊谷市 24.4
24	市原市 25.4
25	釧路市 25.7
26	佐賀市 25.8
27	上田市 25.9
28	上越市 26.7
29	鳥取市 27.4
30	水戸市 27.7
31	弘前市 29.6
32	野田市 30.0
33	今治市 32.7
34	松阪市 34.8
35	都城市 41.3

交通事故発生件数 2009年	
(単位:件)	
都 市 名	人口10万人 あたり
1	釧路市 230.1
2	出雲市 291.4
3	松江市 356.5
4	石巻市 367.8
5	鳥取市 375.8
6	帯広市 397.6
7	長岡市 409.2
8	米子市 429.6
9	上越市 448.1
10	尾道市 460.8
11	野田市 480.9
12	市原市 484.5
13	周南市 511.4
14	八戸市 523.4
15	呉市 533.7
16	弘前市 537.2
17	山口市 546.4
18	小山市 583.6
19	佐世保市 594.7
20	上田市 597.3
21	東広島市 609.1
22	福井市 624.6
23	熊谷市 633.1
24	今治市 635.5
25	福島市 636.0
26	鈴鹿市 641.7
27	松阪市 666.6
28	津市 670.5
29	松本市 737.3
30	山形市 834.9
31	水戸市 863.5
32	徳島市 903.6
33	甲府市 1,093.9
34	都城市 1,116.4
35	佐賀市 1,292.6

刑法犯認知件数 2009年	
(単位:%)	
都 市 名	人口10万人 あたり
1	尾道市 727.6
2	出雲市 744.9
3	佐世保市 753.3
4	釧路市 770.2
5	八戸市 773.2
6	上越市 816.9
7	周南市 830.2
8	長岡市 839.4
9	呉市 859.7
10	東広島市 897.9
11	弘前市 898.0
12	帯広市 933.4
13	山口市 987.5
14	都城市 987.7
15	山形市 1,016.9
16	鳥取市 1,019.3
17	福井市 1,043.0
18	福島市 1,069.3
19	松江市 1,079.9
20	上田市 1,086.6
21	今治市 1,162.7
22	石巻市 1,177.7
23	徳島市 1,234.9
24	米子市 1,263.1
25	甲府市 1,267.1
26	松阪市 1,313.2
27	津市 1,359.0
28	佐賀市 1,369.2
29	熊谷市 1,448.2
30	野田市 1,460.8
31	松本市 1,489.5
32	小山市 1,629.4
33	水戸市 1,672.8
34	市原市 1,891.0
35	鈴鹿市 2,020.8

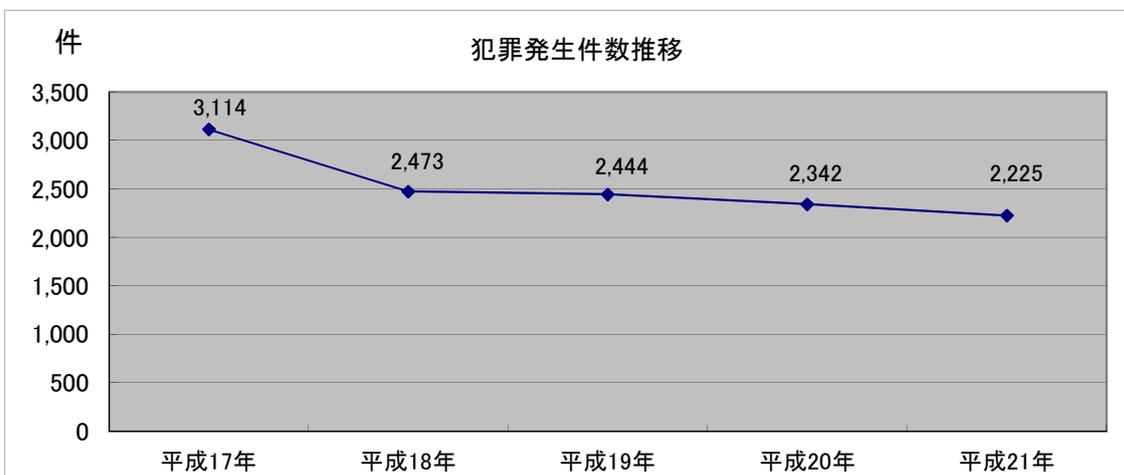
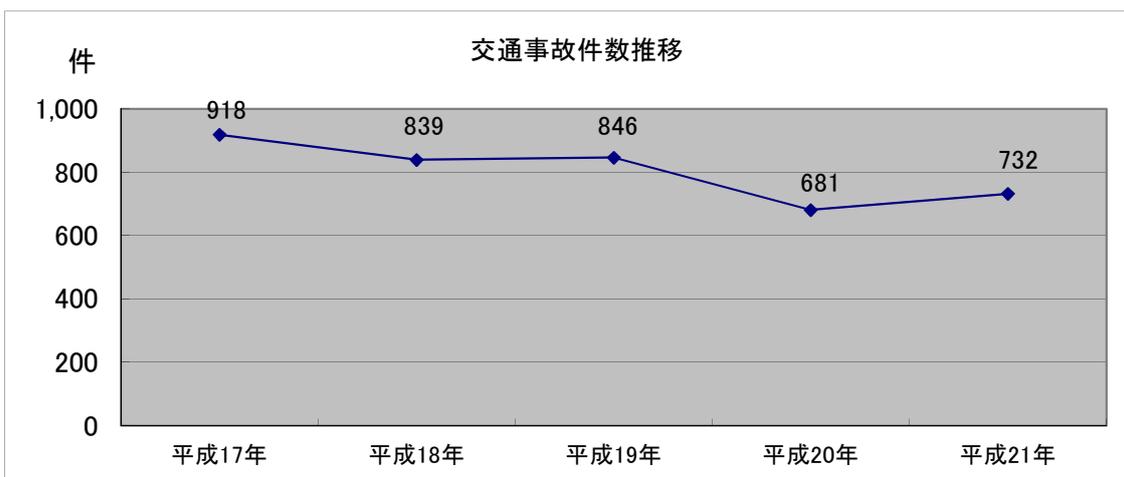
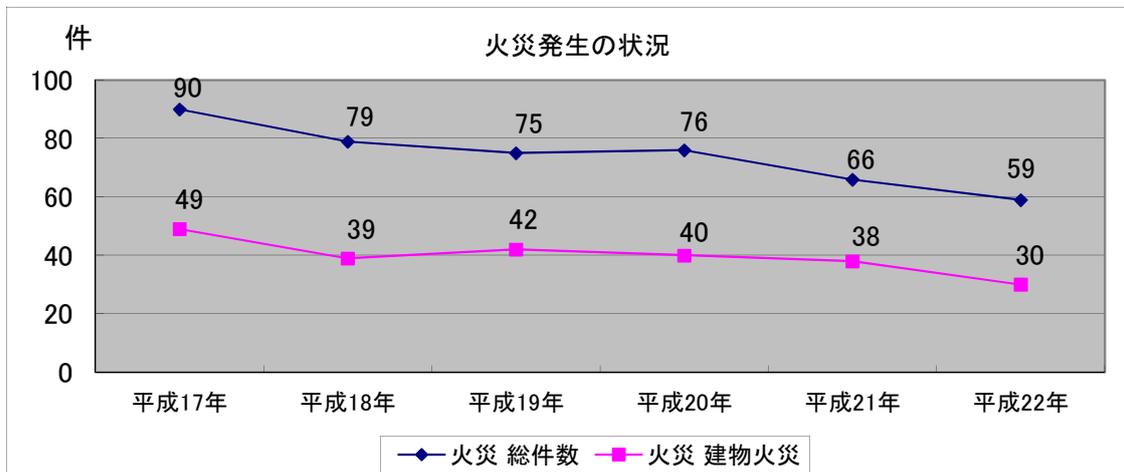
資料:総務省統計局・統計でみる市区町村のすがた2011(人口当たり件数の算出に当たっては各年度の推計人口を利用)

第3章 安心して安全に生活できるまちをつくる

建物火災出火件数、交通事故発生件数、刑法犯認知件数 の推移

松江市の推移をみますと、交通事故件数が平成21年に若干増えたものの、3項目を通じて減少傾向にあります。

資料:松江警察署(松江署管内)……松江市内のみではない



第3章 安心して安全に生活できるまちをつくる

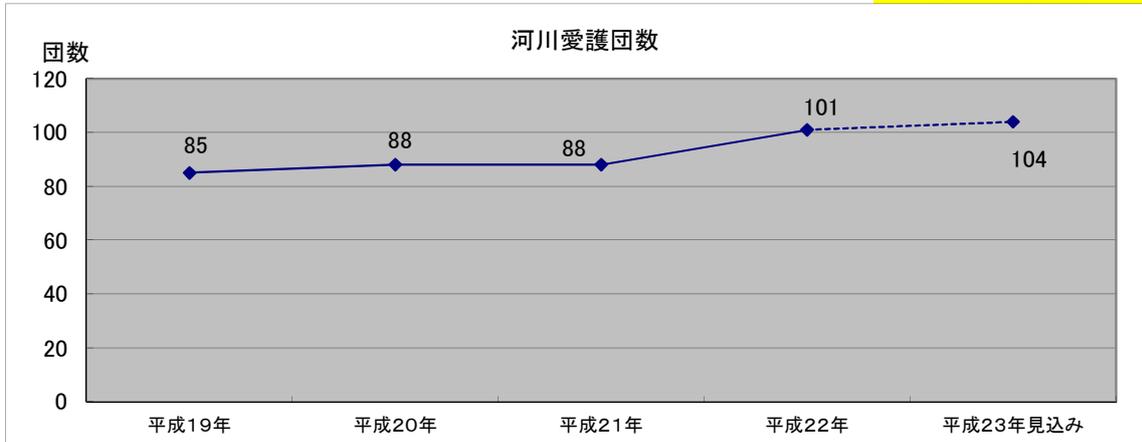
2. 総合計画の目標指標

(1節 災害につよく安心できる)

(1)河川・水辺の整備・保全

①河川愛護団数（総合計画指標：H22設定）

建設部：河川課



(1)平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

官民協働の取り組みの気運が年々高まっており、河川環境の保全に繋がっています。今後も継続して取り組んでいきます。

活動は人員の多い団体では100名を越す参加者により、年2～5回の河川堤防の除草、ゴミ収集などの美化活動、また害虫の駆除なども行っています。

(2)用語の説明

(3)データの出典

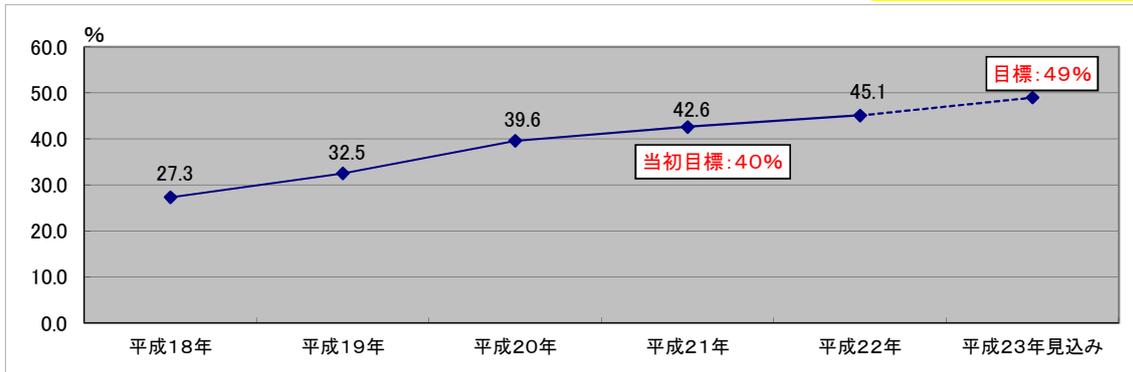
毎年の愛護団登録実績より

第3章 安心して安全に生活できるまちをつくる

(2) 危機管理体制の充実

① 自主防災組織結成率（総合計画指標）

防災安全部



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

継続的な結成促進に関する研修会・講習会の実施により、結成率は増加傾向にあります。また、近年の災害発生時の自主防災組織の活躍により重要性が再認識され、自主防災組織に対する住民の期待が高まっています。今後、「地域の安全は地域で守ろう」という考えを更に浸透させ、安心安全なまちづくりを構築するため、積極的な活動支援を実施し、結成率を増加させていく必要があります。

(2) 用語の説明

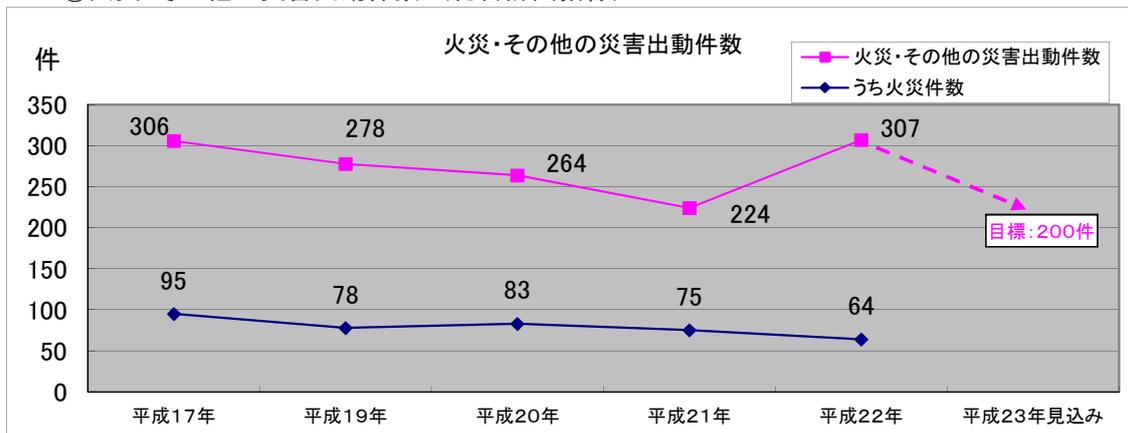
(3) データの出典

松江市防災安全課

(3) 消防・救急体制の充実

消防本部

① 火災・その他の災害出動件数（総合計画指標）



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

火災による出動件数は減少傾向にありますが、その他の災害も含めた合計の出動件数は平成22年度は増加しました。今後も、火災予防の普及啓発活動の推進を図っていきます。

(2) 用語の説明

(3) データの出典

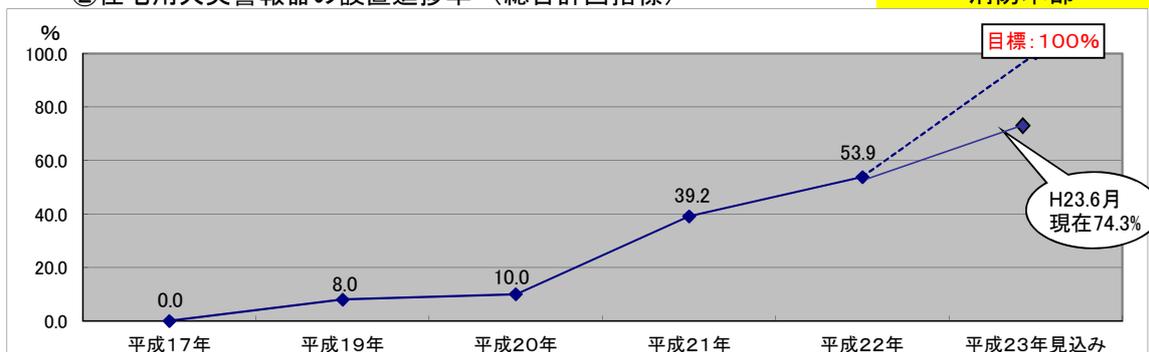
警防課調査資料

第3章 安心して安全に生活できるまちをつくる

(3) 消防・救急体制の充実 つづき

② 住宅用火災警報器の設置進捗率（総合計画指標）

消防本部



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

毎年、全国において、住宅火災による犠牲者が1000人を超えていることから、消防法の一部が改正され、平成23年6月1日から全ての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられました。

平成23年6月現在の松江市における推計普及率は、74.3%と初めて全国平均値(71.1%)を超えており、着実に普及率は増加しています。

しかしながら、目標値は100%であり、今後も、住宅用火災警報器の設置効果を訴え、積極的な広報を継続するとともに、町内会・自治連合会及び公民館と連携し、粘り強く未設置世帯への働きかけを行います。

(2) 用語の説明

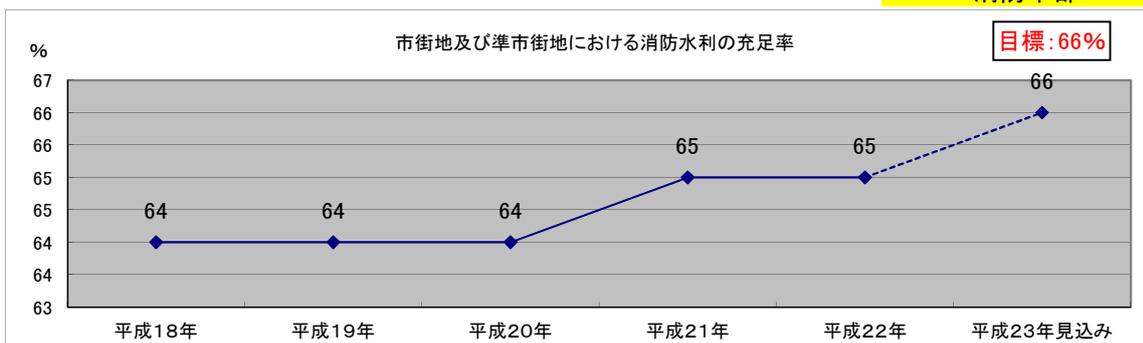
※住宅用火災警報器とは、火災により発生する煙を感知し、音や音声により警報を発して知らせてくれる機器です。設置の必要な場所は、寝室で、2階に寝室がある場合は階段の上にも設置が必要です。住宅用火災警報器が設置されれば、火災発生時の死亡リスクや損害の拡大が概ね半減するという効果が現れています。

(3) データの出典

総務省消防庁調査資料、松江市消防本部予防課調査資料

③ 市街地及び準市街地における消防水利の充足率（総合計画指標）

消防本部



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

松江市では、安定的に消防水利を確保するため、水利が不足する地域への耐震性貯水槽(防火水槽)や消火栓の整備を進めています。

いずれも年次計画による整備であることから、設置数に限りがあり、充足率を単年度で上昇させることは困難ですが、継続して計画的な整備を進めていきます。

(2) 用語の説明

※消防水利: 消防機関が消火活動を行う際に使用する水資源。(消火栓、防火水槽、井戸等)

※消防水利充足率: 消防水利の基準数(消防庁告示、消防用ホースの延長距離によって消防隊の有効活動範囲を作成することにより設定)に対する整備された水利施設数の割合。

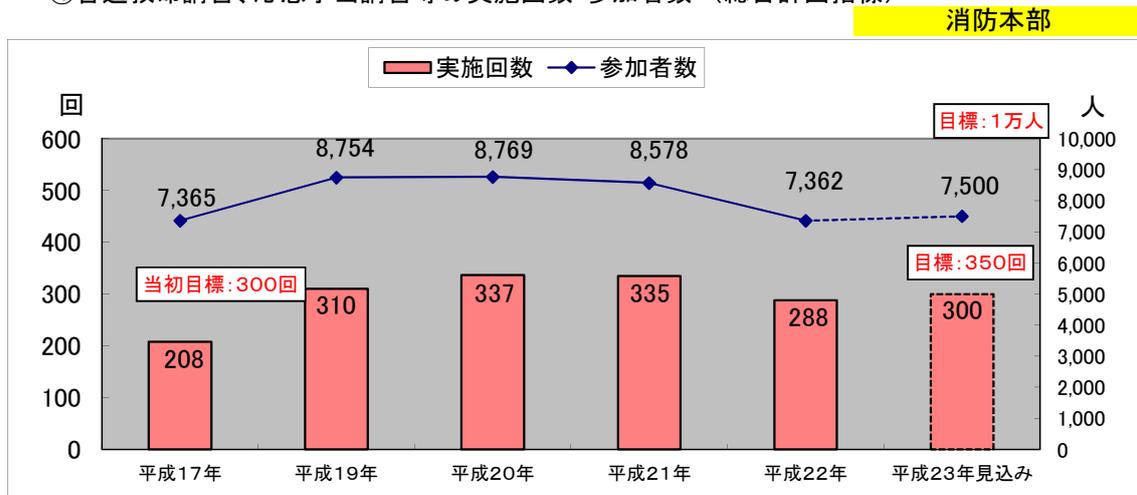
(3) データの出典

警防課調査資料

第3章 安心して安全に生活できるまちをつくる

(3) 消防・救急体制の充実 つづき

④ 普通救命講習、応急手当講習等の実施回数・参加者数（総合計画指標）



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

平成17年以降増加を見込み、講習参加者の目標値を1万人として実施しています。講習内容は5年ごと(今回は平成19年)に新しい内容に改正されることから、改正後数年は講習実施回数・参加者数ともに増加する傾向にあります。いずれも近年は減少傾向にありますが、講習内容が改正される平成24年には増加が見込まれます。

また、平成19年から約300人の応急手当普及員を育成しており、この普及員により消防本部の指導による受講者以外に約1,000人が受講しています。

今後は、応急手当普及員の育成と、救急車が来るまでの応急手当の必要性を広報し、応急手当の普及啓発に努めます。

(2) 用語の説明

- ※普通救命講習 3時間 普通救命講習(修了証の発行)
- ※応急手当講習 1時間から2時間の応急手当講習 (修了証の発行なし)
- ※応急手当普及員 (24時間受講: 普通救命講習の指導ができる)

(3) データの出典

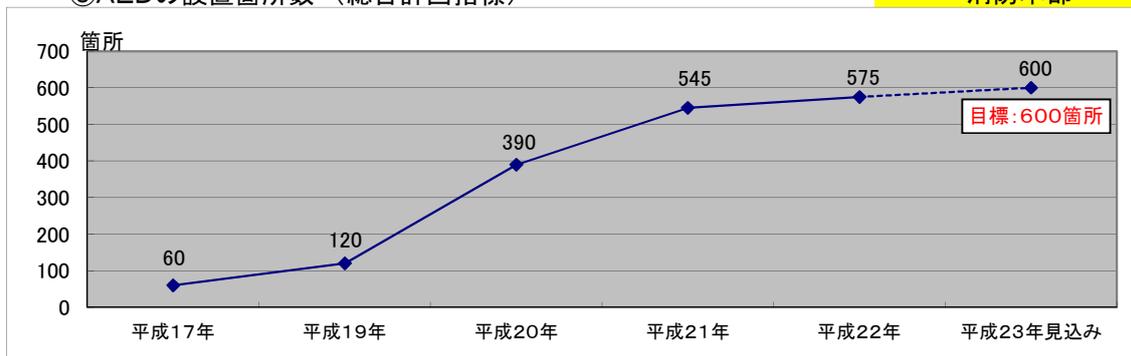
警防課・署所実施資料

第3章 安心して安全に生活できるまちをつくる

(3) 消防・救急体制の充実 つづき

⑤AEDの設置箇所数（総合計画指標）

消防本部



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

平成16年から一般市民の使用が認められ、その必要性から設置が進み、目標値を達成する見込みです。

平成21年からの横ばい状態については、公共機関等の設置がほぼ充足されたためであると推測されます。

今後は、未設置の事業所等の救急講習時等にAEDの設置協力を依頼するなど、さらなる設置促進を図ります。

(2) 用語の説明

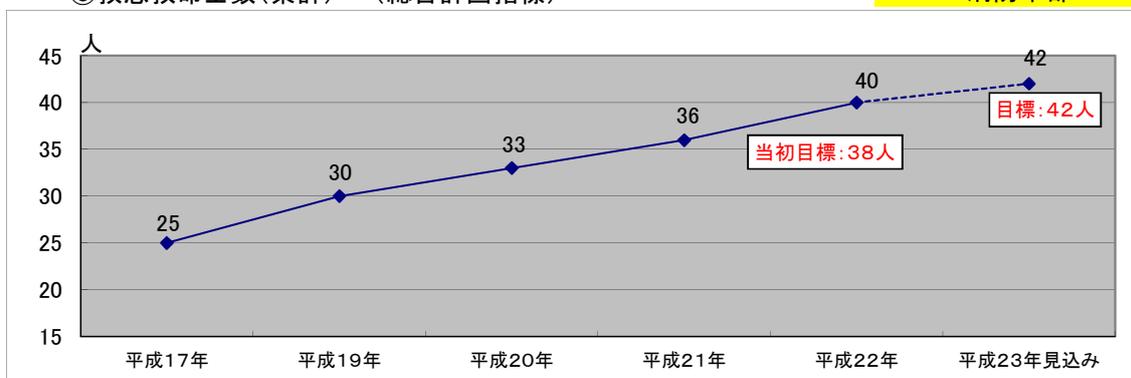
※AED: 自動対外式除細動器

(3) データの出典

警防課調査資料

⑥救急救命士数（累計）（総合計画指標）

消防本部



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

救急救命士の養成については、「消防力整備計画」及び「署所再編実施後期計画」に基づき養成を図っているところであり、平成23年8月現在で40名の職員が資格を有し、そのうちの35名が救急業務に従事しています。

今後においては、有資格者の他部署配置等の人事管理を踏まえた上で、目標値の42名に向けての継続した養成を図り、高度救急医療サービスの向上に努めます。

(2) 用語の説明

※ 救急救命士とは、厚生労働大臣の免許を受けて、救急救命士の名称を用いて、医師の指示の下に、救急救命処置を行うことを業とする者をいいます。（救急救命士法第2条）

※ 救急救命処置とは、その症状が著しく悪化するおそれがあり、又はその生命が危険な状態にある傷病者が病院又は診療所に搬送されるまでの間に、当該重度傷病者に対して行われる気道の確保、心拍の回復その他の処置であって、当該重度傷病者の症状の著しい悪化を防止し、又はその生命の危険を回避するために緊急に必要なものをいいます。

(3) データの出典

中国（全国消防長会中国支部）、消防現勢（全国消防長会）など

第3章 安心して安全に生活できるまちをつくる

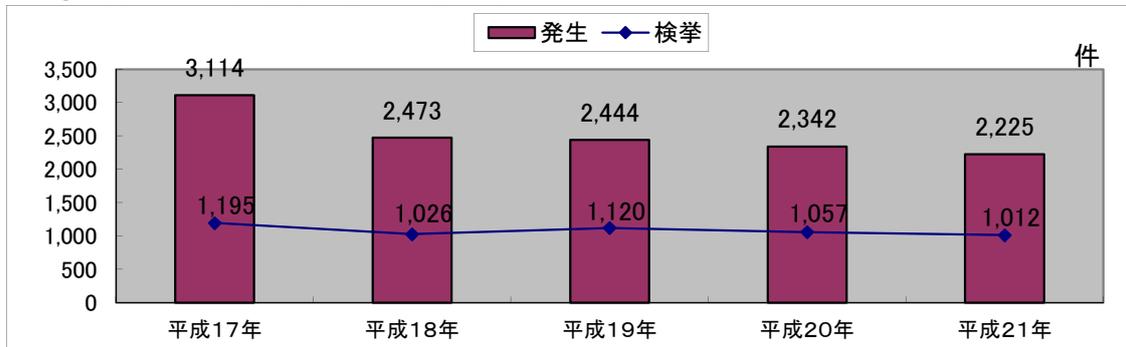
(2節 安心して安全に生活できる)

(1)防犯対策の充実

防災安全部

①犯罪の発生と検挙数の推移(※参考数値)

資料: 松江警察署(松江署管内)



(1)平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

平成17年度と比べると、犯罪件数は減少傾向にあります。
 また、検挙数は毎年1,000件程度で推移していますが、犯罪件数自体が減少しているため、逆に検挙率が高まっている状況です。
 (※検挙率 平成17年 38.4% ⇒ 平成21年 45.5%)

(2)用語の説明

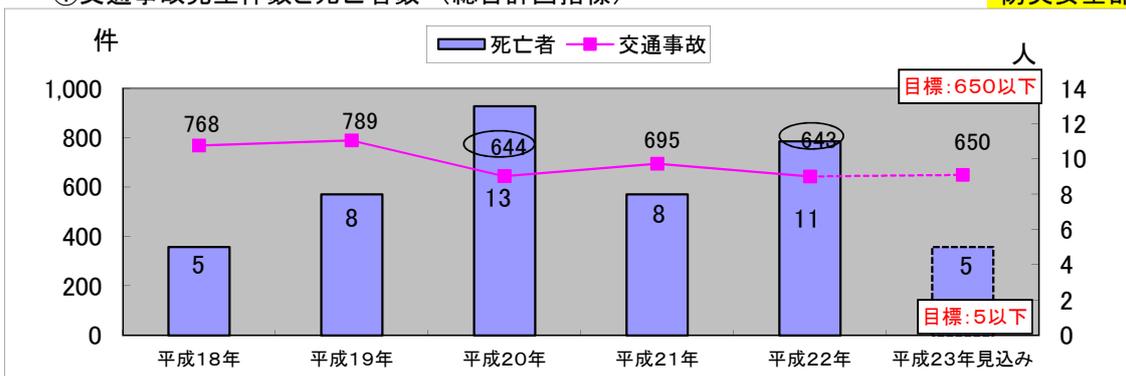
(3)データの出典

資料: 松江警察署(松江署管内)

(2)交通安全対策の充実

①交通事故発生件数と死亡者数 (総合計画指標)

防災安全部



(1)平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

交通事故発生防止に向けた警察等関係機関との連携、取り組み強化により、交通事故発生件数は減少傾向にあります。
 しかし、高齢化社会に伴い、夜間高齢者が被害者になる交通死亡事故の割合が高くなっています。
 各地区で開催される交通安全教室は、地域住民の交通安全意識の高揚に効果的であることから、今後とも機会を捉え高齢者のみならず家族ぐるみで交通安全教育を実施していく必要があります。

(2)用語の説明

(3)データの出典

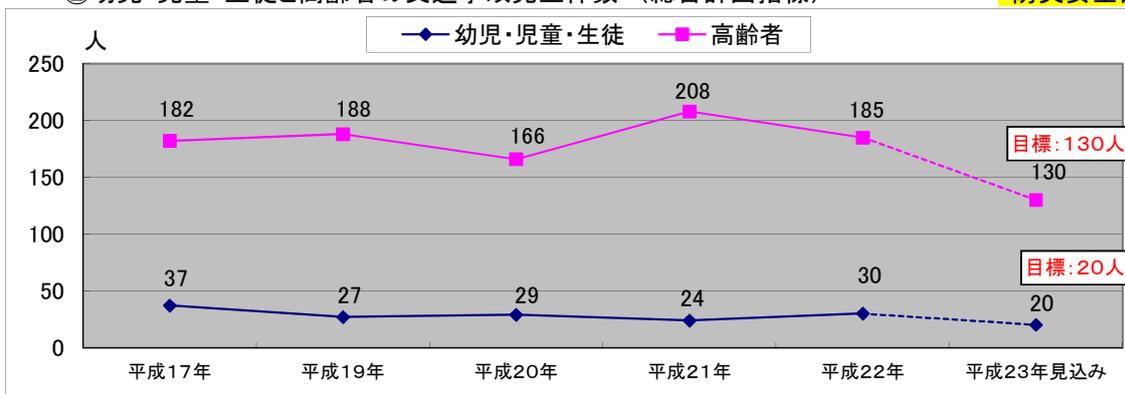
島根県警察本部交通部交通企画課

第3章 安心して安全に生活できるまちをつくる

(2)交通安全対策の充実 つづき

②幼児・児童・生徒と高齢者の交通事故発生件数（総合計画指標）

防災安全部



(1)平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

通園、通学時の交通指導員の街頭活動により、幼児・児童等の交通事故防止の効果があがっています。

近年の交通事故の特徴として、夜間、国道で高齢者が関わる事故が多いことから、松江地区交通安全協会と連携を図り、各地区交通安全対策協議会賛同のもと、地域において高齢者宅訪を行っています。

また、高齢ドライバーによる交通事故を減少させるため、運転免許証を自主返納した65歳以上の高齢者に対し、支援品支給事業も行っています。

今後も関係機関・団体と連携を図り、交通事故発生件数減を目指していきます。

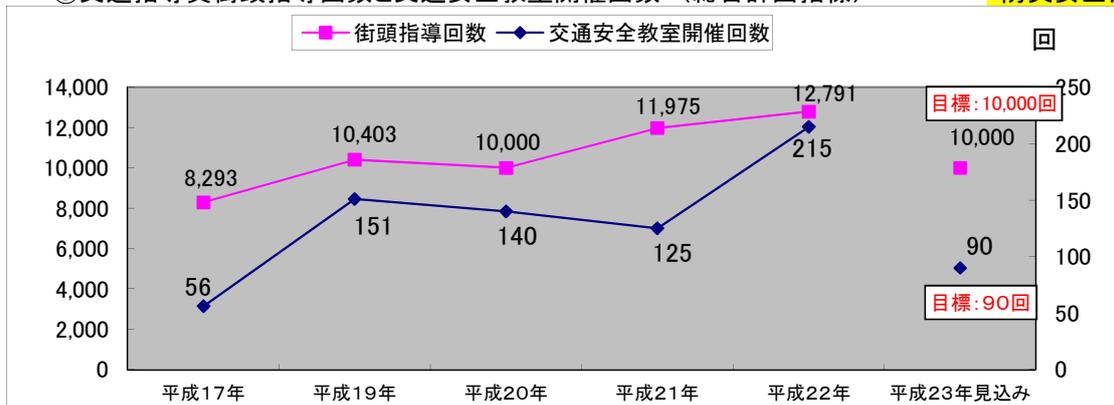
(2)用語の説明

(3)データの出典

島根県警察本部交通部交通企画課

③交通指導員街頭指導回数と交通安全教室開催回数（総合計画指標）

防災安全部



(1)平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

交通指導員への研修会・講習会を実施し、指導員の資質の向上を図ることにより、指導員の意識改革も図られ、街頭指導の増加につながっています。

また、関係機関・団体等と連携して各種交通安全イベントを継続して実施することにより、交通安全意識の啓発を図っているところです。

地域住民の交通安全ニーズに応じた参加型の交通安全教室を各地区で開催していますが、地域に根ざした活動が有効であることから、今後も学校、地域等からの要請による共催事業を行っていきます。

(2)用語の説明

(3)データの出典

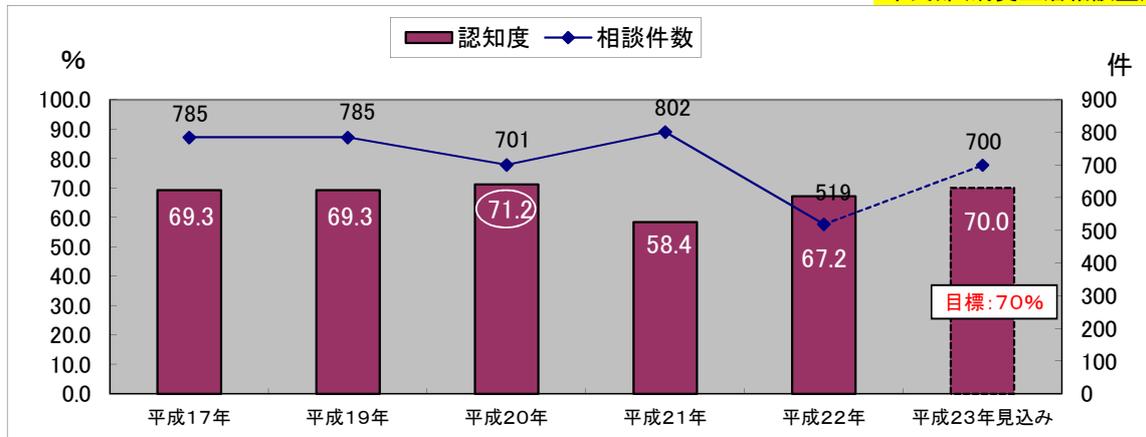
松江市交通指導員勤務報告書及び各地区交通安全対策協議会事業実施報告書

第3章 安心して安全に生活できるまちをつくる

(3)消費生活の向上

①消費・生活相談室の認知度と相談件数（総合計画指標：H22設定）

市民部(消費生活相談室)



(1)平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

全国的に消費生活に関する相談は減少傾向にあります。また、様々な機関が相談窓口を設置しており、その影響もあります。

今後も身近に相談場所があることの周知を図り、認知度を上げるとともに、複雑化する消費・生活相談に対応して行きます。

(2)用語の説明

※認知度：市民の皆さんが、消費・生活相談室で一般相談や専門相談を行っていることをどれだけ知っておられるかを、消費・生活相談室で企画する講演会等で行うアンケートを通じて、認知度を確認しています。

(3)データの出典

認知度：講演会等で行うアンケート調査

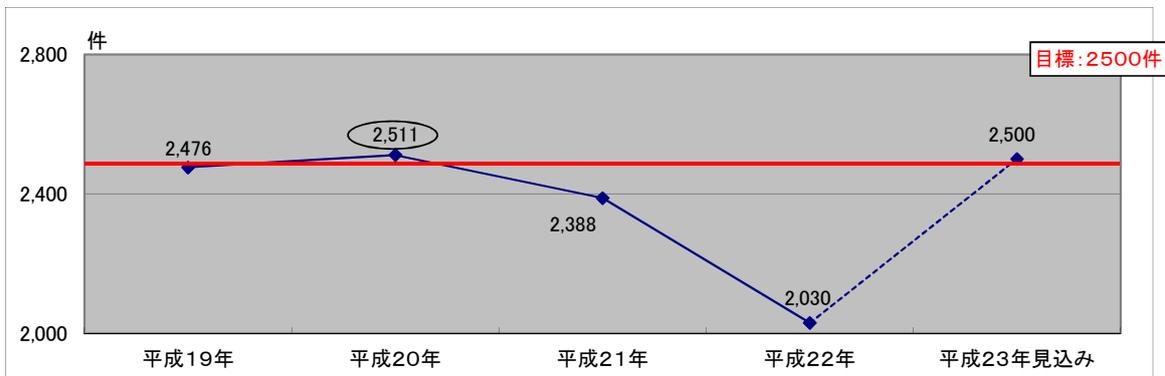
相談件数：「暮らしの相談」集計表

第3章 安心して安全に生活できるまちをつくる

(4) 市民相談体制の充実

① 暮らしの相談及び専門相談の件数（総合計画指標）

市民部



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

一般相談については、消費生活相談室で受けていた案件が、「伺います係」設置に伴い、相談先が移行したことにより相談件数が減となっているものと分析しています。（蜂の巣の駆除、民地の草刈りなど）

専門相談については、ほぼ横ばいの状況ですが、法律相談及び登記相談に相談が集中しています。

一般相談については、お気軽に相談に来ていただけるよう周知に努めます。また、専門相談については、ニーズにあった専門相談を行います。

(2) 用語の説明

※【一般相談】 相談員資格を持った嘱託職員が、最大3名体制で9:00～17:00の間、ご相談を受け、問題解決にあたっています。

※【専門相談】 法律相談、行政相談、登記相談、人権相談、行政手続き相談、労働・社会保険相談を弁護士等の資格を有する専門家が、ご相談の対応をしています。

(3) データの出典

「暮らしの相談」集計表

第4章 癒しと温もりに満ち、いきいき暮らせるまちをつくる

1. ベンチマーク(代表的な指標による類似団体比較)

① 保育所の状況

松江市は、類似都市の中では人口の割りに、保育所も多く、在所児童数も多くなっています。一方で、待機児童数は、なかなか目標の「0人」に届きません。それは、共稼ぎと核家族化の進行によるところが大きいようです。

同じ島根県の出雲市にも同様なことが言えそうです。市域の広さも関連するかもしれません。

保育所数 2008年		保育所在所児数 2008年		待機児童数 2008年	
都 市 名	所 保育所数	都 市 名	人 児童数	都 市 名	人 待機児童数
1	福井市	1	福井市	1	山形市
2	長岡市	2	長岡市	2	水戸市
3	八戸市	3	松本市	3	津市
4	都城市	4	八戸市	4	福島市
5	徳島市	5	津市	5	市原市
6	弘前市	6	佐世保市	6	松江市
7	佐世保市	7	上越市	7	鈴鹿市
8	上越市	8	都城市	8	松阪市
9	呉市	9	松江市	9	石巻市
10	津市	10	鳥取市	10	八戸市
11	松本市	11	徳島市	11	徳島市
12	松江市	12	弘前市	12	出雲市
13	鳥取市	13	鈴鹿市	13	野田市
14	東広島市	14	佐賀市	14	熊谷市
15	出雲市	15	甲府市	15	山口市
16	上田市	16	出雲市	16	釧路市
17	福島市	17	呉市	17	帯広市
18	今治市	18	上田市	18	弘前市
19	鈴鹿市	19	米子市	19	小山市
20	米子市	20	福島市	20	長岡市
21	佐賀市	21	東広島市	21	上越市
22	甲府市	22	松阪市	22	福井市
23	水戸市	23	水戸市	23	甲府市
24	熊谷市	24	山形市	24	松本市
25	松本市	25	熊谷市	25	上田市
26	石巻市	26	今治市	26	鳥取市
27	小山市	27	山口市	27	米子市
28	山形市	28	帯広市	28	呉市
29	尾道市	29	小山市	29	尾道市
30	山口市	30	周南市	30	東広島市
31	周南市	31	市原市	31	周南市
32	釧路市	32	石巻市	32	今治市
33	帯広市	33	釧路市	33	佐賀市
34	市原市	34	野田市	34	佐世保市
35	野田市	35	尾道市	35	都城市

統計でみる市町村のすがた

(参考: 他自治体の状況)

(単位: 人)

	松江	東出雲	出雲市	斐川町
H17	64	0	50	0
H18	43	0	58	0
H19	21	0	11	0
H20	48	0	19	0
H21	62	0	16	14
H22	24	1	4	7

第4章 癒しと温もりに満ち、いきいき暮らせるまちをつくる

②基本健康診査受診率

基本審査受診率は、35都市中17番目とまずまずの受診率です。出雲市の健闘が光ります。

③医師数

医師数も人口規模からするとまずまずです。上位の各都市が、大学の医学部を持っている都市に集中していることを考えると、松江市の医師数はよく健闘しています。

医師数の推移をみると、平成18年と比べて減少しているのが気になります。

基本健康診査受診率	
2009年	
(単位:%)	
都市名	基本健康診査受診率
1 山形市	77.4
2 出雲市	57.8
3 徳島市	56.1
4 津市	52.8
5 上田市	51.7
6 松本市	50.9
7 都城市	50.6
8 小山市	50.0
9 福島市	49.9
10 石巻市	47.2
11 米子市	43.3
12 弘前市	42.9
13 山口市	42.6
14 水戸市	42.0
15 釧路市	41.0
16 上越市	40.0
17 松江市	40.0
18 周南市	39.9
19 佐賀市	38.9
20 野田市	38.1
21 東広島市	36.9
22 長岡市	36.7
23 福井市	36.5
24 市原市	34.5
25 帯広市	34.4
26 鳥取市	32.7
27 松阪市	32.5
28 鈴鹿市	32.2
29 八戸市	27.6
30 熊谷市	27.1
31 今治市	24.0
32 呉市	22.2
33 甲府市	17.1
34 佐世保市	13.4
35 尾道市	13.1

平成21年地域保健医療基礎統計

医師数	
2008年12月31日現在	
(単位:人)	
都市名	医師数
1 徳島市	1,247
2 山形市	1,094
3 松本市	1,092
4 福島市	1,034
5 佐賀市	998
6 津市	953
7 水戸市	943
8 福井市	824
9 米子市	813
10 呉市	758
11 弘前市	752
12 出雲市	715
13 佐世保市	637
14 甲府市	603
15 長岡市	547
16 松江市	531
17 市原市	504
18 石巻市	497
19 鳥取市	492
20 帯広市	432
21 山口市	412
22 松阪市	380
23 釧路市	365
24 上越市	362
25 尾道市	355
26 東広島市	345
27 都城市	338
28 鈴鹿市	328
29 周南市	319
30 今治市	316
31 熊谷市	315
32 八戸市	273
33 上田市	252
34 小山市	200
35 野田市	172

厚生労働省：平成20年医師・歯科医師・薬剤師調査

松江市の医師数推移

医師数	総数
平成14年	461
平成16年	503
平成18年	542
平成20年	531

大学の付属病院を有する都市	
1 徳島市	徳島大学
2 山形市	山形大学
3 松本市	信州大学
4 福島市	福島県立医科大学
5 佐賀市	佐賀大学
6 津市	三重大学
7 水戸市	筑波大学
9 米子市	鳥取大学
11 弘前市	弘前大学
12 出雲市	島根大学

福井大学は永平寺町にあります。

第4章 癒しと温もりに満ち、いきいき暮らせるまちをつくる

④病院・病床数

松江市は、病院は多いとはいえませんが、一般診療所(除く歯科診療所)がそれをカバーしています。病床数も、ほぼ人口順位なみの中位です。ただし、病院数、診療所数、病床数の推移をみると、全ての施設において減少しています。

病院数 2009年 (単位:施設)		一般診療所数 2009年 (単位:施設)		病院病床数 2009年 (単位:施設)	
都市名	病院	都市名	診療所	都市名	病床
1 徳島市	50	1 徳島市	311	1 水戸市	6,632
2 水戸市	42	2 津市	287	2 徳島市	6,512
3 福井市	31	3 福島市	274	3 福井市	5,551
4 今治市	30	4 呉市	256	4 山形市	5,142
5 佐賀市	29	5 福井市	253	5 津市	4,745
6 呉市	27	6 水戸市	251	6 都城市	4,616
7 佐世保市	27	7 山形市	245	7 福島市	4,436
8 津市	26	8 佐賀市	237	8 佐賀市	4,421
9 都城市	24	9 佐世保市	233	9 呉市	4,395
10 福島市	21	10 松本市	227	10 長岡市	4,214
11 八戸市	21	11 甲府市	227	11 八戸市	3,826
12 弘前市	18	12 松江市	211	12 甲府市	3,686
13 帯広市	18	13 弘前市	188	13 帯広市	3,623
14 山形市	17	14 鳥取市	177	14 松本市	3,514
15 山口市	17	15 長岡市	177	15 鳥取市	3,418
16 釧路市	17	16 八戸市	171	16 弘前市	3,406
17 松本市	16	17 米子市	170	17 佐世保市	3,399
18 東広島市	16	18 山口市	162	18 釧路市	3,353
19 甲府市	14	19 市原市	159	19 松江市	3,090
20 米子市	14	20 熊谷市	158	20 山口市	2,982
21 周南市	14	21 出雲市	156	21 東広島市	2,884
22 上田市	14	22 松阪市	150	22 米子市	2,847
23 松江市	12	23 鈴鹿市	149	23 上越市	2,701
24 鳥取市	12	24 周南市	137	24 松阪市	2,588
25 市原市	12	25 尾道市	137	25 周南市	2,565
26 熊谷市	12	26 東広島市	133	26 今治市	2,529
27 長岡市	11	27 上越市	130	27 上田市	2,494
28 尾道市	11	28 都城市	127	28 出雲市	2,487
29 上越市	11	29 小山市	118	29 熊谷市	2,350
30 松阪市	10	30 今治市	114	30 市原市	2,186
31 石巻市	10	31 釧路市	110	31 鈴鹿市	2,038
32 出雲市	9	32 上田市	108	32 尾道市	1,981
33 鈴鹿市	8	33 石巻市	105	33 石巻市	1,650
34 小山市	8	34 帯広市	84	34 野田市	1,531
35 野田市	8	35 野田市	76	35 小山市	1,071

厚生労働省 ; 平成21年医療施設調査

松江市の病院、診療所、病床数推移

	病院 + 一般診療所数			歯科診療所数	病床数	
	病院数	一般診療所数	病院病床数		一般診療所病床数	
17年	229	14	215	84	3,986	291
18年	227	14	213	84	3,948	253
19年	228	14	214	83	3,936	241
20年	223	13	210	83	3,787	214
21年	223	12	211	82	3,300	210

2009年10月1日現在

厚生労働省 ; 平成21年医療施設調査

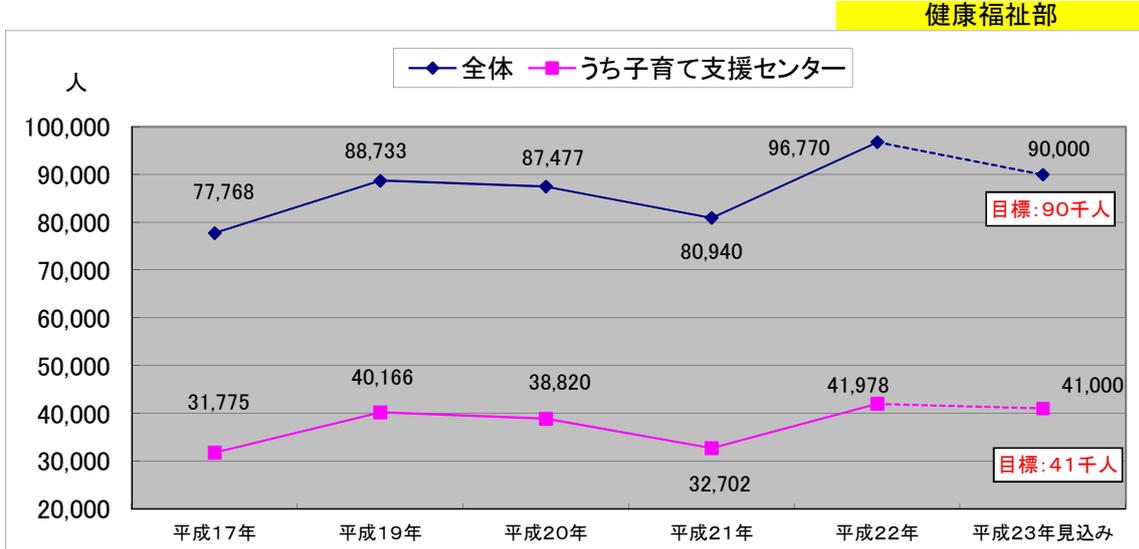
第4章 癒しと温もりに満ち、いきいき暮らせるまちをつくる

2. 総合計画の目標指標

(1節 安心して子育てできる)

(1) 子育て支援・児童福祉

① 子育て支援センター及び各サテライトの利用状況 (総合計画指標)



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

子育て支援センター利用者は、H21年度はインフルエンザの流行により減少しましたが、現在は順調に増加しています。
今後はさらに子育て家庭支援のため相談体制の充実を図り、安心して子育てできる環境を整えていく必要があります。

(2) 用語の説明

※サテライト・・・各地域にある子育て支援センター

(3) データの出典

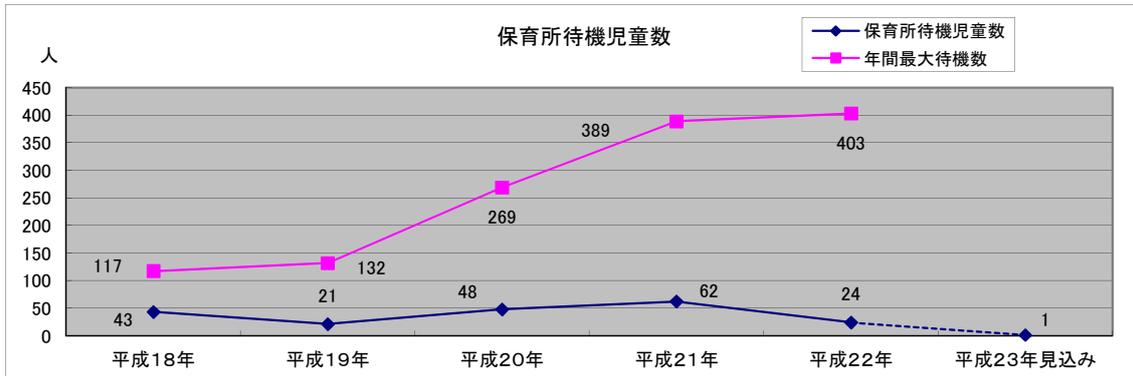
松江市子育て支援センター活動報告書

第4章 癒しと温もりに満ち、いきいき暮らせるまちをつくる

(1)子育て支援・児童福祉 つづき

②保育所待機児童数（総合計画指標）

健康福祉部



(1)平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

待機児童数については、平成19年4月には前年から一時的に減少したものの、平成20年、21年度は連続して増加となりました。これは昨今の社会情勢から、共働き世帯の増加、核家族化の進行等が要因であると分析しています。

また例年、年度が深まるにつれて、待機児童はうなぎのぼりに増加する傾向が近年さらに顕著になり、平成22年度には4月の待機児童数が24人に対して、年度末の翌3月には403人となり、ここ近年でも最大数の待機児童を記録しました。

これら待機児童を解消するために、平成21年度より「安心子ども基金」を活用し、民間活力を利用しながら、平成23年度当初計画では785人の定員増に取り組んできました。

その結果として、平成22年4月には24人、平成23年4月には1人と年度当初の待機児童は2年連続で減少傾向にあります。

しかし、現在松江市では、約2500人の在宅児童が潜在的にいることから、今後の社会情勢や経済状況を注視するとともに、出生児の保護者へアンケートを実施するなどし、保育の需要を見極めていきます。

今後はこの調査結果も踏まえながら、ハード面の充実だけでなく、制度や運営の見直しなど、ソフト面についても時代背景に即した取り組みが必要となります。

(2)用語の説明

※「安心子ども基金」・・・国からの交付金を財源として都道府県に設置された基金。保育所整備等の子どもを安心して育てることができるような体制整備を図るために活用できるものです。

(3)データの出典

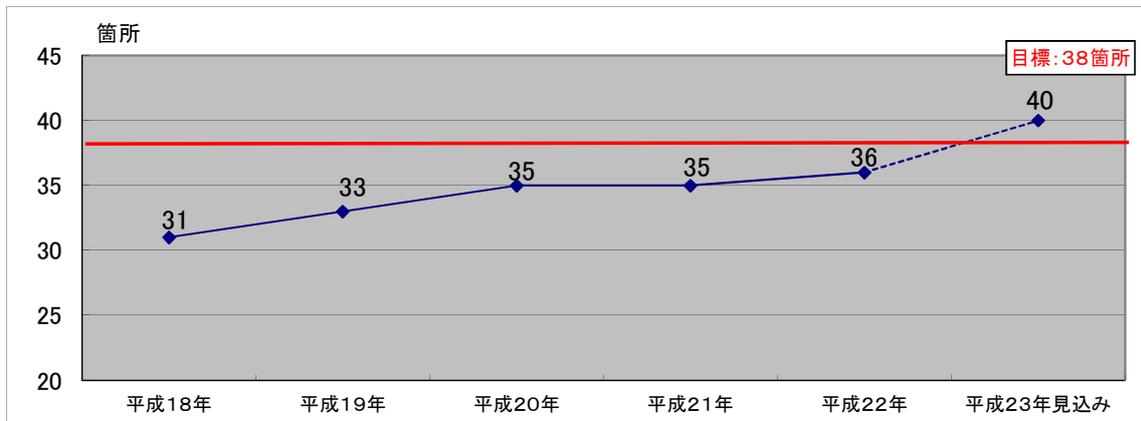
松江市子育て課

第4章 癒しと温もりに満ち、いきいき暮らせるまちをつくる

(1)子育て支援・児童福祉 つづき

③特別保育事業(一時保育)実施保育所数 (総合計画指標)

健康福祉部



(1)平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

待機児童の解消を目指し、特に平成21年度から子育て支援対策臨時特例交付金(安心こども基金)による私立保育所の施設整備が進められました。松江市の一時保育は私立保育所を中心に行われていることから、私立保育所の増加に伴い事業数が増加し、平成23年度には目標を上回る数の保育所で実施される見込みとなりました。

松江市でも、核家族化の進行や地域のつながりの希薄化等により子育て環境が悪化しており、保育所が担うべき役割も通常保育に留まらず一時保育等家庭保育者を対象としたものまで多様化しています。

今後も、子育て家庭のニーズを検証しながら時代の変化に即した種々の特別保育事業の実施を推進していく必要があります。

(2)用語の説明

※一時保育とは、保護者の傷病・入院、災害・事故、冠婚葬祭、育児等に伴う心理的・肉体的負担の解消等により、一時的に家庭での保育が困難になった就学前児童を保育所で保育するものです。保育所が自主的に行う特別保育事業の一事業で、人員等の基準を満たす保育所には国・県・市より補助金を交付しています。

(3)データの出典

松江市子育て課

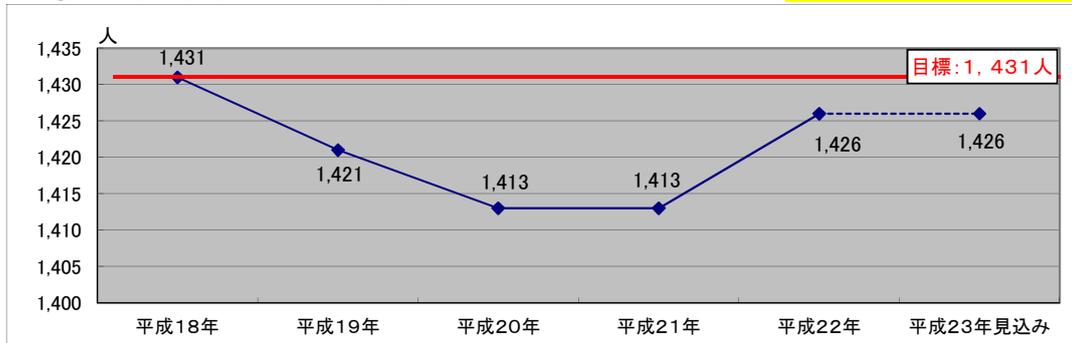
第4章 癒しと温もりに満ち、いきいき暮らせるまちをつくる

(2節 温もりのある福祉でいきいき暮らせる)

(1) 地域福祉の推進

① 福祉推進員数 (総合計画指標)

健康福祉部



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

地域の身近な相談役など地域福祉活動を推進する上において福祉推進員の役割は大きいのですが、自治会構成世帯の高齢化などの理由により福祉推進員を選出できない地域が生じています。

高齢化社会や核家族化の進行など、今後より一層地域における福祉推進員の役割は大きくなり、地域と一体となった地域福祉の推進が必要となります。

(2) 用語の説明

※福祉推進員は、市社会福祉協議会長より委嘱を受け、地域福祉活動の推進役を担う無償のボランティアで任期は2年。主な活動は、地区内高齢者宅などの見守り活動やなごやか寄り合い事業における活動などで、現在市内で1,426人(平成23年4月1日現在)が活動を行っています。

(3) データの出典

社会福祉協議会委嘱数

第4章 癒しと温もりに満ち、いきいき暮らせるまちをつくる

(2) 高齢者福祉の充実

① 老人クラブ加入者数（総合計画指標）

健康福祉部



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

老人クラブの加入者数は、平成19年をピークにその後は減少しています。新規加入対象となる団塊の世代では価値観の多様化が進み、これまでどおりの老人クラブ活動では魅力が低下していると考えられます。

また、クラブの年代構成も、60代、70代、80代、90代と幅広く、各年代間の考え方の違いも課題となっているようです。

老人クラブは仲間づくりや生きがい・健康づくりをはじめとして、地域を豊かにする社会活動に積極的に取り組んでいる重要な組織です。

今後は、老人クラブと行政で連携して加入者数の増加に取り組む必要があります。

(2) 用語の説明

※老人クラブとは、地域を基盤とする高齢者の自主組織です。

老人クラブは、「老人福祉法」第13条第2項において、「地方公共団体は老人の福祉を増進することを目的とする事業の振興を図るとともに、老人クラブその他該当事業を行なうものに対して、適当な援助をするように努めなければならない。」と位置づけられています。

(3) データの出典

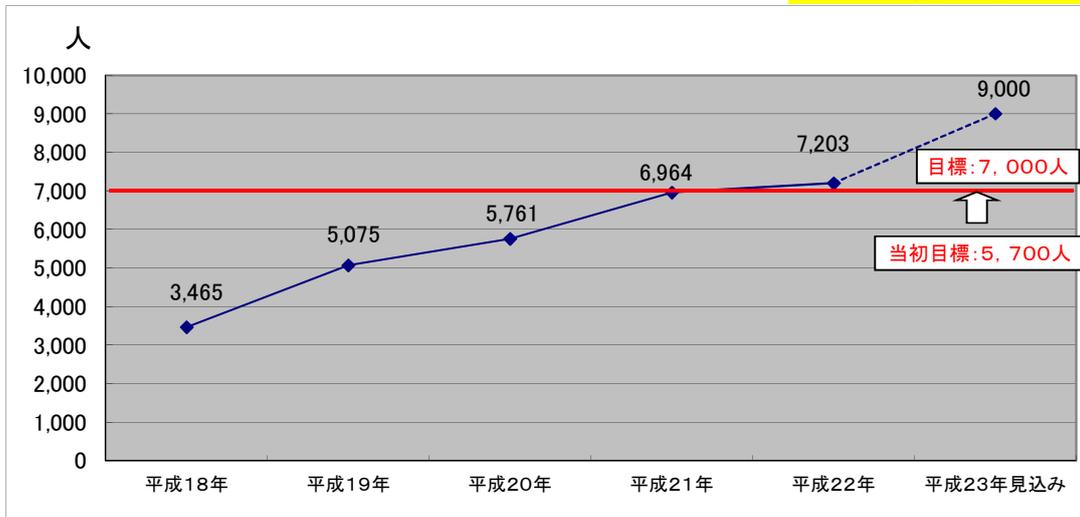
松江市老人クラブ連合会

第4章 癒しと温もりに満ち、いきいき暮らせるまちをつくる

(2) 高齢者福祉の充実 つづき

② なごやか寄り合い事業の参加者数（総合計画指標）

健康福祉部



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

毎年新規になごやか寄り合い事業実施会場の立ち上げを図っており、参加者数も増加しています。なごやか寄り合い事業は、介護予防の施策として自主運営型の地域に根差した重要な事業です。

今後も新規立ち上げのための支援及び継続実施会場の支援を行っていきます。

(2) 用語の説明

※「なごやか寄り合い事業」とは、地域住民の参加と協力を得ながら、地域の高齢者が、公民館や集会所等を集い、高齢者体操や勉強会、ゲームや小旅行などを行うことにより、寝たきりや認知症の一因である閉じこもりの予防を目的とした事業です。

(3) データの出典

松江市社会福祉協議会

第4章 癒しと温もりに満ち、いきいき暮らせるまちをつくる

(3) 障がい者(児)福祉の充実

① 障がい者手帳・手当での概況 (※参考数値)

	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
身体障害者手帳所持者	8,568	8,536	8,730	8,658	8,778
療育手帳所持者	1,421	1,462	1,541	1,599	1,616
精神障害者健康福祉手帳所持者	687	688	817	935	997
障害児福祉手当受給者	149	149	146	147	145
特別障害者手当受給者	415	392	368	363	361
福祉手当受給者(経過措置分)	17	16	15	14	13

(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者健康福祉手帳など、手帳の所持者数は増加傾向にあります。

ただし、障がい児福祉手当受給者や特別障がい者手当受給者、福祉手当受給者など、手当受給者数は減少傾向です。

(2) 用語の説明

(3) データの出典

資料：松江市障がい者福祉課

(4) 社会保障の充実

① 一人当たりの医療費 (総合計画指標)

市民部



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

急速な医療の高度化と高齢化により医療費が急増し、保険財政が悪化していることから、医療費適正化や人間ドック等の助成事業、生活習慣病に重点をおいた特定健康診査・特定保健指導等の保健事業を推進していく必要があります。

(2) 用語の説明

※一人当たりの医療費とは、年間の総医療給付費を年間の平均被保険者数で除した値です。

(3) データの出典

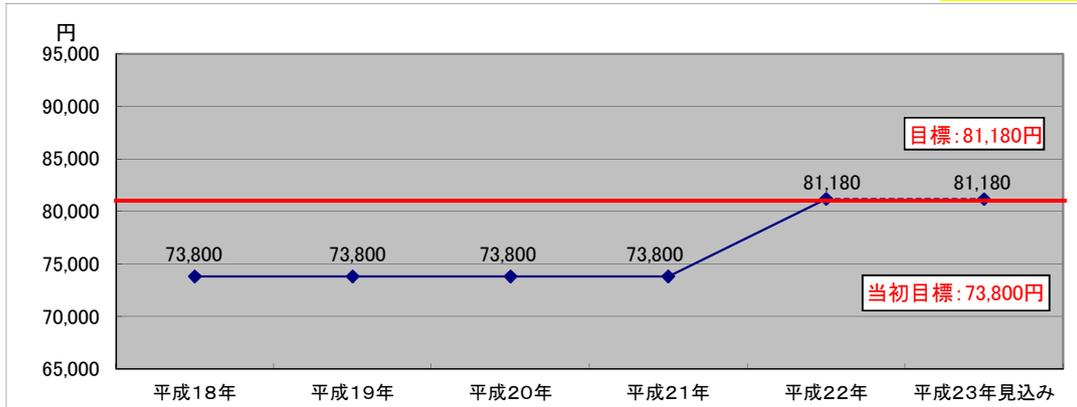
国民健康保険事業状況報告書(事業年報)

第4章 癒しと温もりに満ち、いきいき暮らせるまちをつくる

(4) 社会保障の充実 つづき

②一人当たりの保険料調定額（総合計画指標）

市民部



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

急速な医療の高度化と高齢化により医療費が急増し、保険財政が悪化したことから、平成12年度以降据え置いていた保険料を平成22年度に改定しました。（一人当たりの保険料を10%引き上げ、73,800円から81,180円とした）

現状では、被保険者の所得水準が低下する一方で、保険料の引き上げは避けられない状況にあるため、医療費適正化及び保健事業を推進し医療費を抑制するとともに、国民健康保険制度が国の責任において安定的に運営されるよう、国に対し強く要望する必要があります。

(2) 用語の説明

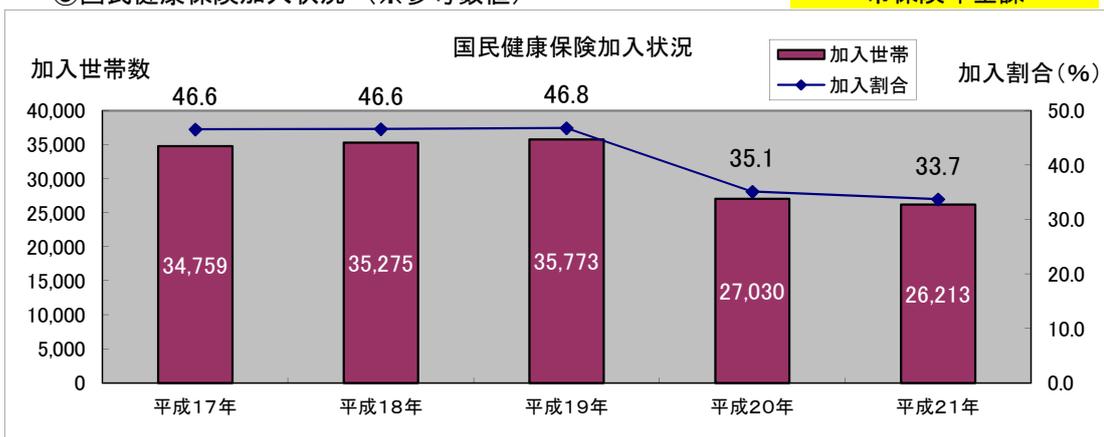
※一人当たりの保険料調定額とは、一般被保険者の平均保険料調定額（介護分を除く）。

(3) データの出典

松江市保険年金課

③国民健康保険加入状況（※参考数値）

市保険年金課



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

平成19年度までは、加入世帯数・加入割合ともに微増傾向でしたが、20年度から後期高齢者医療制度が導入されたことに伴い、双方とも減少傾向にあります。

(2) 用語の説明

(3) データの出典

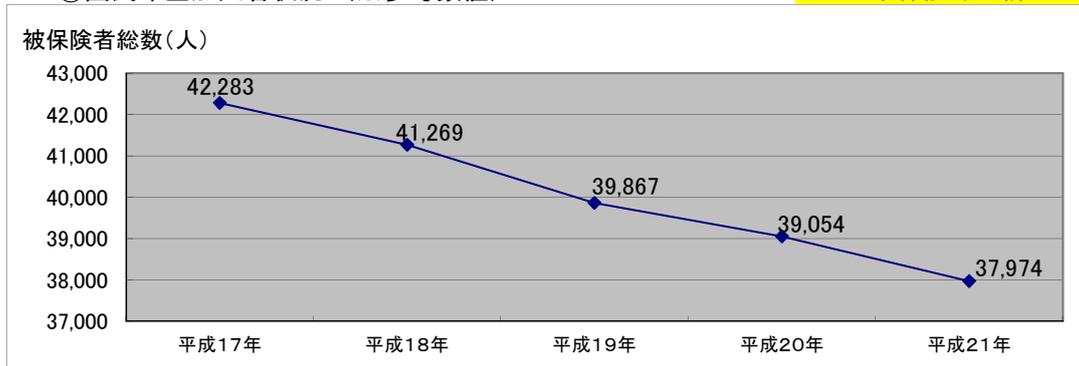
資料 松江市保険年金課

第4章 癒しと温もりに満ち、いきいき暮らせるまちをつくる

(4) 社会保障の充実 つづき

④ 国民年金加入者状況 (※参考数値)

市保険年金課



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

被保険者総数は、人口減少の影響もありますが、平成17年度以降年々下がり続けています。

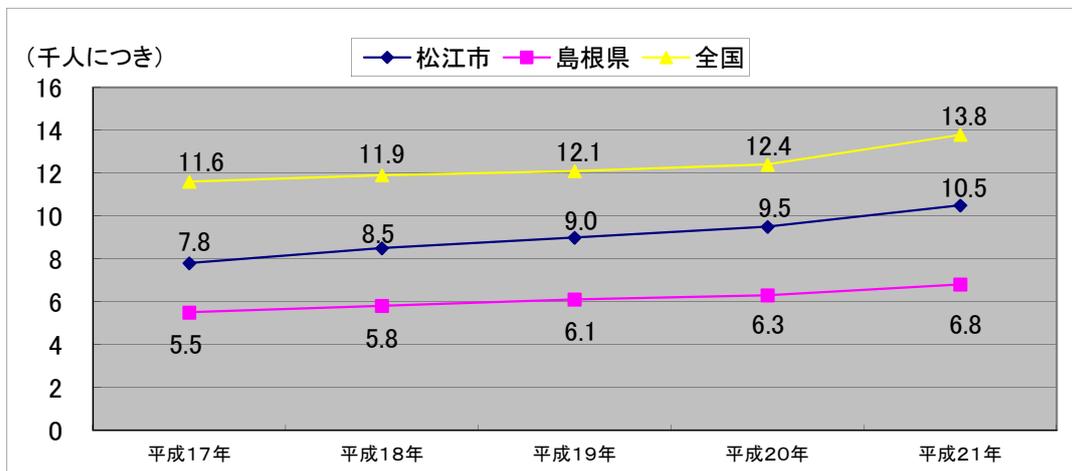
(2) 用語の説明

(3) データの出典

資料 松江市保険年金課

⑤ 生活保護率 (※参考数値)

松江市統計書



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

生活保護率については、全国平均を下回ってはいるものの、島根県平均より高くなっています。また、指標の推移を見ると、年々増加傾向にあることが分かります。

(2) 用語の説明

(3) データの出典

松江市生活福祉課 資料

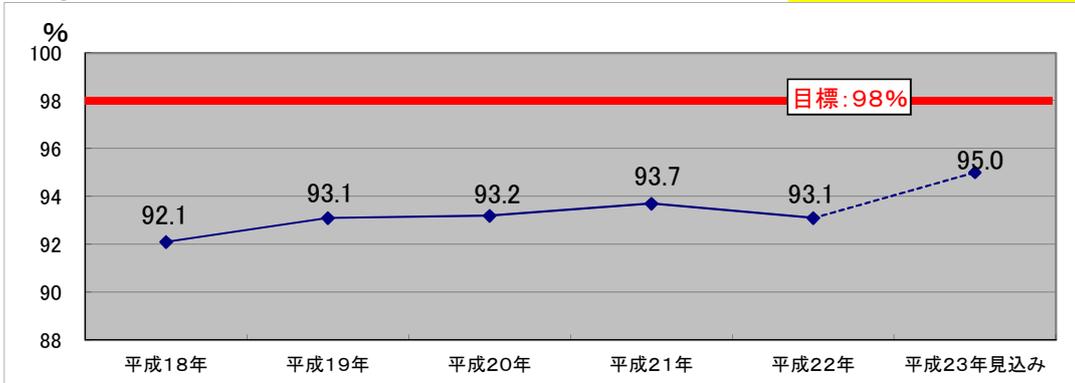
第4章 癒しと温もりに満ち、いきいき暮らせるまちをつくる

(3節 健康に生活できる)

(1)健康づくり

①1歳6ヶ月児健診受診率（総合計画指標）

健康福祉部



(1)平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

合併による中央会場実施で、平成17年度は88.4%に落ちましたが、個人通知や、電話・訪問等による未受診者への受診勧奨により漸増しています。

また、未受診者に対しては、未受診理由アンケートや訪問を行い、状況の確認はほぼ100%できており、今後も継続して実施していきます。

(2)用語の説明

※1歳6か月児健診: 母子保健法第12条に基づく健診。1歳6ヶ月から2歳までに実施します。

※受診率: 対象者は年度内に1歳6ヶ月になる児で、年度内の受診者数を対象者数で除したもの。

(3)データの出典

母子保健集計(県)、松江市保健衛生統計書

②高齢者インフルエンザ接種率（総合計画指標）

健康福祉部



(1)平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

接種率は徐々に目標に近づいています。21年度の接種率の低下は新型インフルエンザが流行したことにより季節性インフルエンザのワクチンが例年より少なかったためです。

今後もインフルエンザの重症化防止とまん延予防のため、接種を啓発していきます。

(2)用語の説明

※高齢者インフルエンザ予防接種: 予防接種法により二類疾病に規定されている。

対象者 ①65歳以上の者

②60歳以上65歳未満の者であって、心臓、腎臓若しくは呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障がいがあるものとして厚生労働省令で定めるもの

(3)データの出典

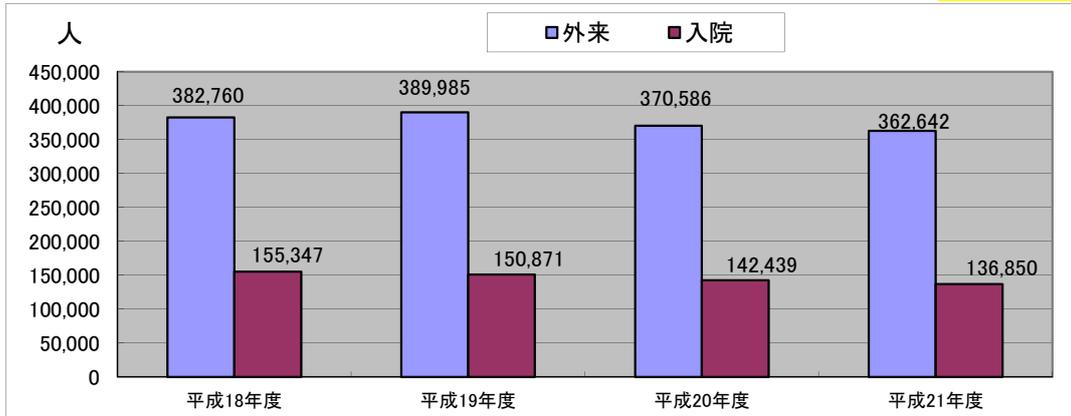
松江市 健康推進課

第4章 癒しと温もりに満ち、いきいき暮らせるまちをつくる

(2) 医療体制の充実

① 市立病院入院・外来患者数（※参考数値）

市立病院



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

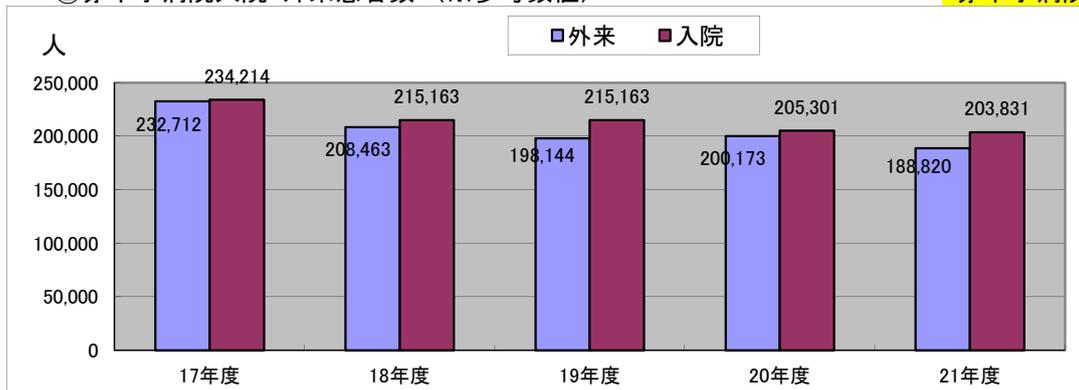
外来患者数は、19年度に増加したものの、20年度以降は減少傾向にあります。
また、入院患者数は、平成18年度から少しずつ減少する傾向です。
赤十字病院と比べると、入院と外来患者数の差が大きいのが特徴です。
（※赤十字病院は両方とも20万人程度で拮抗）

(2) 用語の説明

(3) データの出典
松江市立病院 より

② 赤十字病院入院・外来患者数（※参考数値）

赤十字病院



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

外来患者数は概ね減少傾向にあり、市立病院の状況に似ています。
入院患者数は減少傾向にあるものの、年間20万人以上で推移しています。
赤十字病院の特徴は、入院・外来患者数の差異があまりなく、拮抗していることです。

(2) 用語の説明

(3) データの出典
松江赤十字病院 より

第4章 癒しと温もりに満ち、いきいき暮らせるまちをつくる

(2) 医療体制の充実 つづき

③ 福祉医療受給者数（総合計画指標）

健康福祉部



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

重度障がい者は横ばいであるが、ひとり親家庭の受給者が離婚数の増加により増加傾向にあります。

今後も福祉医療費の助成を継続して、重度身体障がい者等の自己負担軽減を図ります。

(2) 用語の説明

※重度身体障がい者は、身体障害者手帳の総合等級が1級、2級の方をいいます。

※重度知的障がい者は、療育手帳の判定等級がAの方をいいます。

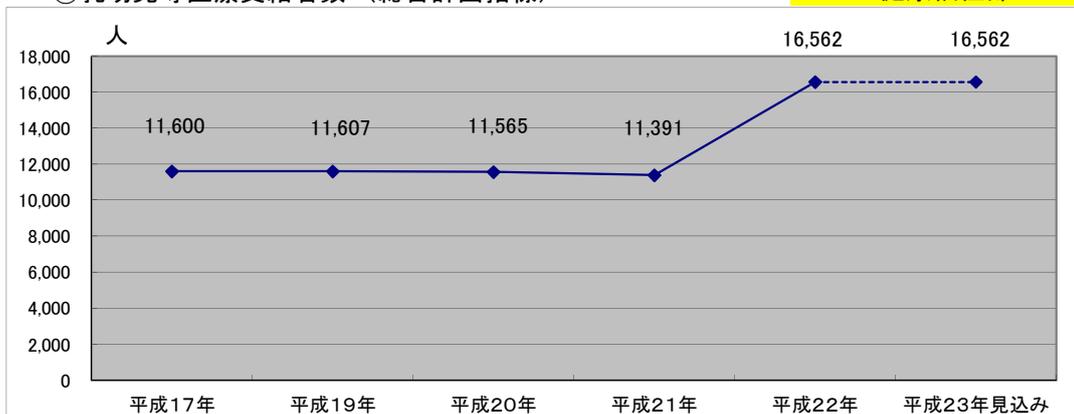
※ひとり親家庭は、18歳未満又は高校3学年終了までの児童を養育する配偶者のない者及び当該児童をいいます。

(3) データの出典

各年度末現在の受給者数。

④ 乳幼児等医療受給者数（総合計画指標）

健康福祉部



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

平成22年度に小学1年生から3年生を対象者として拡大したため対象者が大幅に増えています。今後も医療費の助成を継続して、乳幼児等の自己負担軽減を図ります。

(2) 用語の説明

乳幼児等医療受給者は0歳から小学校3年生までの児童。

(3) データの出典

松江市健康福祉部資料(各年度末現在の受給者数)より

第5章 活力ある産業と魅力ある観光で豊かな都市をつくる

1. ベンチマーク(代表的な指標による類似団体比較)

① 農業の状況

松江市の農業収穫額は類似都市の中でも低く33位となっています。

主な産物としては、米・野菜がありますが、その米の収穫量でも23番目です。

山陰地方においては、農業産出額で、米・野菜を主産物とする鳥取市・出雲市が20位前半で、野菜(ネギ)を主産物とする米子市が松江より多くなっています。

松江の農業は、こうしてみると盛んな方ではないことが分かります。

水稲収穫量		農業産出額			
2009年		2006年			
(単位:t)		百万円			
都市名	水稲	都市名	合計	主な産物	
1	長岡市	64,300	1	都城市	豚、肉用牛
2	上越市	58,900	2	弘前市	果実、米
3	石巻市	34,700	3	帯広市	芋類、麦
4	佐賀市	32,600	4	長岡市	米、野菜
5	福井市	28,800	5	福島市	果実、米
6	松阪市	21,500	6	上越市	米、野菜
7	津市	20,400	7	鈴鹿市	種苗・苗木、鶏卵
8	東広島市	20,200	8	津市	米、鶏卵
9	弘前市	19,900	9	石巻市	米、野菜
10	小山市	19,600	10	松本市	米、野菜
11	水戸市	19,200	11	佐賀市	野菜、麦
12	山口市	18,800	12	八戸市	鶏卵、野菜
13	都城市	17,500	13	徳島市	野菜、米
14	鳥取市	16,600	14	小山市	野菜、米
15	山形市	16,000	15	山形市	果実、野菜
16	松本市	16,000	16	今治市	果実、野菜
17	市原市	15,000	17	市原市	米、野菜
18	出雲市	14,300	18	水戸市	米、野菜
19	鈴鹿市	13,400	19	熊谷市	野菜、米
20	福島市	12,000	20	松阪市	米、野菜
21	熊谷市	11,400	21	尾道市	果実、野菜
22	上田市	10,200	22	鳥取市	米、野菜
23	松江市	8,850	23	出雲市	米、果実
24	徳島市	8,350	24	福井市	米、野菜
25	今治市	7,560	25	佐世保市	果実、肉用牛
26	周南市	7,220	26	山口市	米、鶏卵
27	佐世保市	7,140	27	野田市	野菜、米
28	八戸市	6,890	28	上田市	米、野菜
29	米子市	6,010	29	釧路市	乳用牛、肉用牛
30	野田市	5,320	30	東広島市	米
31	尾道市	2,710	31	米子市	野菜、米
32	甲府市	1,760	32	甲府市	果実、野菜
33	呉市	1,630	33	松江市	米、野菜
34	釧路市	0	34	呉市	果実
35	帯広市	0	35	周南市	米、野菜

農林水産省：作物統計
 農業産出額：農林水産省「生産農業所得統計」。
 野菜＝農林水産省「産野菜生産出荷統計」。

松江市の農業生産物ランキング(2009年;百万円)

1	米	2,390
2	野菜	1,320
3	花き	580
4	肉用牛	190
5	乳用牛	180
6	いも類	170

第5章 活力ある産業と魅力ある観光で豊かな都市をつくる

②林業の状況

松江市の林業は、林野面積の順位に比しては生産額は多い方ですが、市内総生産における割合では、わずか0.1%です。

島根県では、奥出雲町の2,330百万円がトップ、次に益田市1,499百万円が続きます。林業生産も年々減ってきており、こちらも松江市の産業では、盛んな方とは言えません。

林業経営体数も激減しており、森林保全に主体を置くのか、あくまでも林業振興なのか、岐路に立っているのかもしれない。

林業総生産			林野面積		
2008年			2005年		
(単位:百万円)			(単位:ha)		
都市名	林業総生産		都市名	林野面積	
1 松江市	6,266		1 釧路市	105,613	
2 津市	5,653		2 松本市	69,772	
5 帯広市*	1,817		3 上越市	54,672	
4 都城市	1,472		4 鳥取市	54,621	
6 周南市	1,336		5 山口市	52,440	
8 上越市	945		6 周南市	49,681	
9 出雲市	893		7 福島市	49,229	
7 山口市	781		8 松江市	42,746	
14 松江市	673		9 津市	42,020	
20 東広島市	597		10 長岡市	40,994	
11 八戸市	564		11 東広島市	40,209	
12 鳥取市	521		12 上田市	38,779	
18 佐賀市	478		13 都城市	35,471	
15 水戸市	421		14 出雲市	35,324	
17 松本市*	414		15 福井市	31,945	
19 釧路市*	398		16 石巻市	30,794	
10 長岡市	346		17 松江市	27,709	
26 鈴鹿市	329		18 帯広市	24,044	
21 呉市	309		19 弘前市	23,943	
16 石巻市	280		20 今治市	22,352	
24 尾道市	239		21 呉市	20,998	
23 上田市*	233		22 山形市	20,802	
28 弘前市	231		23 佐世保市	18,222	
30 熊谷市	117		24 佐賀市	17,901	
25 今治市	104		25 尾道市	14,696	
29 甲府市*	66		26 市原市	13,627	
31 米子市	60		27 八戸市	10,590	
32 山形市	12		28 徳島市	5,236	
3 福井市	16年度以降不明		29 鈴鹿市	3,606	
22 佐世保市	農林業で一括		30 水戸市	3,314	
13 福島市	農林水産業で一括		31 米子市	2,795	
27 徳島市	農林水産業で一括		32 野田市	834	
33 小山市	農林水産業で一括		33 小山市	649	
34 野田市	不明		34 熊谷市	514	
35 市原市	不明		35 甲府市	N. A.	
市町村経済計算 無印=平成20年			農林水産省「2005年農林業センサス」による。		
* =平成19年 ** =平成17~18年					

(林業経営体数の推移)

調査年	林野面積計 【ha】	林業経営体数 【経営体】
12年度	27,914	
17年度	27,709	290
22年度	27,599	178

資料; 農林業センサス

第5章 活力ある産業と魅力ある観光で豊かな都市をつくる

③水産業の状況

松江市は、海面漁業にあわせ、宍道湖のしじみ漁があるため、水産業は比較的盛んな方です。ただし、同じ山陰地方には、境港市・隠岐4島といった本格的な漁業集積地があります。

宍道湖は、全国一のしじみ漁のおかげで、湖沼漁獲量も最も多い湖になっています。一方で、残念ながら、中海の漁業復活には至っておりません。

海面漁業漁獲量		就業者数		
2008年		2008年		
(単位:t)		(単位:人)		
都 市 名	海面漁業漁獲量計	都 市 名	就業者数	うち内水面
1 石巻市	127,023	1 石巻市	3,363	0
2 釧路市	98,839	2 佐世保市	1,960	0
3 八戸市	90,835	3 佐賀市	1,812	30
4 佐世保市	65,930	4 呉市	1,318	17
5 松江市	18,946	5 松江市	1,275	353
6 今治市	10,196	6 今治市	1,234	0
7 鈴鹿市	6,158	7 八戸市	1,214	0
8 津市	5,536	8 釧路市	813	0
9 呉市	4,078	9 徳島市	668	430
10 徳島市	3,231	10 出雲市	640	199
11 鳥取市	2,986	11 尾道市	597	0
12 出雲市	2,591	12 長岡市	477	424
13 福井市	2,285	13 松阪市	421	39
14 周南市	1,603	14 周南市	302	6
15 尾道市	1,415	15 鳥取市	296	40
16 松阪市	799	16 鈴鹿市	255	0
17 佐賀市	499	17 山口市	232	18
18 山口市	394	18 米子市	224	41
19 上越市	353	19 福井市	203	0
20 米子市	351	20 津市	195	21
21 長岡市	335	21 上越市	188	25
22 東広島市	122	22 東広島市	129	0
23 帯広市	0	23 水戸市	38	38

帯広以下海面に接していない13都市は統計から除外

山陰両県	濱田市	9,893	濱田市	365	0
	大田市	7,959	大田市	499	0
	西ノ島町	30,512	西ノ島町	299	0
	隠岐の島町	42,011	隠岐の島町	727	0
	境港市	48,135	境港市	447	0

農林水産省：海面漁業生産統計調査
2008漁業センサス

注：しじみの漁獲量約6千トン以内水面漁業であり本表には含まれない

湖沼漁獲量上位10湖

* 宍道湖漁獲量のうち6,393tがしじみの漁獲量です。

* 宍道湖は松江市のみではありません。

湖沼漁獲量				
2006年				
(単位:t)				
湖 沼 名	県 名	漁 獲 量		
1 宍道湖	島根	6,484		
2 小川原湖	青森	2,581		
3 十三湖	青森	2,105		
4 琵琶湖	滋賀	1,837		
5 能取湖	北海道	1,830		
6 霞ヶ浦	茨城	1,377		
7 網走湖	北海道	1,009		
8 神西湖	島根	406		
9 北浦	茨城	363		
10 八郎潟	秋田	282		

平成18年漁業・養殖業生産統計年報

第5章 活力ある産業と魅力ある観光で豊かな都市をつくる

④工業の状況

松江市の製造業は、従業員数でも34位、製造品出荷額でも35位の最下位です。
 これは、東出雲町の出荷額をプラスしても116,538百万円で順位を一つ上げるだけです。
 主な出荷製品は、食料品・木材・生産用機械です。
 松江市の製造業は、鳥取市・米子市・斐川と合併する出雲市にもかなり差を空けられています。

従業員数		製造品出荷額等		
2009年		2009年		
(単位: 所、人)		(単位: 百万円)		
都市名	従業員	都市名	出荷額	主産業
1 長岡市	25,892	1 市原市	4,277,443	石油・化学工業
2 東広島市	21,079	2 周南市	1,507,767	石油・化学工業
3 津市	20,904	3 鈴鹿市	1,503,324	輸送用機器
4 市原市	20,536	4 東広島市	1,040,972	情報通信、電子部品
5 鈴鹿市	19,933	5 呉市	811,386	鉄鋼、造船
6 呉市	19,603	6 今治市	919,706	造船、タオル
7 福島市	18,678	7 津市	877,506	電子部品、輸送用機器
8 上越市	17,077	8 熊谷市	714,111	化学工業、生産用機器
9 上田市	16,744	9 福島市	670,958	情報通信
10 福井市	16,421	10 小山市	498,167	鉄鋼、はん用機器
11 小山市	16,245	11 長岡市	517,789	生産用・業務用機器
12 熊谷市	15,194	12 松本市	495,462	電子部品、情報通信
13 松阪市	14,171	13 上越市	439,467	化学工業
14 尾道市	13,799	14 八戸市	503,651	パルプ、鉄鋼
15 松本市	13,791	15 尾道市	539,655	造船、プラスチック
16 鳥取市	13,772	16 上田市	369,249	輸送用機器、電気機器
17 八戸市	13,690	17 松本市	414,782	生コン、食料品
18 山形市	12,013	18 鳥取市	377,030	電子部品
19 都城市	11,866	19 徳島市	453,426	化学工業
20 今治市	11,650	20 福井市	337,446	繊維、化学工業
21 石巻市	11,418	21 石巻市	360,076	パルプ、食料品
22 周南市	11,251	22 野田市	328,977	食料品(醤油)、非鉄金属
23 徳島市	11,021	23 甲府市	266,078	情報通信機器
24 野田市	10,558	24 都城市	272,685	食料品、飲料
25 佐賀市	10,525	25 釧路市	257,322	パルプ、食料品
26 甲府市	9,786	26 佐賀市	239,059	食料品、電気機器
27 弘前市	8,657	27 山形市	196,835	食料品、生産機械
28 出雲市	7,494	28 米子市	186,892	飲料・たばこ・飼料、パルプ
29 水戸市	7,395	29 山口市	181,805	金属製品、輸送用機器
30 佐世保市	7,292	30 弘前市	188,536	業務用機器、電子部品
31 山口市	6,325	31 佐世保市	168,780	輸送用機器、はん用機器
32 米子市	5,783	32 水戸市	125,399	食料品、電気機器
33 釧路市	5,522	33 出雲市	135,579	鉄鋼業
34 松江市	5,128	34 帯広市	116,633	食料品
35 帯広市	4,939	35 松江市	82,081	食料品、生産用機器、木材

平成21年工業統計表「市区町村編」データ(経済産業省経済産業政策局調査統計部)

平成21年／各比率	従業員数		製造品出荷額	
		同比率		同比率
製造業計	5,128		8,208,052	
食料品製造業	1,281	25.0	1,208,869	14.7
繊維工業	291	5.7	101,592	1.2
木材・木製品製造業(家具を除く)	286	5.6	1,062,158	12.9
印刷・同関連業	361	7.0	374,824	4.6
窯業・土石製品製造業	142	2.8	492,949	6.0
金属製品製造業	379	7.4	693,303	8.4
生産用機械器具製造業	559	10.9	1,055,009	12.9
電子部品・デバイス・電子回路製造業	339	6.6	454,596	5.5
輸送用機械器具製造業	296	5.8	891,972	10.9

第5章 活力ある産業と魅力ある観光で豊かな都市をつくる

⑤商業の状況

松江市の商業は卸・小売合計で、従業者数・年間販売額ともに17番目となっています。この順位は、山陰地方の各都市で同じになりました。ただ、人口対比で見ると、商都米子市が15番目で、山陰では一番になります。

商業統計							
2007年（卸・小売合計）							
（単位：人）		（単位：百万円）		（単位：千円）	順位		
都市名	従業者数	都市名	年間商品販売額	人口一人当たり販売額			
1	福井市	33,349	1	水戸市	1,520,141	5,766	1
2	水戸市	30,834	2	福井市	1,352,868	5,038	4
3	山形市	29,109	3	松本市	1,285,786	5,654	2
4	徳島市	27,776	4	山形市	1,107,876	4,339	5
5	長岡市	26,771	5	徳島市	997,884	3,747	8
6	松本市	26,379	6	長岡市	954,019	3,391	11
7	福島市	25,412	7	帯広市	892,672	5,277	3
8	八戸市	24,413	8	八戸市	825,419	3,415	10
9	津市	23,004	9	福島市	813,294	2,811	18
10	佐世保市	22,589	10	甲府市	809,190	4,060	6
11	佐賀市	22,284	11	熊谷市	783,807	3,831	7
12	甲府市	22,023	12	津市	746,624	2,585	23
13	山口市	18,926	13	佐賀市	740,055	3,083	14
14	弘前市	18,316	14	山口市	714,470	3,721	9
15	帯広市	18,251	15	釧路市	644,327	3,373	12
16	呉市	18,048	16	佐世保市	637,126	2,500	25
17	松江市	17,885	17	松江市	539,766	2,755	19
18	熊谷市	17,798	18	小山市	529,550	3,270	13
19	鳥取市	17,746	19	鳥取市	514,098	2,566	24
20	市原市	17,690	20	弘前市	502,362	2,701	20
21	上越市	17,424	21	東広島市	488,764	2,610	21
22	都城市	16,199	22	今治市	481,787	2,814	17
23	釧路市	16,198	23	上越市	468,999	2,275	30
24	石巻市	15,629	24	上田市	463,125	2,854	16
25	米子市	15,215	25	米子市	438,958	2,943	15
26	今治市	15,039	26	呉市	409,200	1,660	33
27	上田市	14,690	27	市原市	405,209	1,451	34
28	松阪市	14,125	28	都城市	393,915	2,325	28
29	東広島市	13,722	29	周南市	390,460	2,594	22
30	小山市	13,605	30	松阪市	387,110	2,284	29
31	尾道市	13,197	31	石巻市	383,740	2,337	27
32	鈴鹿市	13,004	32	尾道市	359,303	2,423	26
33	周南市	12,995	33	鈴鹿市	334,582	1,699	32
34	出雲市	12,502	34	出雲市	279,027	1,911	31
35	野田市	8,924	35	野田市	203,404	1,329	35

経済産業省：商業統計2007（H19）6. 1現在）
人口一人当たりの算出に当たっては2007/10/1現在の推計人口を使用

松江市の卸売業・主な品目別統計

	従業者数	年間商品販売額
	（人）	（百万円）
合計	17,885	539,766
電気機械器具卸売業	537	64,215
食料・飲料卸売業	1,018	43,145
建築材料卸売業	546	32,501
農畜産物・水産物卸売業	578	30,773
鉱物・金属材料卸売業	298	30,279
医薬品・化粧品等卸売業	336	29,839
一般機械器具卸売業	547	25,848
自動車卸売業	447	22,872

松江市の小売業・主な品目別統計

	従業者数	年間商品販売額
	（人）	（百万円）
合計	12,361	210,568
各種食料品小売業	1,484	36,940
自動車小売業	1,019	30,863
燃料小売業	704	21,838
機械器具小売業	506	13,119
医薬品・化粧品小売業	629	11,172
書籍・文房具小売業	964	5,899
婦人・子供服小売業	436	5,568
酒小売業	320	5,298

第5章 活力ある産業と魅力ある観光で豊かな都市をつくる

⑥観光(宿泊統計)の状況

宿泊統計は、他のベンチマークと違い、全国の順位を出してみました。
 延べ宿泊者数は、全国で34位、客室稼働率は8位でした。しかも、上位に入っているのは政令市、
 中核市のほか名立たる観光地ばかりです。ただし、東京特別区部は除いています。
 また、ランキングに入れたのは年間を通じて統計のある都市に絞っています。

客室稼働率が高い割には、定員稼働率は42.8%で61位になっています。これは、温泉旅館を
 有する都市の宿命かもしれません。

また、外国人宿泊客も少なく、とてもランキングに入る状況ではありません。

宿泊統計					
2010年					
		人			%
	都市名	延べ宿泊者数		都市名	客室稼働率
1	大阪市	12,050,063	1	浦安市	78.4
2	京都市	6,713,964	2	川崎市	78.4
3	札幌市	6,695,744	3	京都市	76.7
4	浦安市	6,178,861	4	さいたま市	73.8
5	福岡市	5,712,166	5	大阪市	72.3
6	名古屋市	4,337,183	6	横浜市	71.6
7	横浜市	4,333,187	7	成田市	70.2
8	神戸市	3,248,838	8	松江市	70.2
9	仙台市	3,109,666	9	広島市	69.7
10	那覇市	3,039,066	10	群馬県草津町	69.5
11	広島市	2,858,508	11	奈良市	69.5
12	神奈川県箱根町	2,415,858	12	沖縄県恩納村	68.6
13	成田市	2,203,862	13	千葉市	67.7
14	日光市	1,982,114	14	福岡市	67.6
15	金沢市	1,709,627	15	姫路市	67.6
16	鹿児島市	1,685,242	16	八王子市	67.4
17	浜松市	1,651,046	17	札幌市	66.9
18	熱海市	1,603,677	18	旭川市	66.8
19	別府市	1,573,670	19	神戸市	66.8
20	長崎市	1,484,268	20	宇都宮市	66.4
21	新潟市	1,483,819	21	那覇市	66.4
22	熊本市	1,478,979	22	千歳市	66.3
23	沖縄県恩納村	1,459,760	23	名古屋市	66.1
24	松山市	1,356,437	24	徳島市	65.9
25	岡山市	1,288,998	25	熊本県南小国町	65.7
26	北九州市	1,282,333	26	神奈川県箱根町	65.3
27	千葉市	1,228,512	27	松山市	65.0
28	高知市	1,225,035	28	長崎市	64.0
29	伊東市	1,153,757	29	高知市	63.6
30	宮崎市	1,138,030	30	堺市	63.0
31	大津市	1,112,766	31	郡山市	62.4
32	栃木県那須町	1,072,914	32	甲府市	62.3
33	高山市	1,066,399	33	静岡市	62.3
34	松江市	1,040,927	34	周南市	62.1
35	福島市	993,071	35	仙台市	62.1

資料：国土交通省観光庁、宿泊旅行統計

本調査は、従業員10人以上の宿泊施設にアンケート方式で行っており、目標指標で使っている松江市内宿泊者数とは、数字が異なります。

第5章 活力ある産業と魅力ある観光で豊かな都市をつくる

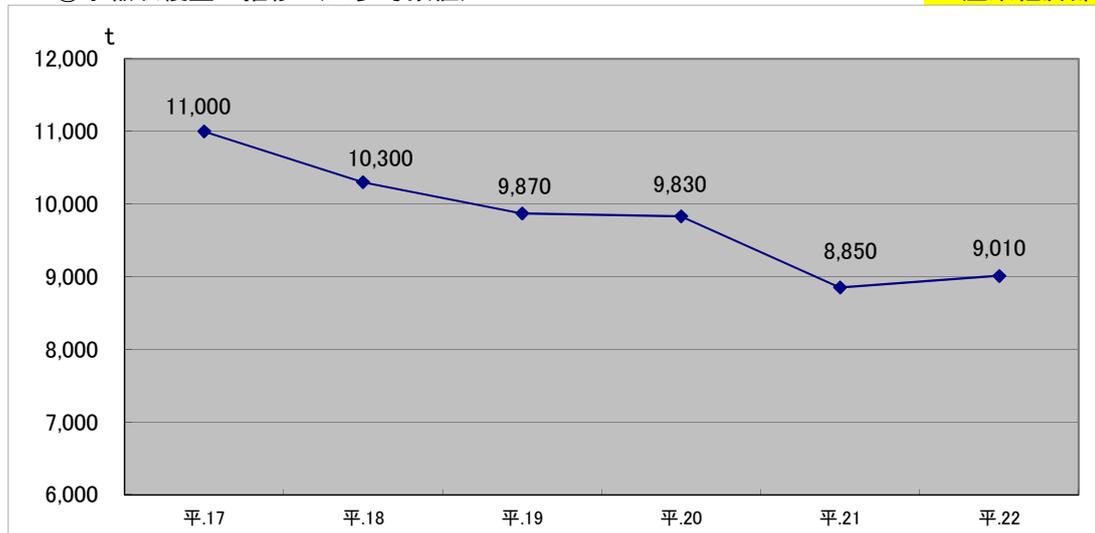
2. 総合計画の目標指標

(1節 活力ある産業で躍動する)

(1) 農業の振興

① 水稲収穫量の推移 (※参考数値)

産業経済部



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

松江市の主力作物である水稲の収穫量は、平成17年度以降減少が続いています。
これは、耕地面積の減少に加え、近年の天候不良(日照不足など)も影響していると考えられます。

(2) 用語の説明

(3) データの出典

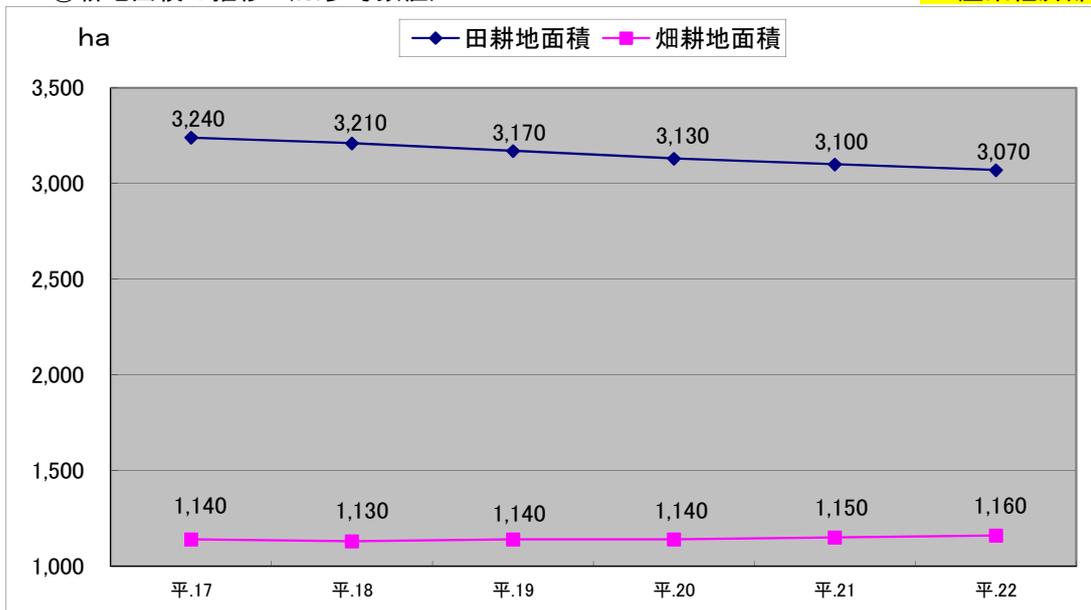
農林水産省 作物統計 市町村別データより

第5章 活力ある産業と魅力ある観光で豊かな都市をつくる

(1) 農業の振興 つづき

② 耕地面積の推移 (※参考数値)

産業経済部



農林水産省: 作物統計・市町村別データ

(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

田の耕地面積の減少とともに、水稻収穫量も減少傾向にあります。
一方、畑の耕地面積は微増傾向です。

(2) 用語の説明

(3) データの出典

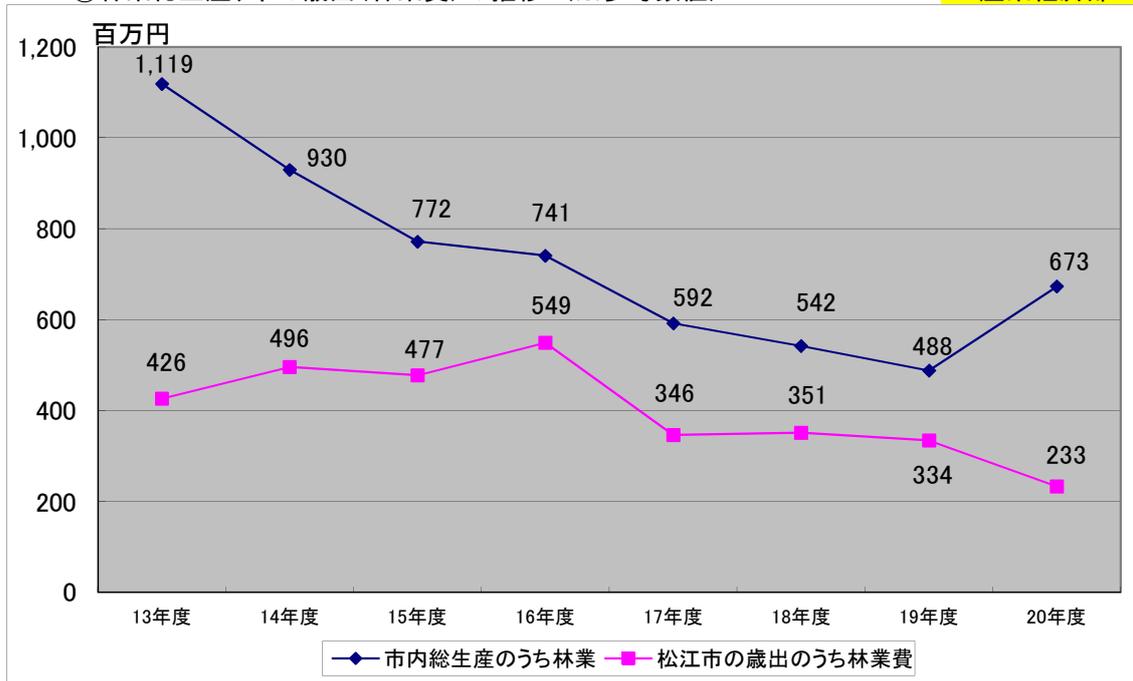
農林水産省 作物統計 市町村別データより

第5章 活力ある産業と魅力ある観光で豊かな都市をつくる

(2) 林業の振興

① 林業総生産、市の歳出(林業費)の推移 (※参考数値)

産業経済部



資料：市町村民経済計算

(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

松江市の林業総生産額は年々減少し、20年度は若干持ち直したものの、13年度の半額程度に落ち込んでいます。

松江市の歳出(林業費)も、平成16年度を境に減少が続いている状況です。

(2) 用語の説明

(3) データの出典

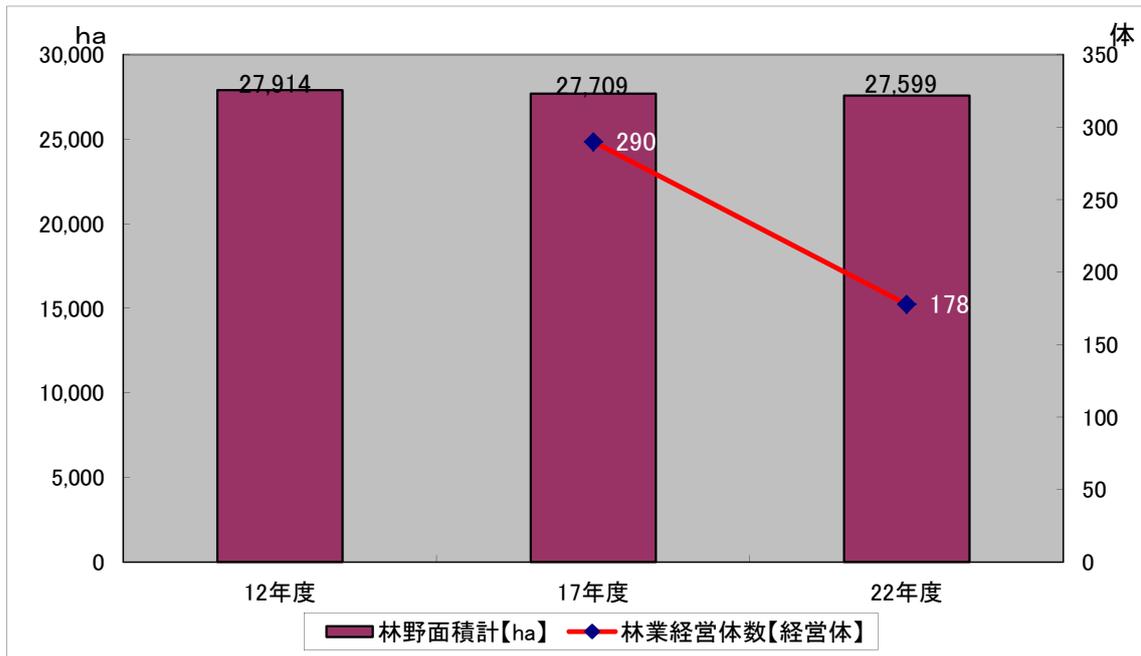
資料 市町村民経済計算 より

第5章 活力ある産業と魅力ある観光で豊かな都市をつくる

(2) 林業の振興 つづき

② 林野面積と林業経営体数の推移 (※参考数値)

産業経済部



資料：農林業センサス

林野面積には大きな変動はないが、経営体数はこの5年間で激減した。

(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

林野面積には大きな変動はありませんが、経営体数はこの5年間で激減しました。

(2) 用語の説明

(3) データの出典

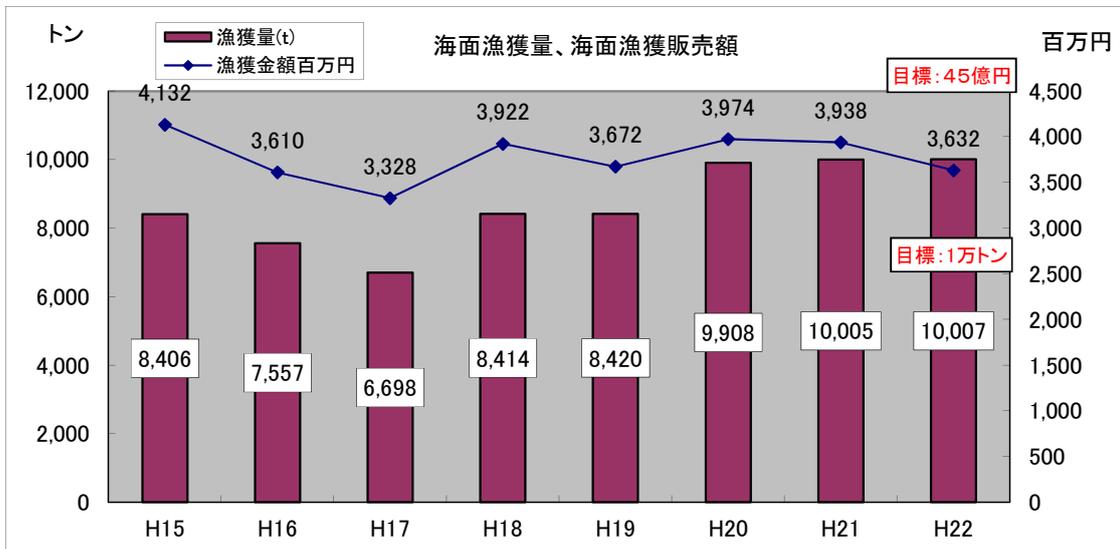
資料 農林業センサス より

第5章 活力ある産業と魅力ある観光で豊かな都市をつくる

(3) 水産業の振興

① 海面漁獲量、海面漁獲販売額（総合計画指標）

産業経済部



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

平成17年以降、大型クラゲや年末の荒天による出漁日数の減等により、一時漁獲量が減少したが、近年では回復基調にあり、やや上向きに推移しています。

近年、操業隻数が減少傾向にある中、一定水準の漁獲量を市場に供給できたのは漁業者の努力によるものと推測されます。

一方、漁獲販売額については、長引く不景気の影響や、消費者のさかな離れ、円高によって安く仕入れられる輸入魚との競争等による魚価の低迷が影響し、平年を下回る状況にあります。

本市の基幹漁業である定置網漁は、新設・拡充等により、漁獲量は年々増加しており、市の支援策による一定の成果も見受けられることから、引き続き支援策を講じるとともに、本市の新鮮な魚介類を積極的なPRや、消費者ニーズを的確に捉えた生産・販売方法を検討する必要があります。

(2) 用語の説明

(3) データの出典

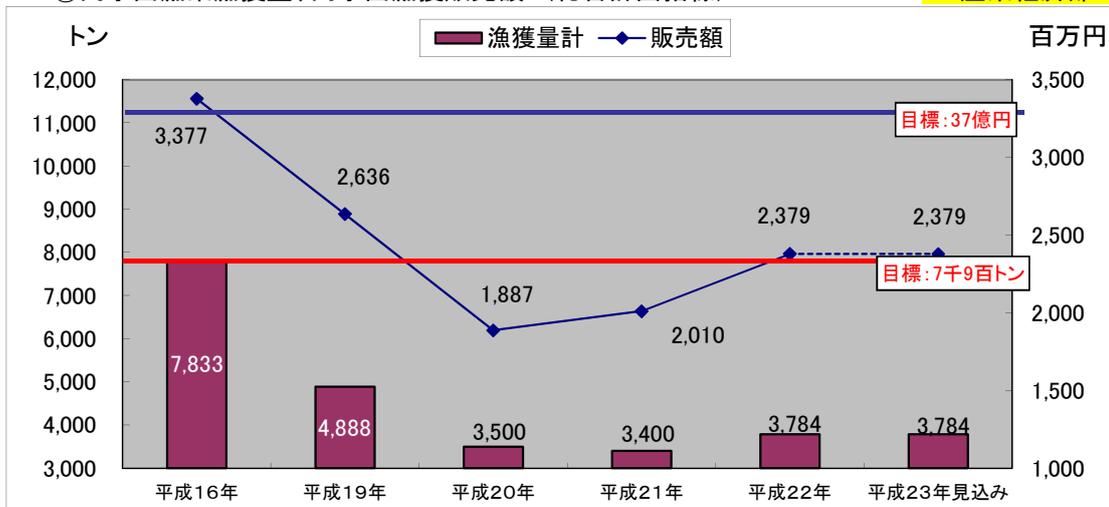
松江管内漁業生産概要 出典：県TAC漁獲システム

第5章 活力ある産業と魅力ある観光で豊かな都市をつくる

(3) 水産業の振興 つづき

②内水面漁業漁獲量、内水面漁獲販売額（総合計画指標）

産業経済部



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

宍道湖では、計画策定時の漁獲量維持を目標として取り組んできました。宍道湖で獲れる魚介の9割以上はヤマトシジミですが、平成18年夏期の大雨の影響による大量へい死以降、漁獲量は大幅に減少しています。

漁協では、資源量に応じて漁獲規制を実施しているため、漁獲量は規制の強弱により変動することとなります。(1日の採捕量H18年:150Kg ⇒ H19年:120Kg ⇒ H20年:90Kg)

H23年からは休漁日を1日増やし、週3日の操業としています。

へい死原因の究明や天然採苗・放流、竹林礁の設置などを引き続き行い、松江ブランドでもあるシジミ資源の維持増大を図ります。

また、宍道湖七珍に数えられるワカサギ、シラウオ等についても近年低迷を続けていることから、関連機関と連携を図り、稚魚放流や、禁漁区の設定などを継続して実施します。

(2) 用語の説明

(3) データの出典

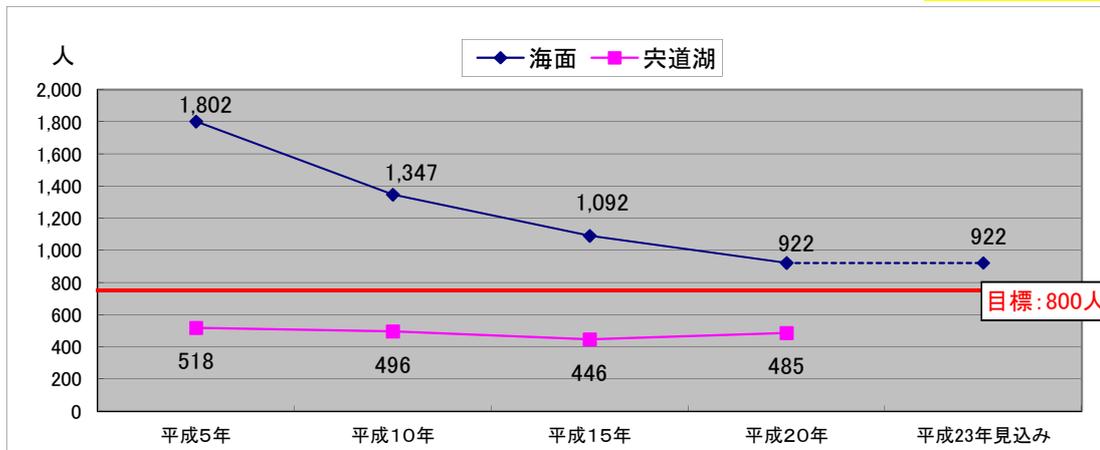
宍道湖漁業協同組合

第5章 活力ある産業と魅力ある観光で豊かな都市をつくる

(3) 水産業の振興 つづき

③ 漁業就業者数（総合計画指標）

産業経済部



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

全国的に漁業就業者数が減少傾向にある中、本市の海面漁業従事者においても、消費者の嗜好の変化（魚から肉）、消費低迷に伴い魚価が低水準で推移、漁船燃料代の高騰等の影響により、年々減少しています。

穴道湖の漁業従事者においては、後継者が比較的多いシジミ漁等の影響もあり、微減傾向にあります。

従事者の減少は、漁業資源の減少が大きな要因となっていることから、資源の維持増大を図るとともに、関連機関との連携により、他産業経験者等の幅広いルートから意欲ある人材の確保や、漁業者グループや漁業集落による先駆的な取組みを支援する必要があります。

(2) 用語の説明

(3) データの出典

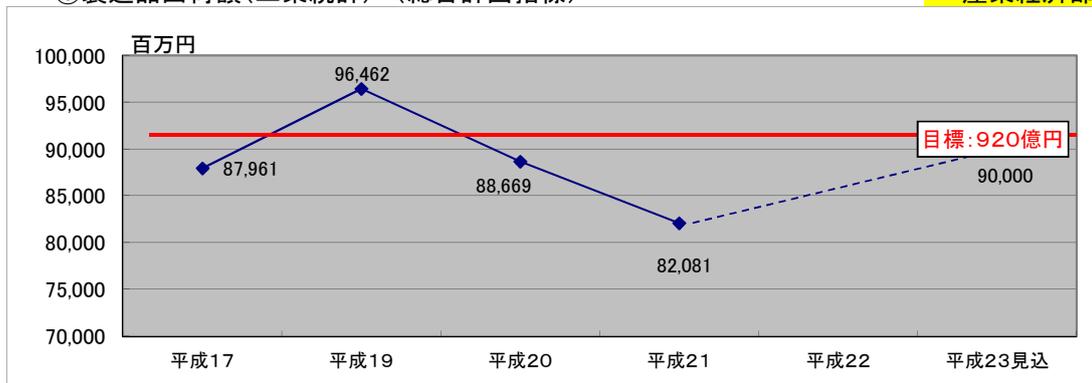
漁業協同組合JFしまね、穴道湖漁業協同組合

第5章 活力ある産業と魅力ある観光で豊かな都市をつくる

(4) 工業の振興

① 製造品出荷額(工業統計) (総合計画指標)

産業経済部



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

平成17年比約5%増の920億円を目標値として取り組み、平成19年までは順調に数字を伸ばし目標値をクリアしていましたが、平成20年の世界的不況により大きく数字が落ち込んでいます。今後は販路開拓、設備貸与、新製品新技術開発の補助制度等による支援が必要です。

(2) 用語の説明

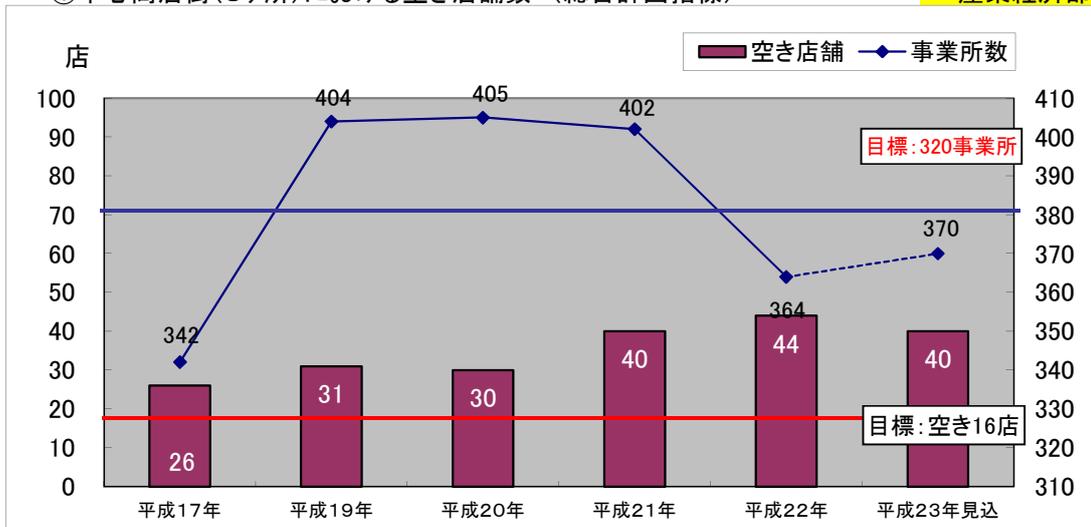
(3) データの出典 工業統計調査

第5章 活力ある産業と魅力ある観光で豊かな都市をつくる

(5) 商業の振興

① 中心商店街(8ヶ所)における空き店舗数 (総合計画指標)

産業経済部



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

中心商店街の事業所数は、家賃助成をはじめとした取り組みにより、平成17年以降増加し目標値を達成していますが、平成21年度以降は不況により減少傾向となっています。

空き店舗については、平成17年度から平成20年度まで、ほぼ横ばいで推移していましたが、同じく平成21年度以降は空き店舗が増えている状況です。

今後もチャレンジショップによる家賃補助等による支援が必要です。

(2) 用語の説明

※ 中心商店街8か所(H17指標設定時)

北殿町商店街、南殿町商店街、京店商店街、白湯本町商店街、天神町商店街
天神町商店街、新大橋商店街、中央通商店街

(3) データの出典

松江市 産業振興課資料

第5章 活力ある産業と魅力ある観光で豊かな都市をつくる

(6) 雇用環境の整備

① 松江市における移動理由別移動者数(社会動態) (※参考数値)

区分	平成20年 (H19. 10. 1-H20. 9. 30)			平成21年 (H20. 10. 1-H21. 9. 30)			平成22年 (H21. 10. 1-H22. 9. 30)		
	転入	転出	差引	転入	転出	差引	転入	転出	差引
転 勤	1,659	1,515	144	1,468	1,345	123	1,475	1,390	85
就 職	568	1,002	-434	650	975	-325	641	848	-207
転職転業	370	284	86	343	248	95	346	213	133
就学卒業	482	566	-84	429	542	-113	465	538	-73
結婚縁組	432	405	27	457	396	61	452	424	28
新築転居	418	438	-20	347	368	-21	466	354	112
そ の 他	1,326	1,530	-204	1,439	1,421	18	1,269	1,412	-143
不 詳	9	129	-120	28	134	-106	18	49	-31
同 伴 者	1,883	1,994	-111	1,747	1,842	-95	1,782	1,723	59
計	7,147	7,863	-716	6,908	7,271	-363	6,914	6,951	-37

<内訳>就職にかかる年齢別移動者数

区分	平成20年 (H19. 10. 1-H20. 9. 30)			平成21年 (H20. 10. 1-H21. 9. 30)			平成22年 (H21. 10. 1-H22. 9. 30)		
	転入	転出	差引	転入	転出	差引	転入	転出	差引
0～14歳	1	0	1	0	0	0	0	0	0
15～19歳	61	68	-7	70	79	-9	65	45	20
20～24歳	314	599	-285	347	643	-296	345	569	-224
25～29歳	95	224	-129	133	164	-31	128	148	-20
30～34歳	38	57	-19	41	44	-3	47	36	11
35～39歳	14	21	-7	18	17	1	18	18	0
40～44歳	9	5	4	11	8	3	15	6	9
45～49歳	12	7	5	8	6	2	8	11	-3
50～54歳	8	5	3	7	4	3	5	4	1
55～59歳	8	9	-1	8	5	3	4	3	1
60～64歳	7	6	1	5	4	1	4	6	-2
65歳以上	1	1	0	2	1	1	2	2	0
計	568	1,002	-434	650	975	-325	641	848	-207

(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

推計人口は、平成13年を境に減少が続いています。
 そのうち、社会動態も同様に、平均して毎年400名程度の減少が続いていましたが、平成22年は37名減と改善しています。
 今後は、転出が多い『20歳～24歳の就職移動者』に向けた施策に取り組む必要があります。

(2) 用語の説明

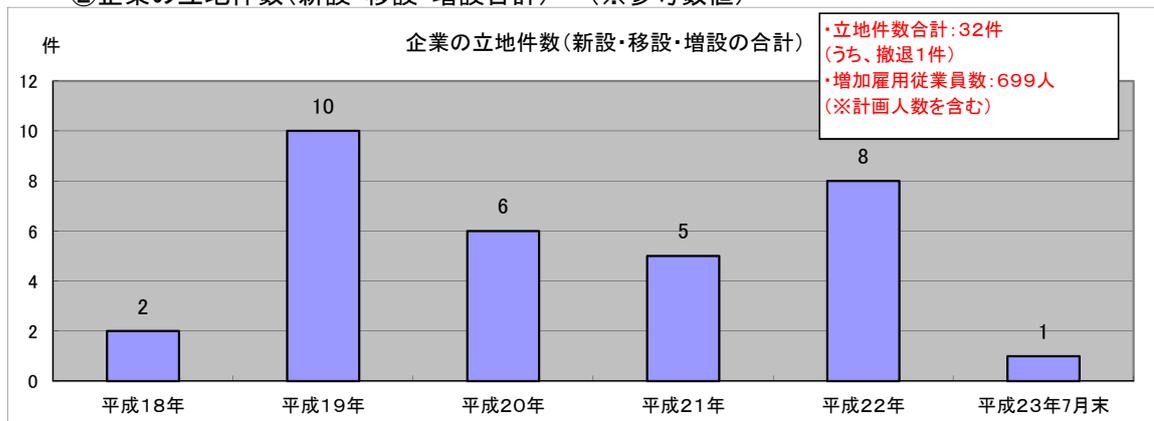
(3) データの出典

第3表 市町村別推計人口・人口動態 (島根県統計調査課 しまね統計情報データベース)

第5章 活力ある産業と魅力ある観光で豊かな都市をつくる

(6) 雇用環境の整備 つづき

② 企業の立地件数(新設・移設・増設合計) (※参考数値)



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

平成18年度以降の企業の立地件数は32件(うち撤退1件)となりました。また、増加雇用従業員数も、計画人員を含めると699人となっており、雇用拡大が図られています。

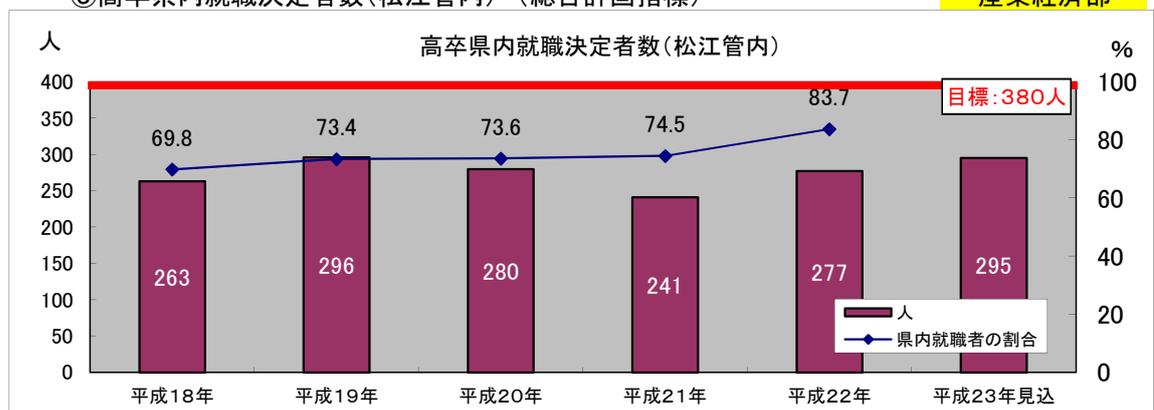
(2) 用語の説明

(3) データの出典

松江市 企業立地課資料

③ 高卒県内就職決定者数(松江管内) (総合計画指標)

産業経済部



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

数値的には、横ばい状況ですが、県内就職者の割合(県内就職者/管内高校を卒業して就職した者)は、平成18年度の69.8%に対し、平成19年度73.4%、平成20年度73.6%、平成21年度74.5%と着実に増加し、平成22年度には、83.7%と、平成18年度に比べて実に13.9pt上昇しており、これまでの取り組みにより一定の成果が得られており、今後も継続して実施します。

(2) 用語の説明

※松江管内: 旧東出雲町を含む現松江市の区域

(3) データの出典

島根労働局

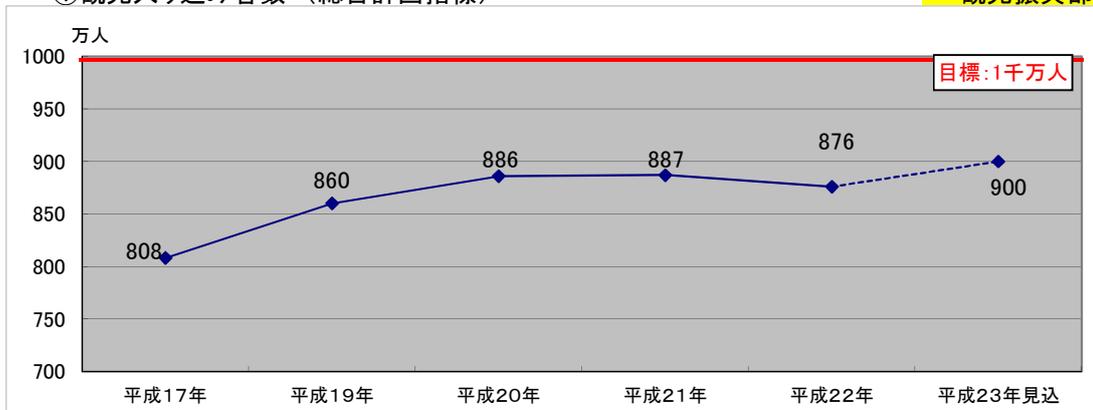
第5章 活力ある産業と魅力ある観光で豊かな都市をつくる

(2節 観光都市の魅力を高める)

(1)観光の振興

①観光入り込み客数（総合計画指標）

観光振興部



(1)平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

平成19年より開催している「開府400年祭」、また石見銀山の世界遺産登録以降、観光客の増加は顕著であり、以降もNHK連続テレビ小説「だんだん」の影響もあり順調に推移しています。

ただし、平成22年の観光入り込み客数は、平成21年度に開催されたホーランエンヤほど集客力のあるイベントが無かったこともあり減少しました。

平成23年は3月の東日本大震災の影響により観光入り込み客の減少が予想されますが、「開府400年祭」の最終年であり、博覧会をはじめ、集客が期待できるイベントが多数あります。引き続き旅行会社へのプロモーションや情報発信を行うとともに、広域連携も含め観光客誘客を継続して推進していきます。

また、引き続き、「まちあるき」観光の推進、観光客のニーズに応じた魅力の発信を行っていきます。

(2)用語の説明

※観光入込客数...観光施設・各種イベント・宿泊施設の観光客数の延べ数(推計値含む)

(3)データの出典

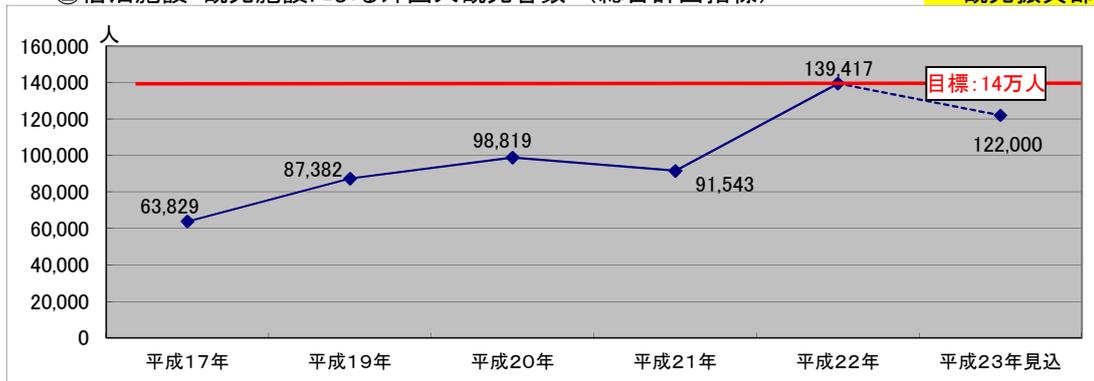
島根県観光動態調査・松江市観光白書

第5章 活力ある産業と魅力ある観光で豊かな都市をつくる

(1)観光の振興 つづき

②宿泊施設・観光施設による外国人観光客数（総合計画指標）

観光振興部



(1)平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

多言語観光パンフレットやDVD作成などによる受入体制整備と情報発信、島根県等との連携によるプロモーション活動等に努めています。

平成20年秋以降、世界的な経済不況と急激な円高が始まり、外国人観光客は一旦減少したものの、平成21年6月のDBSフェリー就航により、平成22年は韓国人観光客を中心に大幅な増加に転じました。

平成23年は3月の東日本大震災の影響により、外国人観光客の減少が予想されますが、海外の旅行会社へのプロモーションや情報発信、官民協働による宿泊施設や観光施設の外国人受入環境整備などをすすめ、外国人観光客誘客を推進していきます。

(2)用語の説明

※外国人観光客数…宿泊施設の訪日外国人国籍別宿泊客延べ人数及び観光施設国籍別入場者数(推計値含む)

(3)データの出典

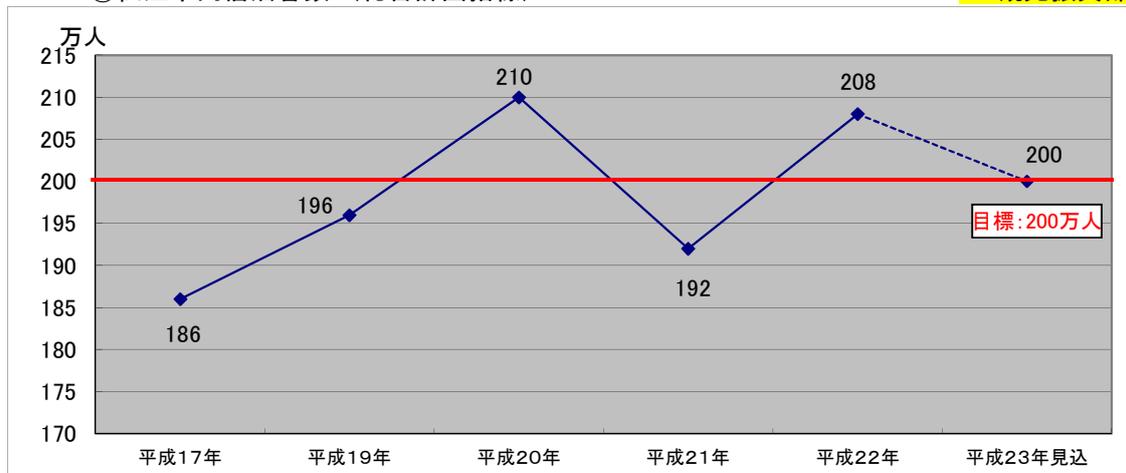
島根県観光動態調査

第5章 活力ある産業と魅力ある観光で豊かな都市をつくる

(1)観光の振興 つづき

③松江市内宿泊客数（総合計画指標）

観光振興部



(1)平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

平成20年秋以降、世界的な経済不況と新型インフルエンザの影響等により、宿泊客数は一旦減少したものの、平成22年はパワースポットブームや縁結び効果により大幅な増加に転じました。

平成23年は3月の東日本大震災の影響により、宿泊客の減少が予想されますが、「開府400年祭」の最終年であり、博覧会をはじめ、集客が期待できるイベントが多数あります。

引き続き旅行会社へのプロモーションや情報発信を行うとともに、広域連携も含め宿泊客誘客を継続して推進していきます。

(2)用語の説明

※宿泊客数...ホテル・旅館、民営宿泊施設、公共の宿泊施設、キャンプ場など

(3)データの出典

島根県観光動態調査・松江市観光白書

第6章 快適で交流が盛んな都市をつくる

1. ベンチマーク(代表的な指標による類似団体比較)

①道路実延長の状況

松江市の道路実延長は類似都市の中でも長い方で11位になっています。
また、松江市より若干面積の大きい出雲市は7位となっています。

面積の狭い米子市は、34位ですが、1k平米あたりの道路延長で計算すると、さすが山陰地区の交通の要衝であり、7位になります。

単純な道路実延長では、面積の広い地方都市が上位に入りますが、面積当たりしてみると、やはり都会地のほうが道路網は充実しているようです。

順位	都市名	道路実延長			1 延 長 順 当 た り
		2009年	2010年	(単位:km)	
		(単位:km)	(単位:km ²)		
		道路実延長	市内面積	面積(1km ²)当 たり道路実延長	
1	長岡市	4,348.8	890.91	4.88	14
2	津市	3,909.6	710.81	5.50	10
3	都城市	3,569.1	653.31	5.46	11
4	上越市	3,465.1	973.61	3.56	27
5	福島市	3,265.0	767.74	4.25	22
6	松本市	2,653.4	978.77	2.71	31
7	出雲市	2,583.3	543.48	4.75	17
8	東広島市	2,550.9	635.32	4.02	23
9	熊谷市	2,470.5	159.88	15.45	1
10	福井市	2,454.9	536.19	4.58	18
11	松江市	2,426.2	530.35	4.57	19
12	石巻市	2,366.2	555.78	4.26	21
13	水戸市	2,355.7	217.43	10.83	3
14	市原市	2,279.8	368.20	6.19	8
15	松阪市	2,201.2	623.77	3.53	28
16	鳥取市	2,172.1	765.66	2.84	30
17	上田市	2,124.7	552.00	3.85	26
18	佐世保市	2,080.2	426.47	4.88	15
19	佐賀市	2,070.0	431.42	4.80	16
20	山口市	2,033.1	1,023.31	1.99	34
21	鈴鹿市	1,962.4	194.67	10.08	4
22	今治市	1,878.7	419.89	4.47	20
23	呉市	1,794.3	353.84	5.07	13
24	徳島市	1,759.4	191.62	9.18	5
25	八戸市	1,655.3	305.40	5.42	12
26	尾道市	1,630.6	284.85	5.72	9
27	弘前市	1,626.1	524.12	3.10	29
28	帯広市	1,577.9	618.94	2.55	32
29	釧路市	1,575.2	1,362.75	1.16	35
30	周南市	1,509.1	656.32	2.30	33
31	山形市	1,502.6	381.34	3.94	24
32	小山市	1,467.5	171.61	8.55	6
33	野田市	1,141.5	103.54	11.02	2
34	米子市	1,105.4	132.21	8.36	7
35	甲府市	834.5	212.41	3.93	25

①面積＝10月1日の国土地理院「全国都道府市区町村別面積調、②道路＝統計でみる市町村のすがた2011

松江市内道路の実延長

4月1日現在 単位:km、%

	平成22年	比率
国道(国土交通省管理分)	41.1	1.7
国道(県管理分)	60.3	2.5
県道	235.7	9.7
市道	2,102.4	86.2
計	2,439.5	100.0
市道の舗装率	74.0	---

国土交通省中国地方整備局松江国道事務所
島根県土木部道路維持課、市管理課

第6章 快適で交流が盛んな都市をつくる

②持ち家率の状況

専用住宅の持ち家率は61.7%で、類似都市の中でも平均を少し下回る状況です。

③空き家率の状況

空き家率も、持ち家率と同様、類似都市平均を少々下回っています。

※山陰では、出雲市の持ち家率は高く、空き家率は低くなっているのが目立ちます。

専用住宅持ち家率			住宅総数空き家率		
2008年			2008年		
(単位:%)			(単位:%)		
	都市名	持ち家率		都市名	空き家率
1	上越市	77.1	1	鈴鹿市	9.1
2	野田市	74.0	2	長岡市	11.5
3	出雲市	72.8	3	山形市	11.8
4	尾道市	72.5	4	帯広市	12.1
5	上田市	72.3	5	佐賀市	12.3
6	熊谷市	70.6	6	石巻市	12.5
7	津市	70.4	7	熊谷市	12.6
8	都城市	70.2	8	市原市	12.6
9	松阪市	70.1	9	野田市	13.0
10	石巻市	69.8	10	出雲市	13.1
11	長岡市	69.5	11	上越市	13.2
12	今治市	69.2	12	福島市	13.5
13	呉市	68.9	13	東広島市	13.5
14	弘前市	68.3	14	山口市	13.7
15	福井市	68.0	15	津市	13.9
16	鈴鹿市	66.6	16	周南市	14.0
17	周南市	66.2	17	松阪市	14.2
18	市原市	65.3	18	佐世保市	14.8
19	鳥取市	63.2	19	松江市	14.9
20	松江市	61.7	20	都城市	15.1
21	小山市	61.7	21	小山市	15.3
22	八戸市	60.3	22	鳥取市	15.5
23	米子市	60.1	23	釧路市	15.5
24	福島市	60.0	24	徳島市	15.7
25	山形市	59.2	25	弘前市	16.4
26	佐世保市	58.9	26	今治市	16.6
27	佐賀市	57.1	27	呉市	17.1
28	山口市	57.0	28	尾道市	17.3
29	松本市	55.9	29	八戸市	17.3
30	水戸市	55.9	30	米子市	17.4
31	東広島市	55.7	31	松本市	18.1
32	甲府市	54.4	32	上田市	18.4
33	徳島市	53.6	33	福井市	18.5
34	釧路市	53.1	34	水戸市	19.0
35	帯広市	52.6	35	甲府市	19.9

住宅・土地統計調査:市区町村

第6章 快適で交流が盛んな都市をつくる

④住宅地平均価格

松江市の住宅地は類似都市と比べ、かなり高くなっています。ただ、全国同様に毎年下がり続けています。

⑤公共下水道の普及率

公共下水道の普及率は、類似都市の中でも良好な状況ですが、集落排水や浄化槽等を含めた全体の普及率では、22年度現在96.5%になっています。

住宅地平均価格	
2010年1月1日	
(単位:円/㎡)	
都市名	住宅地平均価格
1 徳島市	100,000
2 呉市	71,600
3 野田市	67,200
4 熊谷市	66,300
5 福井市	64,800
6 松江市	64,000
7 山形市	58,400
8 水戸市	58,100
9 松本市	56,500
10 甲府市	54,000
11 鳥取市	53,800
12 東広島市	51,700
13 佐賀市	51,600
14 尾道市	51,100
15 長岡市	50,600
16 市原市	50,100
17 小山市	48,200
18 福島市	48,100
19 津市	47,800
20 上田市	47,500
21 八戸市	46,900
22 今治市	46,200
23 松阪市	46,000
24 周南市	45,800
25 佐世保市	44,800
26 米子市	43,000
27 鈴鹿市	42,300
28 弘前市	39,300
29 上越市	36,600
30 山口市	36,200
31 出雲市	35,300
32 帯広市	27,300
33 石巻市	27,000
34 釧路市	21,000
35 都城市	20,100
国土交通省「地価公示」	

松江市の地価変動率推移(住宅地・商業地)

	住宅地変動率	商業地変動率
15年	-0.4	-7.9
16年	-1.7	-10.9
17年	-2.1	-12.0
18年	-1.9	-7.2
19年	-2.2	-5.1
20年	-2.2	-3.9
21年	-2.6	-5.2
22年	-3.0	-5.8
23年	-3.3	-6.5

公共下水道の普及率		
2010年3月31日現在		
(単位:%)		
	都市名	下水道普及率
1	釧路市	98.0
2	帯広市	96.7
3	山形市	96.7
4	松本市	95.7
5	甲府市	93.4
6	長岡市	88.9
7	周南市	84.5
8	呉市	83.3
9	弘前市	81.6
10	福井市	79.1
11	上田市	78.1
12	松江市	76.1
13	鳥取市	72.9
14	水戸市	71.3
15	佐賀市	70.9
16	米子市	60.7
17	福島市	60.7
18	市原市	58.2
19	山口市	57.9
20	小山市	56.8
21	野田市	56.5
22	石巻市	54.4
23	佐世保市	53.9
24	八戸市	52.8
25	今治市	52.4
26	上越市	49.5
27	鈴鹿市	44.7
28	松阪市	42.9
29	津市	42.2
30	熊谷市	41.6
31	出雲市	39.7
32	都城市	39.1
33	東広島市	34.2
34	徳島市	28.2
35	尾道市	10.0
社団法人 日本下水道協会		

第6章 快適で交流が盛んな都市をつくる

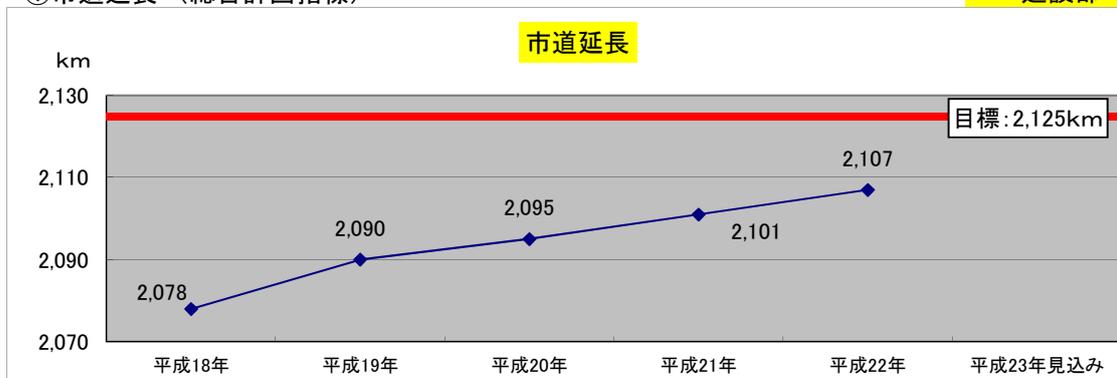
2. 総合計画の進捗状況

(1節 人・物・情報が交流する)

(1) 道路網の整備

① 市道延長 (総合計画指標)

建設部



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

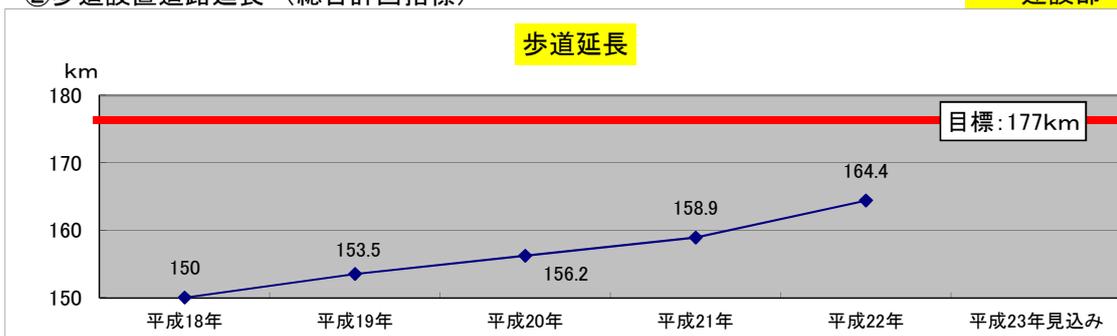
道路新設、既設道路の改良工事に伴うものや、私道や開発道路の編入を行ってきました。今後、国道・県道からの移管等による延長増が見込まれることから、市道延長の拡大に伴い、必要な維持管理を行っていきます。

(2) 用語の説明

(3) データの出典
松江市建設部管理課

② 歩道設置道路延長 (総合計画指標)

建設部



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

松江市歩道整備計画等に基づいて重要度、緊急度を勘案しながら整備を行ってきました。今後も歩行者の安全を確保するため、要望等を取り入れながら、重要度・緊急性を勘案し歩行者に配慮した整備を行っていきます。

(2) 用語の説明

※松江市歩道整備計画・・・松江市では、誰もが歩きやすく、快適で安心・安全な市道歩行空間を増やしていくために、歩道整備計画を策定しています。

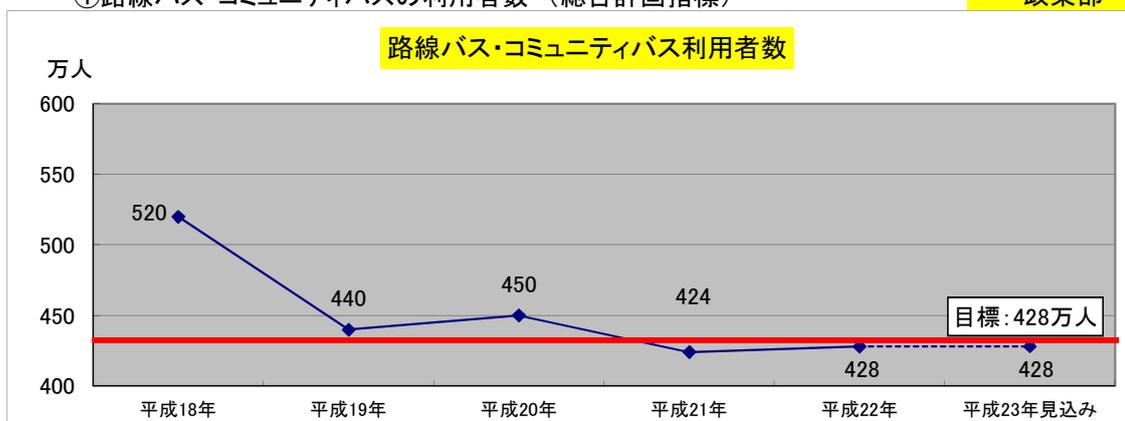
(3) データの出典
松江市建設部管理課

第6章 快適で交流が盛んな都市をつくる

(2) 交通体系の整備

① 路線バス・コミュニティバスの利用者数（総合計画指標）

政策部



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

平成19年の松江市公共交通体系整備計画を策定し、その計画の中で路線の再編を行いました。（市街地の路線は交通局、郊外路線は一畑バスと役割分担を行ったため、走行キロが減少し、それに伴って利用者也減少しました。）

その後は若干の変動は見られるものの、概ね横ばいの状況となっています。

今後は、平成23年3月に策定した、松江市公共交通体系整備計画の2次計画で目標として定めた利用者の現状維持を目標に、様々な取組を行っていきます。

(2) 用語の説明

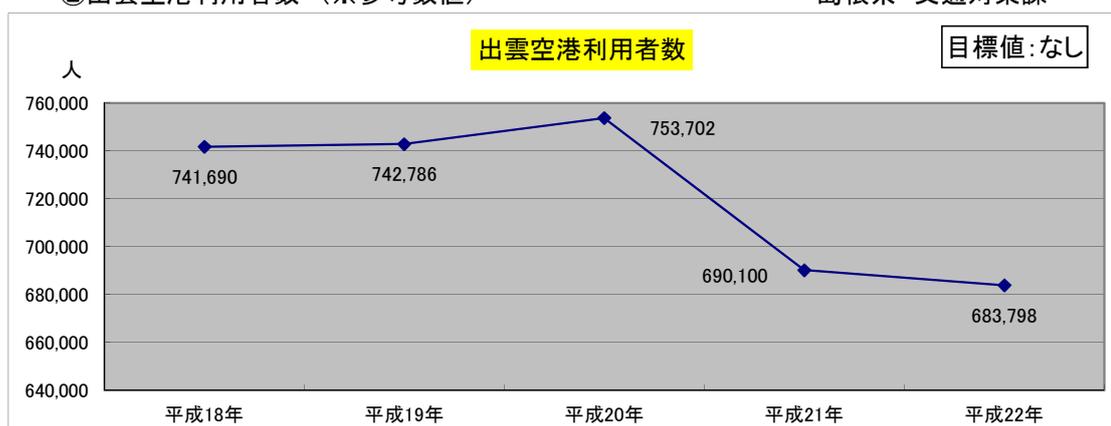
※コミュニティバスとは、既存の路線バスが不採算を理由に撤退した地区や公共交通の空白地区で、住民の移動手段を確保する目的で運行しているバスのことです。

(3) データの出典

・松江市 地域・交通政策課 より

② 出雲空港利用者数（※参考数値）

島根県 交通対策課



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

平成20年度までは利用者数も順調に推移していましたが、世界的な景気後退や高速道路割引、新型インフルエンザなどの影響もあり、21年度は大幅に減少しています。

22年度は、ペースは緩やかになったものの、やはり減少傾向が続いています。

(2) 用語の説明

(3) データの出典

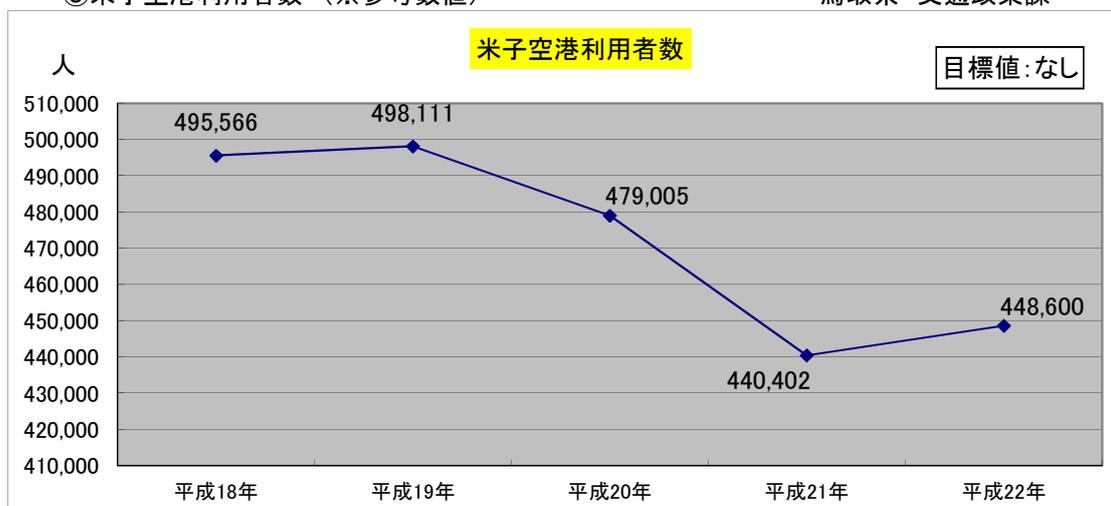
島根県 交通対策課ホームページより

第6章 快適で交流が盛んな都市をつくる

(2) 交通体系の整備 つづき

③ 米子空港利用者数 (※参考数値)

鳥取県 交通政策課



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

平成19年度までは順調に推移していましたが、世界的な景気後退の影響もあり、21年度まで大幅な減少が続きました。

しかし、連続テレビ小説「ゲゲゲの女房」等の影響か、22年度は増加に転じています。

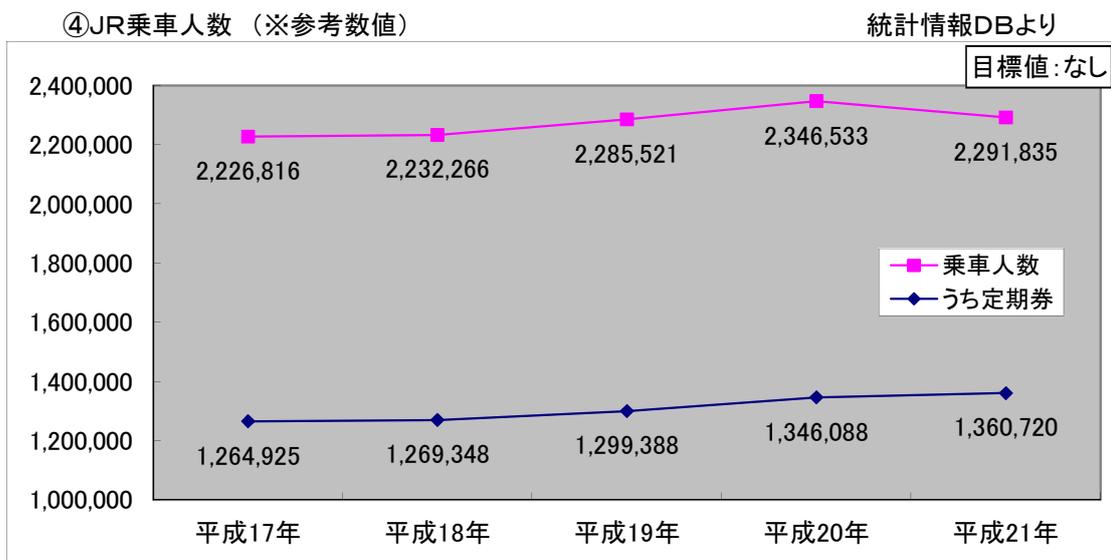
(2) 用語の説明

(3) データの出典

鳥取県 交通政策課ホームページより

第6章 快適で交流が盛んな都市をつくる

(2) 交通体系の整備 つづき



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

JR乗車人数は、平成17年度から平成20年度までは順調に増加していましたが、景気後退の影響や新型インフルエンザ、高速道路割引などもあって、21年度は減少となりました。

ただし、定期券による乗車人数は順調に増えており、公共交通利用促進の取り組みなどの効果が見受けられます。

(2) 用語の説明

(3) データの出典

西日本旅客鉄道(株)米子支社 より

第6章 快適で交流が盛んな都市をつくる

(2) 交通体系の整備 つづき

⑤ 一畑電車利用者数の推移（総合計画指標：H22設定）

政策部・都市計画部



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

平成20年度は「だんだん」効果により、利用者が増加しましたが、平成21年度は景気の悪化、新型インフルエンザの影響により、大幅に利用者が減少しました。

平成22年度は微増となっていますが、今後は古事記編纂1300年や出雲大社の遷座祭などにより、利用者の増加が見込める状況です。

今後は、平成23年3月に策定した「一畑電車沿線地域公共交通総合連携計画」を確実に進め、利用者の増を図っていきます。

(2) 用語の説明

(3) データの出典

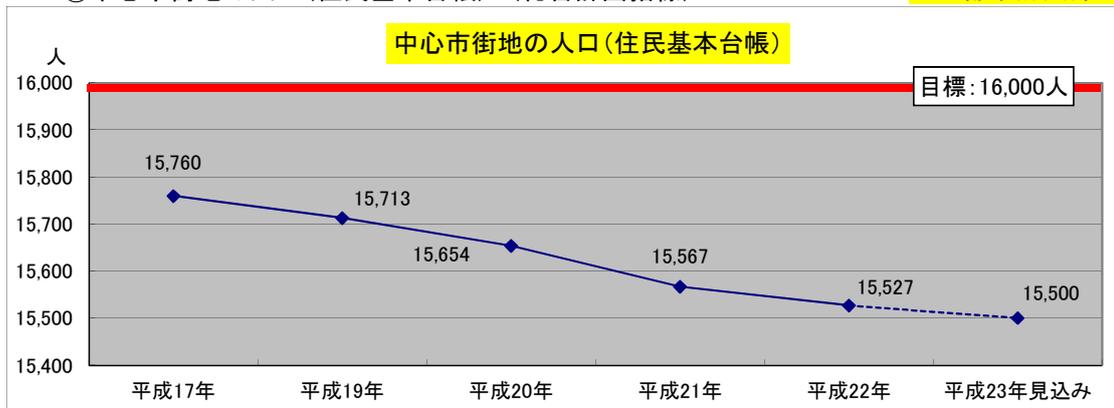
・一畑電車(株) より

第6章 快適で交流が盛んな都市をつくる

(3) 市街地の整備

① 中心市街地の人口(住民基本台帳) (総合計画指標)

都市計画部



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

再開発及び民間開発による住宅整備やまちなか居住の推進施策の結果、中心市街地の居住人口減少に歯止めをかけています。
 今後は住宅支援策の拡充や、老朽住宅対策を図ることにより、居住人口の増加へつなげてゆきます。

(2) 用語の説明

(3) データの出典

松江市住民基本台帳(毎年9月末)

② 中心市街地内の観光入り込み客数 (総合計画指標)

都市計画部



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

平成21年に12年ぶりに開催されたホーランエンヤが終了したことなどにより、平成22年は大きく減少しています。
 今後は、平成23年3月にオープンした松江歴史館や、オープンにあわせ12月まで長期に渡って開催し、まち歩き観光促進が期待される「松江開府400年記念博覧会」により観光入込客数の増加につなげたいと考えています。

(2) 用語の説明

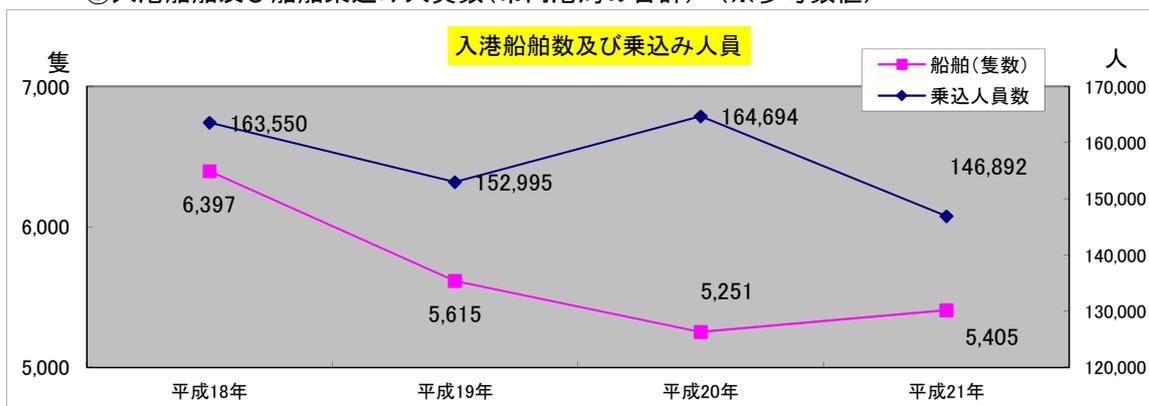
(3) データの出典

松江市観光振興部調査資料

第6章 快適で交流が盛んな都市をつくる

(4) 港湾の整備

①入港船舶及び船舶乗込み人員数(市内港湾の合計) (※参考数値)



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

船舶数は、平成18年度から減少が続いていますが、21年度は微増となっています。

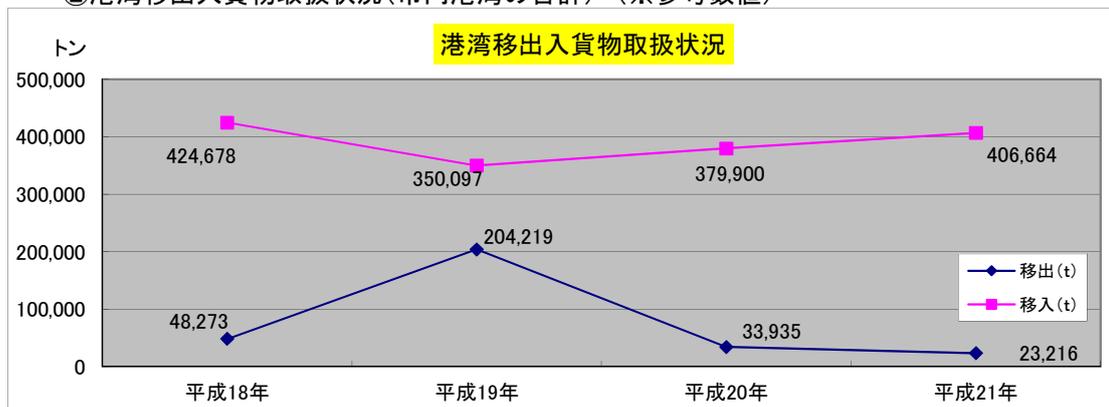
乗込人員数は14万人～16万人の間で増減の波がありますが、21年度は減少しています。

(2) 用語の説明

(3) データの出典

島根県土木部港湾空港課より

②港湾移出入貨物取扱状況(市内港湾の合計) (※参考数値)



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

港湾の移入貨物トン数は、平成19年度に落ち込んだものの、それ以降は順調に推移しています。
移出は、19年度をピークにその後減少が続き、21年度は18年度の半分以下にまで落ち込んでいます。
(※平成19年度は、七類港で雑工業品が12万トン以上あったため、大幅に増加しました。)

(2) 用語の説明

(3) データの出典

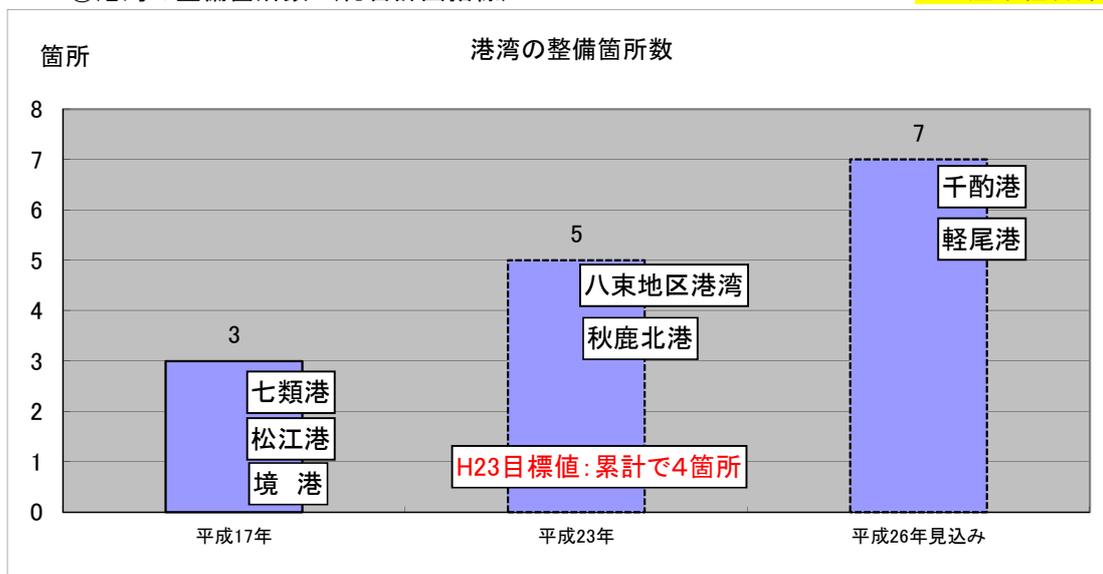
島根県土木部港湾空港課 より

第6章 快適で交流が盛んな都市をつくる

(4) 港湾の整備 つづき

③ 港湾の整備箇所数（総合計画指標）

産業経済部



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

市管理港湾の整備については、漁業生産基地として整備を進めてきた八束地区の港湾整備がH23年度で完了したのに伴い、4港湾の整備が完了しました。

今後については、高齢化が進む漁業従事者の実態を踏まえ、漁業者の負担軽減、安全性確保を目的とし、新たに市管理3港湾について整備を進めます。

※市管理3港湾…秋鹿北港(H22～23年度)、千酌港(H22～26年度)、軽尾港(H22～26年度)

(2) 用語の説明

(3) データの出典

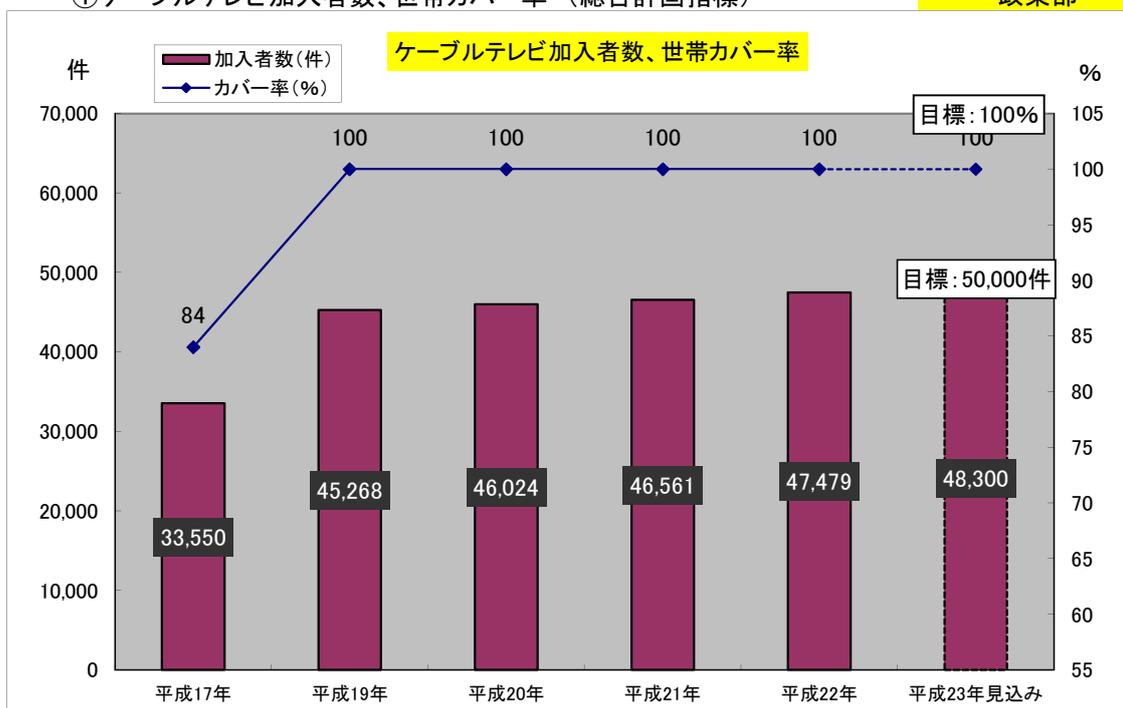
松江市水産振興課

第6章 快適で交流が盛んな都市をつくる

(5) 情報環境の整備

① ケーブルテレビ加入者数、世帯カバー率（総合計画指標）

政策部



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

ケーブルテレビ事業者のサービス提供地域拡大(旧八束郡地域)に対する補助や島根町新情報システムの整備を行い、平成19年度には市内全域でケーブルテレビへの加入が可能となりました。サービス提供地域拡大に伴って加入者数も大幅に増加しましたが、今後、行政情報住民告知システムの整備などサービスの充実化を図り、さらなる普及に努めていく必要があると考えています。

(2) 用語の説明

- ※ケーブルテレビ加入者数とは、ケーブルテレビの放送サービスに加入している世帯・事業所数です。
- ※世帯カバー率とは、ケーブルテレビのサービス提供地域に含まれている世帯の割合です。

(3) データの出典

山陰ケーブルビジョン(株)資料

第6章 快適で交流が盛んな都市をつくる

(5) 情報環境の整備 つづき

②ブロードバンド世帯カバー率（総合計画指標）

政策部



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

市民の誰もが高速インターネットを利用できる環境の構築を目指して、ケーブルテレビ事業者のサービス提供地域拡大(旧八束郡地域)に対する補助や島根町新情報システムの整備を行いました。その結果、平成19年度には、市内全域で高速インターネットが利用可能な環境が整いました。

(2) 用語の説明

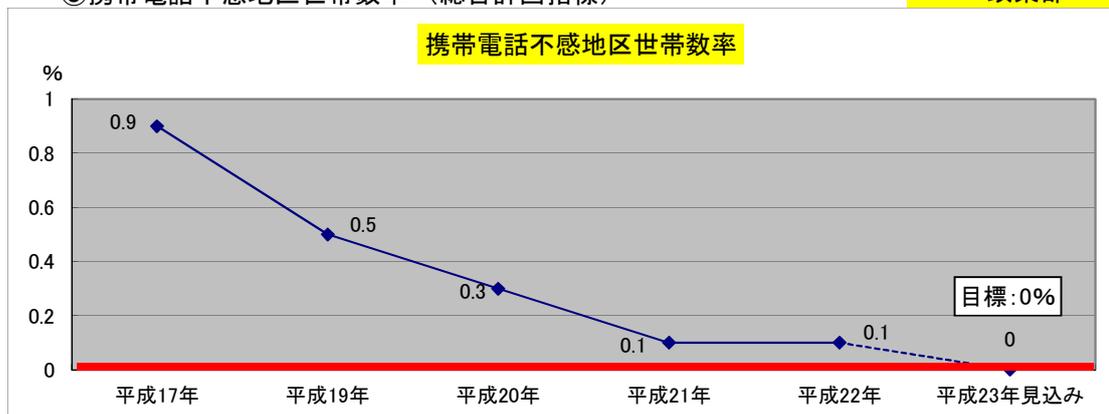
※ブロードバンド世帯カバー率とは、光ファイバー、ADSL、ケーブルテレビ回線等を利用した高速インターネット接続サービス提供地域に含まれている世帯の割合です。

(3) データの出典

中国地域ブロードバンド整備推進会議(事務局:総務省中国総合通信局)資料

③携帯電話不感地区世帯数率（総合計画指標）

政策部



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

携帯電話は日常生活だけでなく緊急時の通信手段として重要な役割を担っており、不感地区の解消を目標として取り組みました。

具体的には、携帯電話事業者に対して基地局建設の要請を行い、その結果、平成23年度には市内の携帯電話不感地区が全て解消される見込みとなりました。

(2) 用語の説明

※携帯電話不感地区とは、携帯電話による通話が1社も利用できない集落を示します。

(3) データの出典

松江市(情報政策課)による現地調査

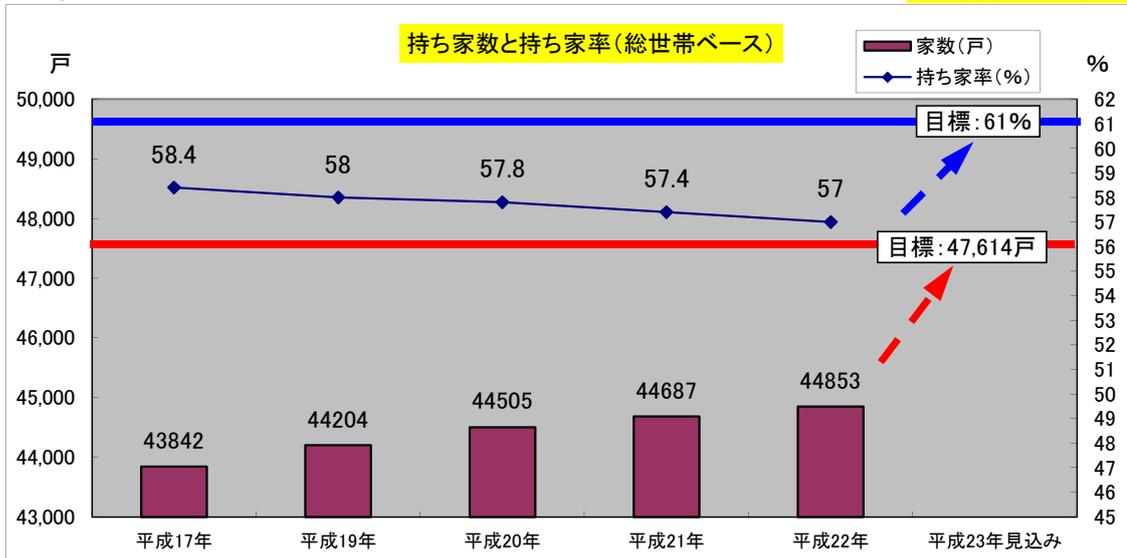
第6章 快適で交流が盛んな都市をつくる

(2節 快適な生活空間をつくる)

(1)住宅等の整備

①持ち家数と持ち家率(総世帯ベース) (総合計画指標)

都市計画部



(1)平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

目標値は計画策定時点で、前年の住宅ならびに人口の増加傾向が今後も続くものとして設定した値ですが、マンション建設ラッシュの沈静化や長引く不況等により、目標達成が難しい状態です。

- ・持ち家数 目標値には届かないが、増加傾向にある。
- ・持ち家率 持ち家数が上昇しても、核家族化等により総世帯数が増加傾向にあるため、持ち家率は減少している。

現在、持ち家化を促進する施策として、中古木造住宅の取得支援や、子育て世帯を対象とした土地ならびに住宅の取得支援等の事業を行っており、人口減少傾向のなかでも、持ち家数は上昇していると考えます。さらに「空き家を生かした魅力あるまちづくり及びまちなか居住促進の推進に関する条例」を策定し、空き家の適正管理や活用を促進し、住環境の改善をめざします。

(2)用語の説明

- ※持ち家数 平成17年国勢調査のデータを起点とし、住宅着工数と減失住宅数を考慮したもの。
- ※持ち家率 持ち家数を総世帯数(住民基本台帳)で除したもの。
- ※基準日は、各年度の1月1日です。

(3)データの出典

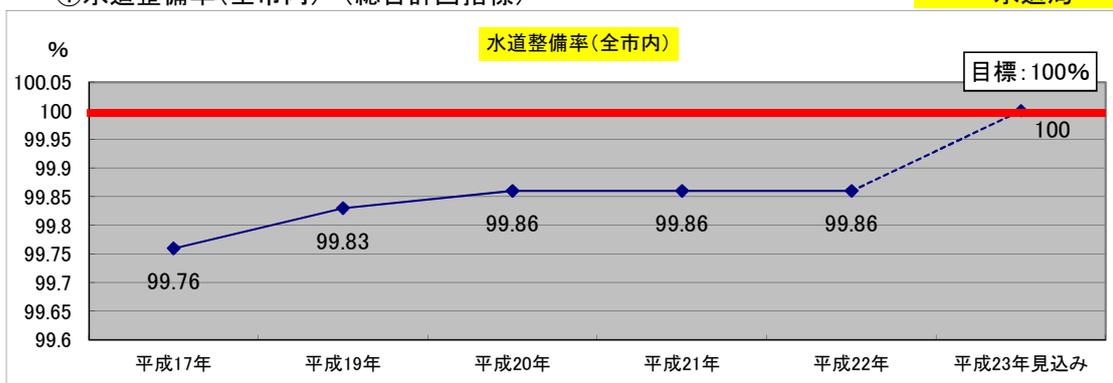
平成17年国勢調査(起点となる総持ち家数)、月刊住宅着工統計(住宅着工数)、固定資産税概要調書(減失住宅数)、住民基本台帳(総世帯数)

第6章 快適で交流が盛んな都市をつくる

(2) 上水道の整備

① 水道整備率(全市内) (総合計画指標)

水道局



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

上水道の給水区域内にあって水道が未整備であった上東川津地区について、平成19年度から国庫補助事業で水道未普及解消事業を開始し、平成22年度に完成したことから、平成23年度は水道整備率100%を見込んでいます。

(2) 用語の説明

※水道整備率とは、行政区域内人口に対する水道及び井戸等により飲用対策が出来ている人口の割合を示しています。

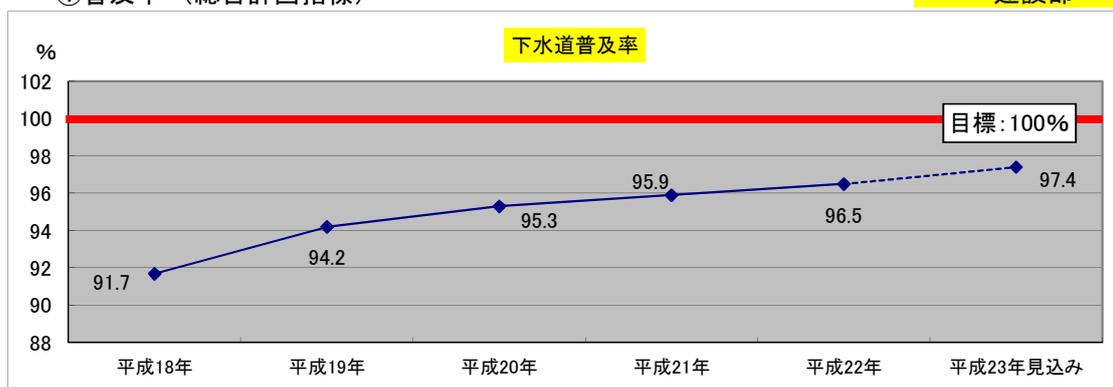
(3) データの出典

国の水道統計調査を基礎に、水道局調査資料

(3) 下水道の整備

① 普及率 (総合計画指標)

建設部



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

下水道の整備については「未普及解消」を目標に事業を進めており、平成24年度末にはおおむね区域内の整備を完了する予定です。
以降は老朽化した施設の長寿命化と改築事業を進めていきます。

(2) 用語の説明

※「普及率」= 全体の人口のうち、下水道を使えるようになった人の割合をいいます。

(3) データの出典

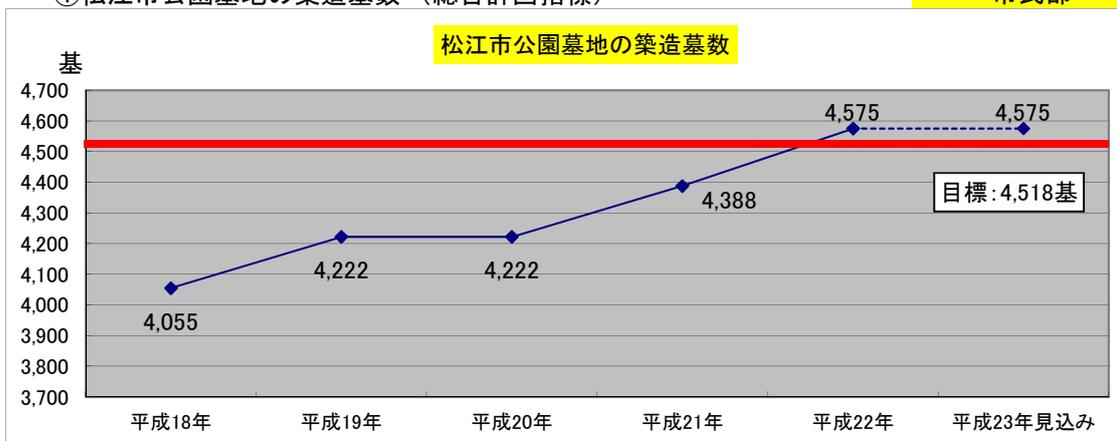
「まつえの下水道」、「松江市総合計画」

第6章 快適で交流が盛んな都市をつくる

(4) 墓地・斎場の整備

① 松江市公園墓地の築造墓数（総合計画指標）

市民部



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

市町村合併による市域の拡大や核家族化等により墓地の需要が高まったため、目標を上回る墓所を造成しましたがほぼ完売の状況です。

今後も、東出雲町の編入合併など需要の拡大が予想され、墓地に関する問い合わせも多数あることから、需要を見極め計画的な造成・販売を行っていきます。

(2) 用語の説明

(3) データの出典

公園緑地課資料

第7章 とともに手をたずさえてすすめるまちづくり

1. ベンチマーク(代表的な指標による類似団体比較)

①NPO法人数の比較

内閣府のNPOポータルサイトによると、松江市のNPO法人数は類似都市と比較して多く、11位となっています。

人口10万人あたりに換算しても10位で、人口規模に比しても多いことが分かります。

NPO法人数				順位
2011年4月1日検索				
都市名	(単位:施設)		人口10万人当たり	
	法人数	人口10万人当たり		
1	佐賀市	135	56.8	1
2	徳島市	124	46.8	2
3	津门市	124	43.4	3
4	福島市	124	42.4	5
5	松本市	105	43.2	4
6	福井市	98	36.7	8
7	水戸市	98	36.5	9
8	山形市	82	32.3	13
9	甲府市	79	39.7	6
10	市原市	75	26.8	21
11	松江市	70	36.2	10
12	山口市	68	34.6	12
13	佐世保市	64	24.5	23
14	上田市	63	39.5	7
15	上越市	63	30.9	15
16	鳥取市	59	29.9	17
17	熊谷市	58	28.5	19
18	出雲市	51	35.5	11
19	帯広市	51	30.4	16
20	鈴鹿市	50	25.1	22
21	松阪市	49	29.1	18
22	八戸市	48	20.2	27
23	長岡市	46	16.3	32
24	尾道市	45	31.0	14
25	呉市	41	17.1	31
26	米子市	40	27.0	20
27	野田市	37	23.8	24
28	弘前市	37	20.2	28
29	石巻市	35	21.8	25
30	小山市	34	20.7	26
31	釧路市	32	17.7	29
32	周南市	26	17.4	30
33	今治市	26	15.6	33
34	東広島市	23	12.1	35
35	都城市	22	13.0	34
内閣府NPOホームページ(NPOポータルサイト)				
※用いた人口は平成22年10月1日現在の国勢調査速報				

第7章 とともに手をたずさえてすすめるまちづくり

②一般職員一人当たり人口の比較

類似都市の中では、職員一人当たりの人口が少ない部類に入りますが、これは、合併の影響も残っており、合併規模の小さかった米子市などは、職員一人当たりの人口は多くなっています。

ちなみに、松江市も合併前の平成15年度は183.4人でした。

③ラスパイレス指数の比較

ラスパイレス指数は、100を割っており、98.2%と類似都市と比較しても、低い方となっています。

※ラスパイレス指数…国家公務員の給与水準を100とした場合の地方公務員の給与水準を示す指数。

一般職員一人当たり人口	
2008	
(単位:人)	
都 市 名	職員一人当たり人口
1 八 戸 市	202.1
2 山 形 市	199.5
3 米 子 市	197.4
4 市 原 市	194.8
5 鈴 鹿 市	194.1
6 熊 谷 市	187.4
7 水 戸 市	186.7
8 野 田 市	183.5
9 福 井 市	183.3
10 甲 府 市	182.9
11 弘 前 市	178.1
12 小 山 市	173.8
13 出 雲 市	173.5
14 帯 広 市	168.5
15 佐 世 保 市	164.2
16 佐 賀 市	159.9
17 松 本 市	157.8
18 鳥 取 市	154.7
19 福 井 市	153.6
20 松 江 市	152.9
21 山 口 市	152.4
22 徳 島 市	151.2
23 東 広 島 市	150.2
24 周 南 市	149.4
25 釧 路 市	149.0
26 呉 市	148.0
27 上 田 市	146.6
28 津 市	144.7
29 尾 道 市	144.3
30 都 城 市	143.8
31 今 治 市	141.6
32 松 阪 市	139.1
33 長 岡 市	137.2
34 石 巻 市	124.6
35 上 越 市	114.2
総務省統計局決算カード	

ラスパイレス指数	
2009	
(単位:%)	
都 市 名	ラスパイレス指数
1 福 島 市	103.3
2 市 原 市	103.2
3 熊 谷 市	101.2
4 周 南 市	101.2
5 佐 世 保 市	101.1
6 東 広 島 市	100.9
7 水 戸 市	100.8
8 福 井 市	100.6
9 甲 府 市	100.6
10 鈴 鹿 市	100.6
11 野 田 市	100.2
12 小 山 市	100.1
13 徳 島 市	100.0
14 山 口 市	99.9
15 八 戸 市	99.4
16 上 田 市	99.3
17 山 形 市	99.0
18 米 子 市	98.8
19 佐 賀 市	98.7
20 呉 市	98.4
21 尾 道 市	98.3
22 松 本 市	98.2
23 鳥 取 市	98.2
24 松 江 市	98.2
25 出 雲 市	98.2
26 帯 広 市	98.1
27 上 越 市	98.1
28 津 市	97.8
29 弘 前 市	97.5
30 都 城 市	97.5
31 松 阪 市	97.1
32 釧 路 市	96.4
33 長 岡 市	96.3
34 石 巻 市	95.7
35 今 治 市	93.0
総務省統計局:地方公務員給与実態調査	

(松江市の職員一人当たり人口の推移)

	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
一般職員数	834	815	805	1,356	1,346	1,316	1,282	1,260
職員一人当たり人口	177.3	181.6	183.4	142.9	144.1	147.1	150.7	152.9

職員数÷年度末住民基本台帳人口

第7章 とともに手をたずさえてすすめるまちづくり

④歳入決算総額の比較

松江市の歳入決算総額は、人口の規模に比して大きく、類似都市中7位となっています。ちなみに、同年の歳出総額は100,308百万円で、8位となっています。

⑤実質公債費比率の比較

実質公債費比率は年々減少させてきてはいますが、非常に高く18.0%で他の山陰地方の都市とともに、最下位グループを形成しています。

⑥地方債残高の比較

実質公債費比率とも深い係わりのある地方債残高は、多額に上っており、類似都市で3位、人口一人当たりで換算すると685千円で、出雲市(904千円)に次いで2位となります。

歳入決算総額	
2009	
(単位:百万円)	
都 市 名	歳入決算総額
1 長岡市	163,355
2 佐世保市	121,608
3 上越市	115,301
4 津市	104,338
5 呉市	103,935
6 釧路市	101,797
7 松江市	101,336
8 福井市	101,179
9 八戸市	96,618
10 松本市	96,264
11 徳島市	95,149
12 福島市	93,811
13 水戸市	92,360
14 市原市	90,289
15 鳥取市	90,157
16 佐賀市	89,542
17 山形市	83,912
18 帯広市	80,911
19 今治市	78,750
20 山口市	76,931
21 弘前市	75,663
22 東広島市	74,510
23 都城市	72,202
24 甲府市	72,007
25 上田市	71,033
26 出雲市	68,551
27 周南市	67,193
28 石巻市	64,555
29 鈴鹿市	64,535
30 熊谷市	64,008
31 尾道市	61,418
32 松阪市	59,215
33 小山市	54,111
34 米子市	53,232
35 野田市	45,493

総務省統計局決算カード

実質公債費比率	
2009	
(単位:%)	
都 市 名	実質公債費比率
1 福島市	6.9
2 徳島市	8.2
3 小山市	8.7
4 熊谷市	8.7
5 鈴鹿市	8.8
6 松本市	9.5
7 松阪市	9.6
8 佐賀市	10.0
9 福井市	10.5
10 山形市	11.0
11 東広島市	11.0
12 野田市	11.2
13 周南市	11.9
14 都城市	12.0
15 帯広市	12.1
16 市原市	12.1
17 尾道市	12.5
18 山口市	12.7
19 水戸市	12.8
20 津市	13.0
21 上田市	13.1
22 釧路市	13.5
23 弘前市	13.7
24 佐世保市	13.8
25 呉市	14.0
26 石巻市	14.3
27 上越市	15.2
28 甲府市	15.2
29 今治市	15.7
30 長岡市	16.1
31 八戸市	16.9
32 鳥取市	17.3
33 松江市	18.0
34 米子市	21.1
35 出雲市	21.9

総務省統計局:地方公務員給与実態調査

地方債残高	
2009	
(単位:千円)	
都 市 名	地方債残高
1 長岡市	143,595,671
2 呉市	136,572,319
3 松江市	133,229,495
4 出雲市	131,032,129
5 福井市	126,370,726
6 佐世保市	125,150,881
7 釧路市	118,111,021
8 鳥取市	112,338,183
9 上越市	110,920,319
10 山形市	100,300,915
11 水戸市	100,032,163
12 津市	96,966,042
13 帯広市	95,809,793
14 八戸市	94,570,666
15 松本市	93,300,633
16 福島市	92,692,907
17 徳島市	91,741,464
18 佐賀市	91,590,173
19 山口市	89,270,144
20 東広島市	86,416,569
21 今治市	83,417,956
22 弘前市	82,710,909
23 都城市	80,174,990
24 尾道市	75,217,732
25 石巻市	69,342,570
26 上田市	67,946,418
27 米子市	67,010,538
28 周南市	62,593,820
29 市原市	59,770,437
30 甲府市	59,103,116
31 松阪市	57,482,919
32 小山市	48,228,648
33 熊谷市	46,721,544
34 鈴鹿市	46,458,208
35 野田市	44,160,276

総務省統計局:地方公務員給与実態調査

⑦自主財源比率の比較 (※序章を参照)

地方財政状況調査関係資料(平成20年度決算)で計算すると、松江市の自主財源比率は41.7%ですが、今後目指そうとしている特例市の平均は、62.8%です。更に特例市未満の都市の平均も51.2%です。(序章を参照願います)

⑧一般会計歳出(性質別)の特徴 (※序章を参照)

松江市の一般会計歳出の特徴は、他の都市に比べ、人件費率が低く、公債費比率・投資的経費比率が高いことが特徴です。(序章を参照願います)

第7章 ともに手をたずさえてすすめるまちづくり

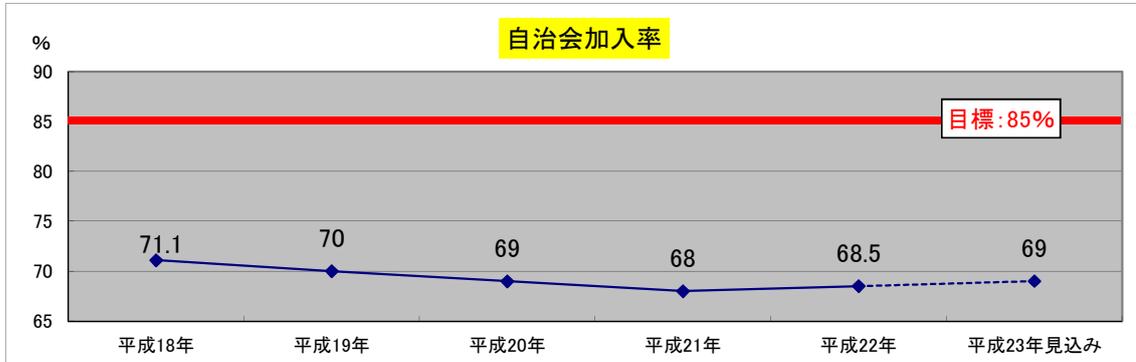
2. 総合計画の進捗状況

(1節 協働ですすめるまちづくり)

(1) 市民と行政との協働

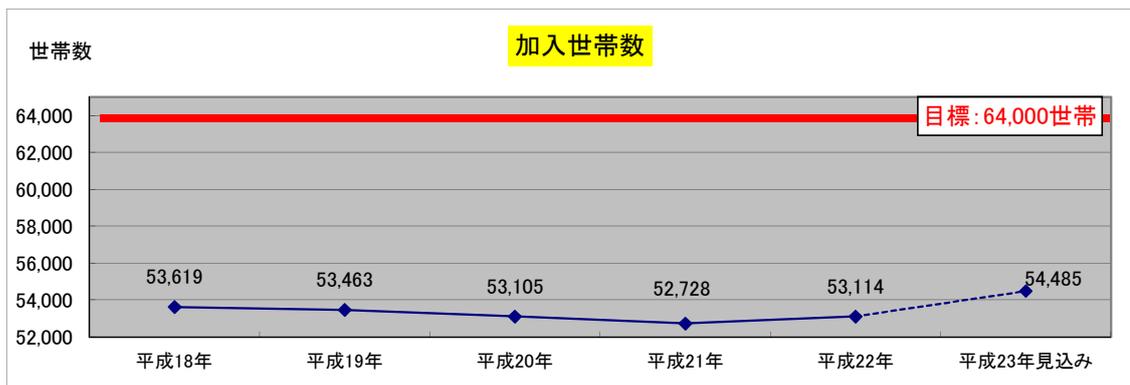
① 自治会加入率 (総合計画指標)

市民部



② 自治会加入世帯数 (総合計画指標)

市民部



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

少子高齢化、都市化、核家族化、価値観の多様化などにより自治会への加入率は減少傾向にあります。

しかし、災害、防犯の観点から自治会の重要性が改めて認識されており、自治会の必要性をPRしながら、引き続き加入促進に取り組みます。

(2) 用語の説明

(3) データの出典

松江市 市民生活相談課データ(単位自治会からの報告) より

第7章 ともに手をたずさえてすすめるまちづくり

(1) 市民と行政との協働 つづき

③ 市民活動センター登録団体数（総合計画指標）

市民部



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

平成18年4月に市民活動センターを設置して以来、コーディネーターを配し、多様化する市民活動に対応した相談業務を行ったことにより、センターに登録し活動する団体が増え、平成22年度には目標を達成することが出来ました。

また、団体間の交流促進や情報収集・発信の場として開催した市民活動フェスタやテーマ別イベント、講座などが、一般市民の市民活動に参加する機会となり、新規に団体を立ち上げるきっかけにもなりました。

今後も、市民活動の場を提供するとともに、情報発信し東出雲支所をはじめ支所管内で活動する団体への呼びかけを行い、市民活動の推進を図ってゆきます。

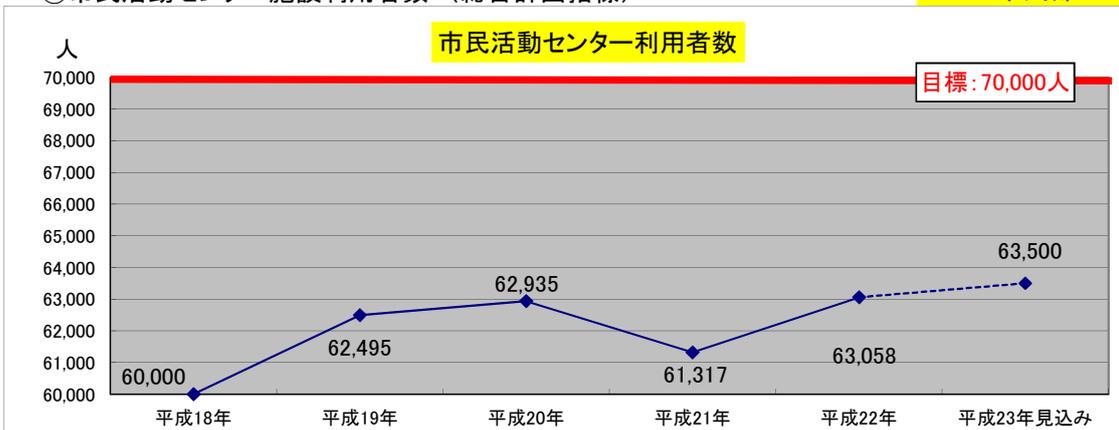
(2) 用語の説明

(3) データの出典

・市民活動センター資料 より

④ 市民活動センター施設利用者数（総合計画指標）

市民部



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

平成21年度で利用者数が減少しましたが、平成22年度ではセンター設置以来最高値となっています。センターではこの他にも、各研修室の利用件数や稼働率のデータもあり、その数値は若干の右方上がりで、利用件数の内訳としては、一般利用者は減少し、登録団体は年々増加しており、市民の市民活動に参加する機会は増加していると思われます。

この利用者数は、各研修室の利用人数を積算したもので、1階の市民活動広場や展示ブースを利用したイベント開催などの参加者数は含んでいないため、実際にはもっと多くの人に利用されています。

今後、利用者増を図るため、利用団体アンケートの実施や、運営委員会、利用者協議会の意見を伺いながら、利用しやすいセンターを目指します。

(2) 用語の説明

(3) データの出典

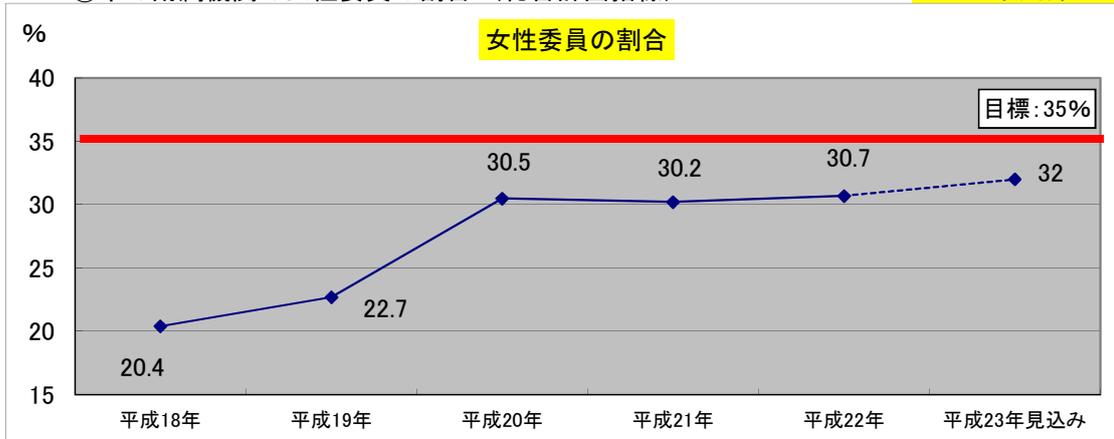
・市民活動センター資料 より

第7章 とともに手をたずさえてすすめるまちづくり

(2) 男女共同参画社会の実現

①市の附属機関の女性委員の割合（総合計画指標）

市民部



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

市の審議会等の委員に占める女性の割合は、「松江市審議会等の設置及び運営等に関する指針」に基づき、委員構成や委員の選任方法について見直しを図ってきました。

各審議会所管課に対し、委員比率の向上について継続的に働きかけを行ってきた結果、これまで女性委員がいなかった防災や文化財分野の審議会等についても少しずつ女性委員が選任されるなど取り組みの効果が表れてきています。

今年度中に目標数値の見直しを行う予定にしていますが、今後も引き続き女性委員比率向上に向け、委員改選時期にあわせて働きかけを行うなどの取り組みを進めていきます。

(2) 用語の説明

※附属機関とは、地方自治法第138条の4第3項に基づき、本市の事務について審議、審査、調査等を行うもので法律または条例により設置される審議会等のことをいいます。

(3) データの出典

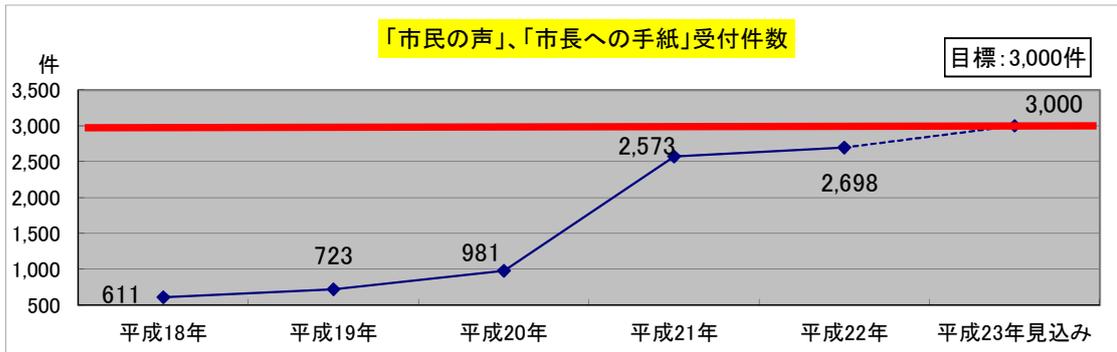
松江市男女共同参画課調査資料 より

第7章 ともに手をたずさえてすすめるまちづくり

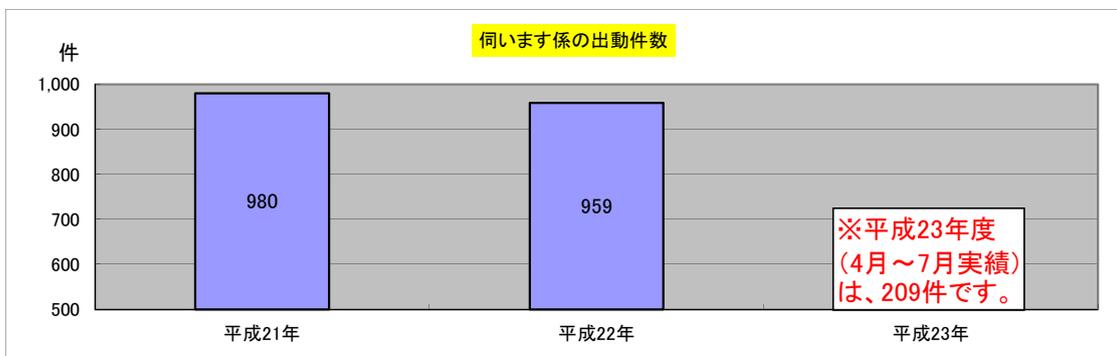
(3) 開かれた市政の取り組み

①「市民の声」、「市長への手紙(メール)」受付件数 (総合計画指標)

市民部



②「伺います係」の出動件数 (※参考数値)



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

平成21年6月の「伺います係」設置に伴い、現場へ伺って、ご相談を受ける組織体制としました。

○過去3回行った抽出アンケートによると、この取り組みにより市役所へのイメージが以前より、「とても良くなった」、「良くなった」方が75%とのご評価をいただいています。

市では解決できない問題(民々問題など)のご相談もあるが、引き続き、担当課とも連携し、問題解決の早期化及び解決率のアップを目指します。

■「市長への手紙」平成21年度:270件、1.1件/日 平成22年度:349件、1.4件/日
回答を要するものについては、全て回答済みです。

■「市民の声」 (※H21年度は、21年6月の「伺います係」設置以降の数値です。)
平成21年度:2,138件、10.5件/日 平成22年度:2,349件、9.5件/日
即日解決:平成21年度 1,177件(55%)、平成22年度 1,365件(58%)
後日解決:平成21年度 661件(31%)、平成22年度 776件(33%)
合計 :平成21年度 1,838件(86%)、平成22年度 2,141件(91%)

■「伺います係の出動件数」
・平成21年度:980件、平成22年度:959件、平成23年度(4月～7月):209件
(※複数回現場へ行く必要があっても、受付件数1件につき、1回とカウントしています。)

(2) 用語の説明

「市長への手紙」 市長へのメールや手紙など、市長決裁を受けて回答するものです。

「市民の声」 意見、苦情、相談について、「伺います係」が一次対応をし、その後、担当課の現場対応等により問題解決を図るものです。また、文書での回答が必要な場合は、部長決裁を受けて回答するものです。

(3) データの出典

「市民の声」受付管理表、「市長への手紙」受付管理表

平成21年度、22年度相談状況、第1回～第3回アンケート結果

※相談状況及びアンケート結果は、ホームページで公表しています。

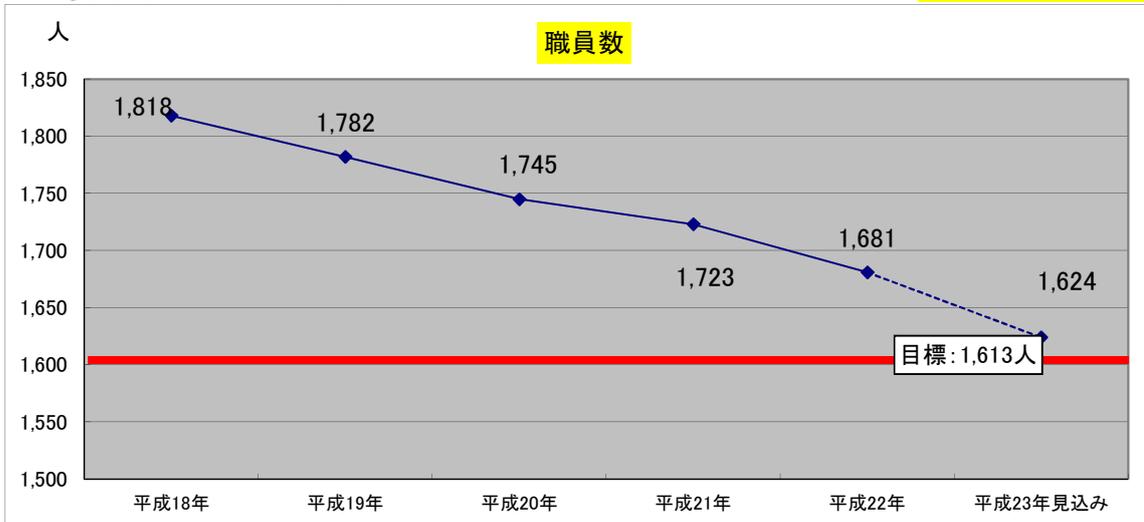
第7章 とともに手をたずさえてすすめるまちづくり

(2節 健全で効率的・効果的な行財政運営)

(1) 効率的な行政運営

① 職員数 (総合計画指標)

総務部



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

職員数の削減については、概ね順調に推移しています。
業務実績評定制度の適正な運用による適材適所の人事配置や職員研修を行い、
公務効率を高めつつ、引き続き人員の計画的な削減を行います。

(2) 用語の説明

(3) データの出典

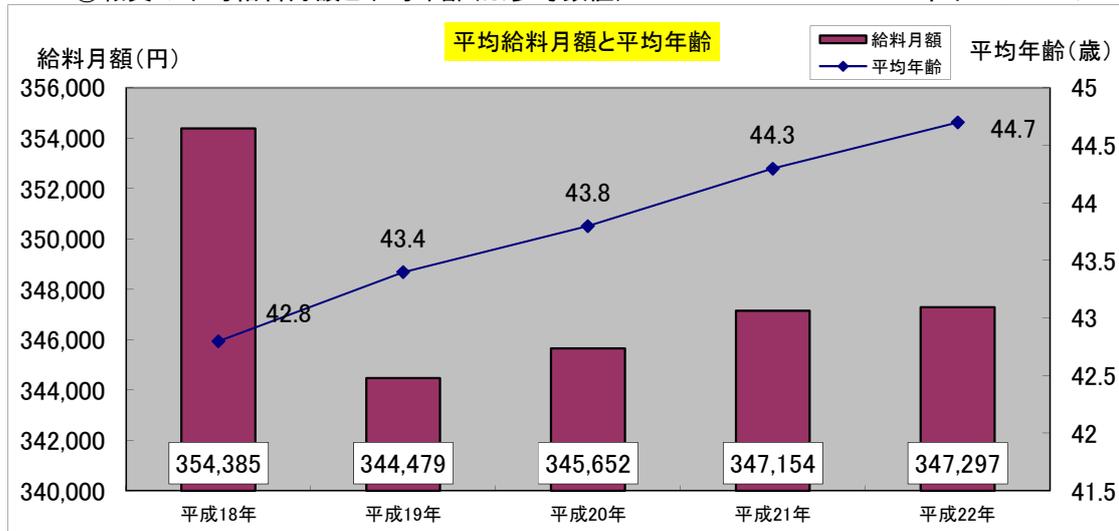
松江市人事課所管データ より

第7章 ともに手をたずさえてすすめるまちづくり

(1) 効率的な行政運営 つづき

② 職員の平均給料月額と平均年齢(※参考数値)

市ホームページ



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

平均給料月額は、18年度から19年度にかけて減少しました。
その後は、職員の平均年齢上昇とともに、給料月額も増加しています。

(2) 用語の説明

(3) データの出典

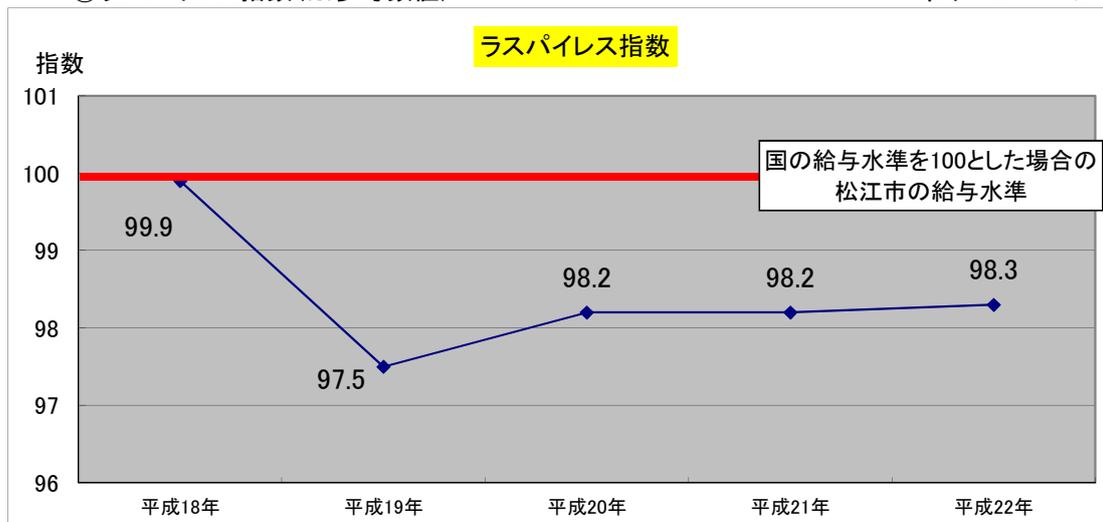
松江市ホームページ「人事行政の公表」より

第7章 とともに手をたずさえてすすめるまちづくり

(1) 効率的な行政運営 つづき

③ラスパイレス指数(※参考数値)

市ホームページ



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

ラスパイレス指数は、18年度の99.9%をピークに減少し、現在は98%台で推移しています。

(2) 用語の説明

※ラスパイレス指数とは、国の給与水準を100とした場合の地方公務員の給与水準を示す指数です。

(3) データの出典

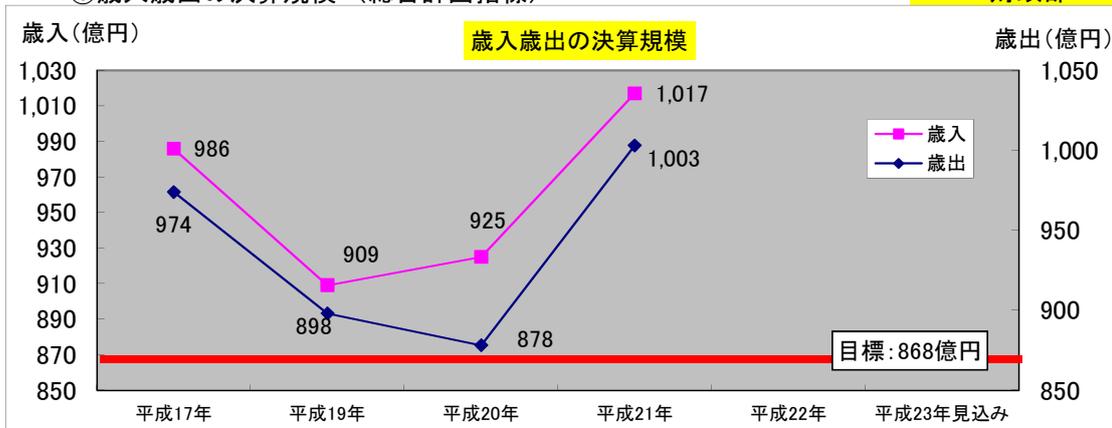
松江市ホームページ「人事行政の公表」より

第7章 ともに手をたずさえてすすめるまちづくり

(2) 財政運営

① 歳入歳出の決算規模（総合計画指標）

財政部



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

定額給付金事業、地域商品券発行事業、緊急雇用創出事業といった各種経済対策事業の実施や子ども手当での創設に伴い、H21年度は決算規模が財政推計値を上回っています。
 (※H22年度も推計値を上回る見込み。)
 普通建設事業の計画的実施や、市債発行抑制・繰上償還の実施による公債費の縮減にとりくみ、決算規模の縮小・適正化を目指します。

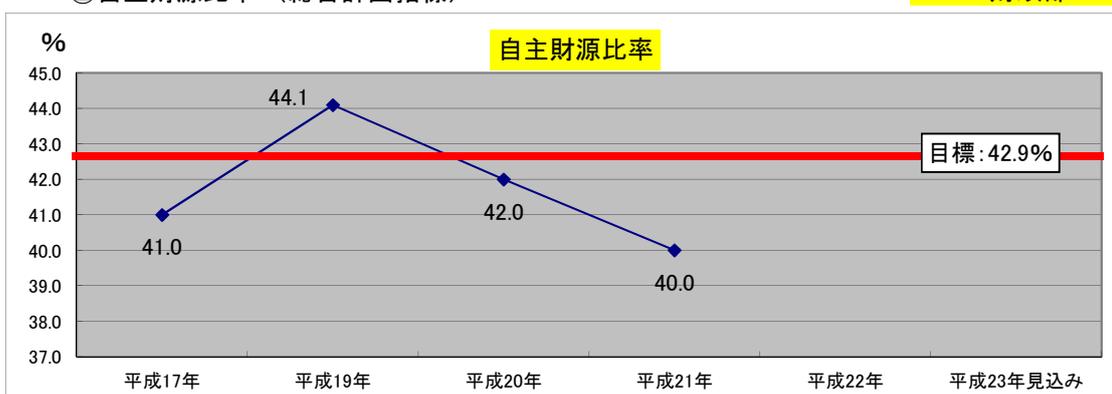
(2) 用語の説明

(3) データの出典

松江市財政課所管データ より

② 自主財源比率（総合計画指標）

財政部



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

松江市は、H20年度の市税徴収率が99.1%で類似35団体中1位になるなど、自主財源の確保に積極的に取り組んでいますが、子ども手当に伴う国・県負担金や各種経済対策に伴う交付金等によって決算規模が大きくなることに伴い、自主財源比率が下がる状況にあります。
 今後も、行政の安定性、自主性確保の観点から自主財源の中心となる市税収入を増やし、自主財源比率の向上を図っていきます。

(2) 用語の説明

※自主財源比率とは、自治体が自主的に歳入できる財源(市税、分担金及び負担金、使用料、手数料、財産収入等)が、歳入の中で占める割合を示しています。

(3) データの出典

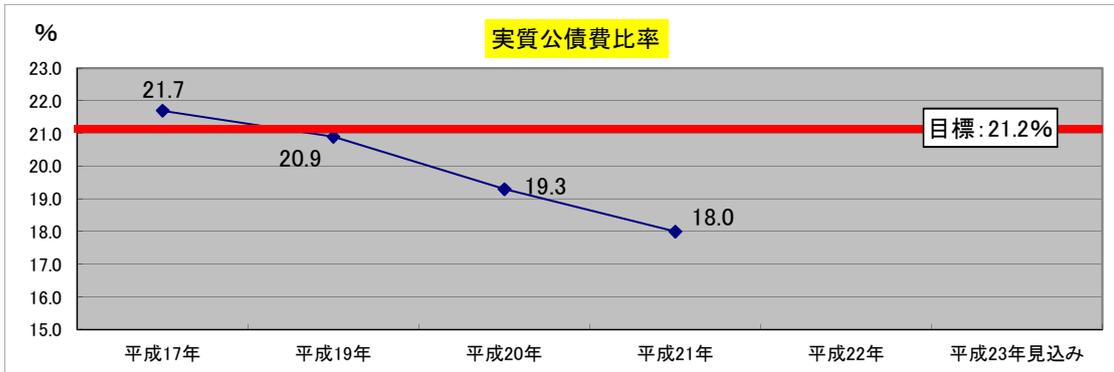
・松江市財政課所管データ より

第7章 ともに手をたずさえてすすめるまちづくり

(2) 財政運営 つづき

③ 実質公債費比率（総合計画指標）

財政部



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

平成18年度に5億円、19年度に20億円、20年度に8億円、21年度に4億円の地方債の計画的な繰上償還をおこない、目標値を下回って(達成して)います。
しかし、類似団体と比べると高い数値になっており、更なる改善を図っていきます。

(2) 用語の説明

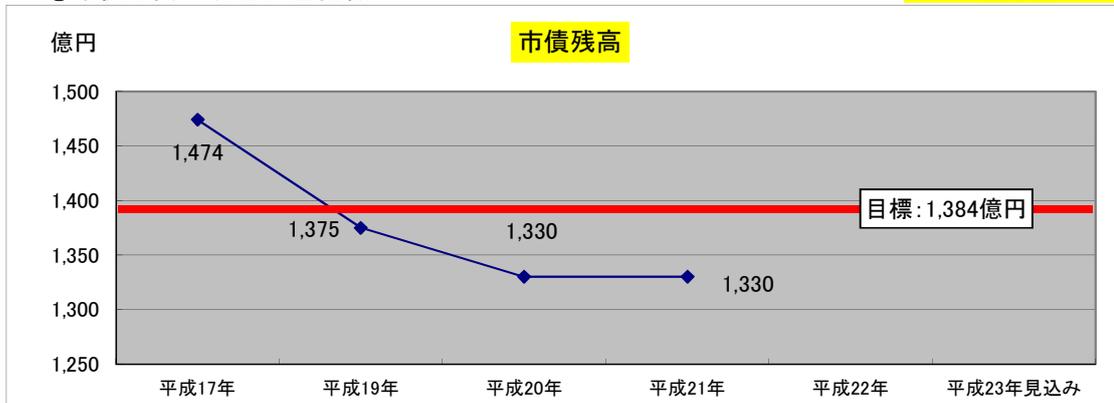
※実質公債費比率とは、借入金の返済額の大きさを指標化したもので、25%以上で黄信号となり「財政健全化計画」を定め、自主的かつ計画的な財政健全化を行う必要があります。
また35%以上で、赤信号となり「財政再生計画」を定め、国・県の関与の下で財政再生を行う必要があります。

(3) データの出典

・松江市財政課所管データ より

④ 市債残高（総合計画指標）

財政部



(1) 平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

地方債の発行の抑制と計画的な繰上償還を実施し、目標値は下回って(達成して)います。
しかし、平成22年度は、国の地方財政計画に基づく臨時財政対策債による実質的な交付税措置により発行額が増えたことにより、残高も増加しています。
引き続き繰上償還等を進めながら、更なる改善を図ります。

(2) 用語の説明

※臨時財政対策債とは、国から地方自治体に交付する地方交付税の原資が足りないため、不足額の一部を借入れする地方債のことです。
特徴としては、返済時に100%交付税措置されること、また交付税の代わりであるため自由に使うことができます。

(3) データの出典

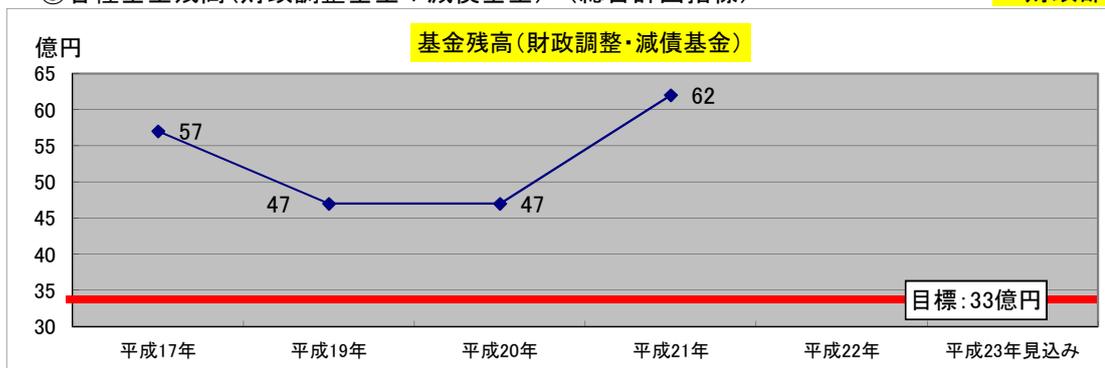
・松江市財政課所管データ より

第7章 ともに手をたずさえてすすめるまちづくり

(2) 財政運営 つづき

⑤各種基金残高(財政調整基金+減債基金) (総合計画指標)

財政部



(1)平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

基金の取り崩しを抑えるように努めた結果、目標を上回る数値となっています。しかし、安定的な財政運営のため、今後も一定規模の残高を確保していきます。

(2)用語の説明

※財政調整基金とは、年度間の財源不足を補うために積み立てる基金のことです。
 ※減債基金とは、地方債の返済を計画的に行うために積み立てる基金のことです。

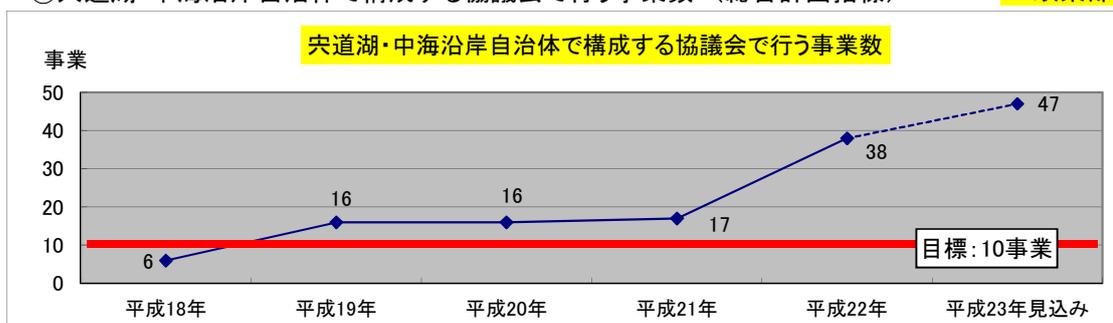
(3)データの出典

・松江市財政課所管データ より

(3) 広域連携・他圏域との交流

①宍道湖・中海沿岸自治体で構成する協議会で行う事業数 (総合計画指標)

政策部



(1)平成17年度以降の指標の推移についての分析・評価・今後の考え方

平成18年度に宍道湖沿岸自治体首長会議は、宍道湖ヨシ再生プロジェクト等の環境をテーマにした取り組みを実施していました。

平成19年7月には、中海圏域4市連絡会議を再編して設立した中海市長会が、県境を越えた連携事業を開始したため、目標数10事業を達成しています。

さらに、中海圏域では、中海圏域振興ビジョンを策定(平成22年3月)し、中海圏域の発展に向けた3つの方向性とそれを支える基盤整備を行うことにしています。

また、平成22年10月に中海圏域定住自立圏を形成しました。松江市と米子市が基金化した定住自立圏推進基金を財源に平成22年度と平成23年度は、連携事業の実施数が多くなっています。

○広域連携による主な取り組み

宍道湖ヨシ再生プロジェクト、ロシア・韓国・境港を結ぶ環日本海貨客船の航路就航支援事業、電気自動車・急速充電器の整備事業、保健医療を担う病院への医療機器の整備・更新支援、災害機材の共同購入事業 など。

(2)データの出典

宍道湖沿岸自治体首長会議、中海市長会の事業計画